



56
94



始



5
94

緒方右衛門共述
藤村元張
妊娠產褥期脚氣論
全

南堂書局發行

緒方十右衛門
藤村元張共述

妊娠及產褥期之脚氣論

全

大正
2. 7. 22
丙交

東京南山堂發行



緒言

東洋病トモ稱スベキ脚氣ハ現今諸方面ヨリ精密ニ調査セラレ殆ンド遺憾ナキ域ニ達セルガ如シト雖モ、妊婦褥婦ノ脚氣ニ至リテハ未ダ充分ナル研究ヲ遂ゲタルノ士甚ダ多カラザルヲ惟フ。抑々現今醫學研究ノ論據トスル處ハ泰西諸家ノ著書ニ待ツモノ甚ダ尠シトセズ、然レドモ我脚氣ニ至リテハ之ヲ泰西ノ産科ニ探ムルコトヲ得ズ、而カモ本邦妊婦褥婦ノ生命ヲ奪ハルルモノ産褥熱ニ比シ遙カニ幾倍ノ多キヲ算フ。是レ余輩ガ淺學菲才ヲ顧ミズ研鑽ニ從事シタル所以ナリ。

本書ノ内容固ヨリ杜撰ノ譏ヲ免ルル能ハザルベシト雖モ、

出來得ル限り經過ヲ異ニセル病歴ヲ本文ノ間ニ蒐載シテ
 妊婦、産褥ニ於ケル關係ヲ明ニシ而シテ卑見ヲ縷述シ以テ
 聊カ諸士ノ參考ニ資スルコトトセリ。是レ余輩ガ自ラ信ズ
 ル眞理ノ一片ヲ表示セルモノナリト雖モ、篤學ノ士余輩所
 信ノ缺陷或ハ誤謬ヲ補填若シクハ指摘セラルルト同時ニ
 之ガ教示ヲ垂ルルニ吝ナラズンバ余輩ノ幸福之ニ過ギザ
 ルナリ。

大正二年六月

著者識

妊娠及産褥期之脚氣論

目次

第一	脚氣原因概説	一頁
第二	妊娠及褥婦ノ脚氣ニ關スル概念	四
第三	妊婦及褥婦脚氣ノ診斷	八
第四	病歴	二〇
第五	症候論	二六六
	(一) 乾性症	二六六
	(二) 水腫性症	二七〇
	イ 輕症水腫性脚氣	二七一
	ロ 重症水腫性脚氣	二七三
	(三) 急性惡性症	二九一
第六	療法	三一二
第七	結論	三一七

妊娠及產褥期之脚氣論

大阪高等醫學校教諭醫學博士 緒方十右衛門
大阪高等醫學校醫學士 藤村元張 共述

第一 脚氣原因概説

脚氣ノ原因ニ就テハ、諸説紛々、今日尙ホ疑問ノ裡ニアリト雖モ、之ヲ要スルニ其主ナルモノハ、左ノ三説ニ過ザルガ如シ。

第一 中毒説ハ、臨牀上ノ觀察及ビ病理解剖的所見ノ研究ニヨリ來タリシ推論ニシテ、一八八八年醫學博士三浦守治氏ニヨリ稱ヘラレシモノナリ、今日ニ至ルマデ或ハ魚類中毒説トナリ、或ハ微米中毒説、白米中毒説、又ハ糠酸中毒説、脚氣毒素説等顯ハレシモ、就中多數ノ學者ノ認ムル所ハ、米ガ細菌ノ作用ニヨリ、體內ニ於テ毒素ヲ形成シ、爲之中毒ヲ來タスト信ズルモノニシテ、彼ノ傳染説ニ於ケルガ如ク、或ル病原物ガ主

因ニシテ、米食ハ其發育繁殖ニ關係アリトナセルモノト多少論據ヲ異ニセリ、然カレ
ル今日迄、毒物トシテ種々ナルモノノ發見セララルルニカ、ワラズ、尙ホ未ダ真正ニ其
毒成分ヲ發見シタル者無シ。

第二 榮養説、ハ脚氣ヲ以テ物質代謝病ナリト認ムル者ニシテ、米麥混食、熟米、半搗米
食等ノ實驗ニ徴シ、或ハ雞ニ於ケル、白米飼育試驗ノ結果ニヨリ、一層食物中或ル物質
ノ缺損ハ、全ク本病發生ニ關係アルモノト信ゼシムルニ至リシモノナルモ、此ノ説ノ
根據トセル所ハ、鳥類ニ於ケル試驗成績ナルヲ以テ、直チニ人間ニ適用スルヲ得ザル
可ク、尙ホ米麥混食、半搗米食、或ハ熟米食等ノ該症ニ對シテノ效果ニ就テハ、一般ニ認
メララルル所ナルモ、未ダ直チニ脚氣ノ原因ハ榮養説ニヨリテノミ説明スルヲ得ザル
可シ、此榮養説ニ屬スルモノノ中、主ナルモノハ蛋白質缺乏説、脂肪缺乏説、食物單調説、
物質代謝病説、燐缺乏説、其他部分的榮養缺損説等ナリトス。

第三 傳染説、ハ本病ノ發生ガ時季、及ビ場所ニ關係アルト、流行ノ性質ニ差異アルト、
或ハ未ダ脚氣無キ地方ニ脚氣患者ノ轉地ニヨリ、茲ニ新タニ脚氣發病ノ泉源トナル
コトアル事實、及ビ同一人ノ反復罹患シテ、漸次免疫ノ状態ニ達スルコトアル等ニ基
因セルモノニシテ、微生物ハ一定ノ氣温ト、濕度トヲ要シ、且ツ米食ハ其生活繁殖トニ

或ル關係ヲ有スルモノト推測セララル、而シテ其微生物ハ、人體内殊ニ腸管内ニテ毒素
ヲ產生スルモノトシ、從テ種々ナル細菌ヲ報告セシ人少ナカラザルモ、今日鳥類ニ於
ケル脚氣様疾患ト人類ノ脚氣トハ、全ク同一ナリト見做スヲ得ザル點アリ、從テ同疾
患ニ罹レル鳥類ノ血液、及ビ臟器ニ於ケル、是レ迄ノ細菌學の檢索ノ結果ハ、未ダ直チ
ニ其原因菌ト認ムルヲ得ズ、現今ニ於テハ未ダ一般ニ承認セラレタル病原菌ノ發見
無シ。

之レヲ要スルニ、脚氣ノ原因ニ就テハ、古來幾多學者ノ論争アルモ、各其意見ヲ異ニシ
今日ニ於テ其眞因猶不明ニ屬ス。

而シテ一般ニ脚氣ヲ發スルコト多キハ、米食地殊ニ都會ニアリテ、低濕ノ街區ニ多ク
流行シ、又多人數生活セル、或ル一定ノ建物内ニ流行性ニ患者ヲ發生スルコト多シ、時
期ハ一般ニ氣温高ク濕度多キ季節殊ニ梅雨ノ候若シクハ之ノ後ニ多ク發生ス、即チ
夏季ニ多クシテ秋冷ノ候ニ向フニ從ヒ減少スルヲ常トス、脚氣ノ發生ハ、又年ニ依リ
流行ニ消長アルガ如シ、歐米人ニ少ナク有色人種ノ罹リ易キハ、一般ノ知レル所ニシ
テ Calhounハ、脚氣頻發ノ地ニ移住スルモノハ、該地域ニ出生ノ者ニ比シテ罹患スルコ
ト多シ、其風土ニ慣習スルニ從ヒテ、漸次同病ニ對シテ感受性ヲ増スモノニシテ、移住

後八乃至十二月ノ間ニ同病ヲ發スルモノ多シト云ヘリ、Hamilton, Vernich, Scheube, Baelz等ハ一回脚氣ヲ患ヒタルモノハ感受性ヲ増スモノトセリ、概シテ初發ハ重クシテ、第二回以後ハ輕症ナリ、而シテ數年ニ亘リ、反復罹患ノ後、殆ンド免疫性ヲ呈スルニ至ル、軍人學生、職工等ノ如ク特ニ密居シテ生活セル者、及ビ中等階級ニ比較的多キガ如シト、榮養、體質ニ就テハ反ツテ強壯者ニ多キガ如キ觀アリ、性ニ關シテハ女ハ男ヨリモ少ナク、年齢ハ乳兒脚氣ヲ除キ、一般ニハ十五乃至三十歳ニ最モ多ク發病スト。

第二 妊婦及褥婦ノ脚氣ニ關スル概念

一般ニ脚氣ハ男子ニ多ク、女子ニ少ク、其比男子二九ニ對シ女子五五ナリトシ、或ハ一二對七ナリトシ、シヨイベ氏ハ女子ノ罹病率ハ、男子ノ罹病率ノ一〇%ニ過ギズトセリ、斯ク女性ノ男性ニ比シテ其罹病率ノ少ナキハ事實ナリトス、然レモ、既ニベルツ及ビジモンズ氏等ノ揚言セシ如ク、妊娠及ビ産褥ハ、確カニ脚氣ノ誘因トナルベク、婦人脚氣ノ四分ノ一ハ實ニ此際ニ起ルモノニシテ女子脚氣ノ五四六四%ハ配偶者ニシテ其約半數二四七四%ハ妊娠及ビ産褥ノ關係ヲ有ス之レガ爲ニ妊娠及ビ産褥ノ經過ニ障礙ヲ及ボシ且人命ヲ奪フコトモ亦少シトセズ、是聊余等ノ研究ヲ企テシ所以ナリ。

助産上吾人ガ危險中ノ危險トシテ最モ注意スルハ、前置胎盤及ビ子癩ニシテ、約二十年以前ニアリテハ、前置胎盤ニ於テハ其患婦ノ四分ノ一ハ爲ニ生命ヲ失ヒ、胎兒ノ七〇乃至八〇%ハ死亡セリト雖、今日ニアリテハ、出血ノ初期ニ當リ適當ノ處置ヲ施スキハ胎兒ニハ尙未ダ其六〇%ノ死亡率ヲ免レザルモ、母體ノ豫後ハ著ク良好トナリ、其死亡率モ亦二乃至三%ニ減少スルニ至レリ、固ヨリ前置胎盤ハ頗危險ナル合併症ノ一ナルモ、比較的稀有ノ合併症ニ屬シ、約千五百回ノ分娩ニ一回ノ割合ナレバ、假令其危險ハ多大ナリトスルモ、由リテ蒙ル損害ニ至リテハ稀少ト云ハザルベカラズ。子癩モ亦吾人ヲ苦ムル合併症ニシテ、母體ノ死亡率ハ二〇%ノ上ニ出デ胎兒ノ五〇%ハ死ノ轉歸ヲ執ルモノナレドモ、四百乃至五百回ノ分娩ニ一回ノ子癩ヲ見ルニ過ギズシテ、九州地方殊ニ其南部ニ於テハ、屢實驗スルコトアルモ、關東地方ニ於テハ比較的少キガ如ク、要スルニ甚シク頻繁ニ實驗セラルルモノニ非ザルガ如シ。妊娠ト結核トノ合併ニ就キテハ、フェルネル氏ノ調査ニヨレバ、其死亡率ハ一二%ヲ示セリ、既ニ結核ニ罹リ一時輕快セシ者、妊娠ニヨリテ更ニ病勢ノ増惡ヲ來タス者一〇%ニシテ喉頭結核ニ於テハ三〇%ニ相當スト云フ、此統計ニヨルモ、結核ヲ合併セル者ニアリテハ、其豫後ノ如何ニ不良ナルカヲ知り得可ク、又結核ト脚氣トハ屢合併ス

ルコトアリト、若シ結核ト脚氣トノ間ニ何等カノ關係アリトセバ、前述ノ如ク單ニ結核ノミヲ妊娠ニ合併セル場合ニ於テスラ、爲メニ病勢ノ増悪ヲ來スモノナルニ、屢結核ト脚氣トヲ並セテ合併セル場合ニ於テハ、益其危險ヲ増ス可キハ言ヲ俟タザル所ニシテ實際斯カル場合ニ遭遇スルコト少ナカラザルハ、他ノ治療家モ亦既ニ實驗セシ所ナル可シ。

然ルニ我邦ニ於テハ、全國ヲ通ジテ其數量的關係ヲ異ニスルモ、脚氣患者ヲ見ザル所無ク從テ屢妊娠及ビ産褥ニ脚氣ヲ合併スルコトアリ、多數ノ觀察者ハ皆妊娠及ビ産褥ヲ本病誘因ノ一トシテ算シ羅病率ノ比較的少キ婦人ニ於テ、其罹病者ノ多數ハ此誘因ニヨリテ本病ヲ發シ、不幸ナル轉歸ヲ執リ、或ハ長時病牀ニ呻吟スルコトアリ、即チ妊婦及ビ褥婦脚氣ノ危險ハ以上二三症ノ危險ニ優ルモノアリ、從テ此不幸ヲ救フノ道ヲ講ズルハ、吾人ノ正ニ努ム可キ處ナリトス。

脚氣ノ妊娠ニ合併セルハ、全妊婦ノ幾%ニシテ、其死亡率ハ幾%ナル可キカハ、未ダ我邦ニ於ケル詳細ナル統計ノ徵ス可キモノナキモ、大阪府立病院ニテ收容セシ妊婦七百九十七名中、吾人ガ臨牀上確ニ脚氣ノ合併ト診斷セシ者九十二名、即チ全妊婦ノ一、五%ハ脚氣ノ症候ヲ認メシ者ニシテ、内死亡一三名、即チ一四、一%ヲ出セリ、則チ妊

婦ノ脚氣罹病率ハ、當ニ彼ノ産褥發熱ノ罹病率ト相比敵シ、且ツ産褥熱死亡率ハ今ヤ〇二乃至〇五%ニ過ギザルニ對シ、妊婦脚氣死亡ノ夥多ナルニ至リテハ、實ニ驚カザルヲ得ザルナリ。

脚氣ハ通常臨牀上ノ觀察ニ基キ、

- 一、乾性症 die trockene Form.
- 二、水腫性症 die ödematöse Form.
- 三、急性惡性症(心臟脚氣) die cardiale Form.

(akute perniciöse Form, Schöschin Form).

ノ三種トス。

乾性症及ビ水腫性症ハ慢性ニ經過スルモノニシテ、心臟脚氣ハ急性ニ經過シ、最惡性ナルコト其名稱ノ示ス所ノ如シ、而シテ妊娠及ビ産褥ニ於テ其何レノ種類ヲ最モ多ク合併スルカハ、多數ノ觀察ニ依ラザレバ不明ナルモ、水腫性症最モ多ク、吾人ノ場合ニテ九十二名中八十一名、即チ凡テ妊婦及ビ褥婦ニ起リシ脚氣ノ八十九%ハ水腫症ニシテ純乾性症ト見ル可キモノ七名、急性惡性症ト見ル可キモノ四名ヲ算セリ。

第三 妊婦及褥婦脚氣ノ診斷

輕度ノ脚氣ニ於テハ、單ニ妊娠ニヨリテ起ル所ノ變常ニ蔽ハレ、脚氣ノ診斷ニ必要ナル症候ヲ發見スルヲ得ザルコトアリ、從テ輕症脚氣合併ノ有無ヲ確診スルコトハ決シテ容易ナリト云フベカラズ、例之彼ノ脚氣診斷ニ際シ最價値アル症候ノ一ト見做サレタル心臟濁音界ノ右側ニ擴張スルコトハ、正規ノ經過ヲ執レル妊婦ニ於テモ亦屢認ムルコトアリ、此關係ハ佛國ノ解剖學者ニヨリテ確メラレシモ、其後之ニ反對セル論者モ亦少カラズシテ、ゲルハルト氏ノ如キモ亦之ニ反對セリ、然ルニクラウス氏ハ、X光線映像ニヨリ打診上ノ關係ヲ確實ニシテ之ヲ公ニセシガ、氏ノ說ニヨレバ、狹長ナル胸廓ヲ有スル者ニアリテハ、心臟ノ縱軸ハ軀幹ノ縱軸ニ近ヅキテ垂直ニ立チ心臟ハ唯橫隔膜ノ上ニ輕ク座乗シ、橫隔膜ノ上面ニハ何等其影響ヲ及ボサザルニ反シ、胸廓ノ廣短ナル者ニアリテハ、心臟ノ縱軸軀幹ノ縱軸ニ多少或ル傾斜ヲナシ、横ニ傾キテ橫隔膜ノ上面ハ其突面ヲ失ヒ、多少ノ凹窪ヲナシテ心臟ノ下部ヲ容ルルヲ以テ、心臟自己ハ肥大擴張セザルモ、後者ノ場合ニ於テハ、打診上心臟濁音界ハ左右ニ擴大セリ、故ニ事實上ニハ左右ニ濁音界ノ擴大ヲ來スモ、妊娠ノ末期ニ於テハ乳房肥大

シ爲ニ左側ノ濁音界ノ判定ヲ困難ナラシメ、單ニ右側ニノミ其濁音界ノ擴張セラレタルモノト思考シ、妊娠脚氣ノ心臟濁音界ノ擴張ト誤マルコトアリ、其他或ル場合ニ於テハ、脚氣ヲ合併スルコトナキモ、心臟濁音界ハ胸骨ノ右緣又ハ正中線ニ來ルコトアリ、實際妊娠中ニ心臟ハ肥大擴張ヲ起スベキモノナリヤ否ヤハ第二ノ問題トスルモ、妊娠末期ニ於テ心臟濁音界ノ擴大ハ疑フ可キニ非ラザルガ如ク、現ニフェルタル氏ノ實驗ニヨレバ、普通心臟ノ濁音界ヲ五仙迷トスレバ、妊娠末期ニ於テハ十三仙迷トナリ、產褥第十日ニ於テ六仙迷ニ減少スト。

尙其他ニ於テ、非機質性縮期ノ噪鳴ヲ、一或ハ多數ノ聽診部位ニ於テ聽キ、殊ニ心尖ニ於ケル縮氣噪鳴ハ非常ニ劇クシテ機質的變化アル場合ノ如キコトアリ、心音ノ變化ニ就キテハ、エグネミール Jaegemier 氏ガ二百五十七人ノ妊婦ニ就キテ検査セシ成績ニ據レバ健康ナル妊婦六十四人即チ二三%ニ於テ心音ノ不純若クハ噪鳴ヲ聽ケリ、且ツ氏ハ之ヲ以テ血液ノ増量及ビ纖維素ノ増加ニ歸シ、マルクス M. Marx 氏ハ、千八百九十六年ハイデルベルグニ於テ統計ヲ試ミシニ、凡テノ正規妊婦ノ一一%ニ心音ノ不純若クハ噪鳴ヲ聽取セリ、ゲルハルト氏ノ統計ニテハ、凡テノ正規妊婦ノ三二%ニ於テ噪鳴ヲ聽ケリト、アー、フオン、ロストホルン A. T. Rothorn 氏ハ、内科醫監督ノ下ニ調

查シタルニ貧血ヲ伴ハザル妊婦ニテハ、眞ノ噪鳴トシテ聴取セシハ僅ニ三%ニ過ギザリシト、リーゼル *Rieser* 氏ノ検査ニ據レバ、百人ノ妊婦中妊娠ノ最終四週間ニ於テ最著明ナル非機質性噪鳴ヲ聴取シ、心尖部及ヒ肺動脈瓣部ニ於テ粗糙ナル雜音ヲ聴クモ、肺動脈第二音ハ普通強盛セズト云ヘリ。

脚氣ニ於テモ心尖部ニ於テ縮期ノ噪鳴著シキコトアリ、肺動脈第一音ハ最も屢不純若クハ雜音ヲ呈シ、第二音ハ強盛ス、肺動脈第二音ノ強盛ハ貧血セザル人ニ對シテハ多クハ場合ニ於テ認め得キ脚氣症狀ノ一ナリトス。

脚氣患者ノ脈ハ發熱ナキニ常ニ多少速ニシテ、僅ナル身體ノ運動ニヨリテモ容易ニ充進ス、起座等ニヨリテモ二十乃至三十ノ脈數ヲ増加スルコトアリ、妊娠ト脈搏トノ關係ニ就キテハ、千八百四十七年マイブルグ *Meybunig* 氏妊婦及褥婦ノ脈曲線ノ説明ヲ試ミタリ、其脈曲線ノ上行脚ハ著ク峻峻ニシテ、下行脚ニ於ケル第一ノ彈力性隆起ハ甚ダ僅ニ顯ハレ、若クハ消失シ、逆衝隆起著ク、往々重複脈ノ狀態ヲ呈スルコトアリ、脚氣ニ於テハ其脈波高キモ軟ニシテ壓迫スレバ容易ニ消失ス、然レモ其疾患ノ輕キ者ニアリテハ普通脈波ノ狀態ニ近似セリ、脈波ノ固有ナル形狀ハ動脈壁緊張ノ減退セル結果ニシテ發熱時ノ脈波ト同一ノ關係ナリトス、而シテ脚氣症狀ノ甚シキ時ニハ

大動脈不全閉鎖症ノ如キ形ヲ現ハシ脈ハ疾速(チレル *Celer*)トナルコトアリ、カク脈ノ疾速トナルハ普通ノ妊婦ニモ亦時ニ見ル所ナレドモ、普通ノ妊婦ニ於テハ固有ナル脈波ノ變化ナク、脈數ハ七十乃至八十至ヲ算ス、尙マイブルグ氏ハ普通妊娠ニテモ重複脈波ヲ呈スルコトアリトシ、ハインリチンス *Heinrichs* 氏ハ妊婦ニハ固有ノ脈波無シト云ヘリ、普通ノ褥婦ニテハ脈ハ一般ニ緩慢トナリ、緊張強ク且大トナル、若シ産褥中ニ發熱ナクシテ、速脈トナリ上述ノ如キ脈波ハ變化ヲ呈スレバ、殊ニ本邦ニ於テハ脚氣ノ初期ナル事ニ著目セザル可カラズ。

脚氣患者ノ血液ハ固有ノ變化ナシ、ベルツ氏ハ脚氣ノ初ニ赤血球ノ數一乃至三百萬ニ減ズルモ、輕症ノ時ニハ全ク減少セズト云ヒ、ウエルニヒ *Wernich* 氏ハ重症脚氣患者ノ血液ニ於テハ赤血球縞錢狀ニ排列スルコト少ナシト云ヘリ、然レドモ此變化ハ脚氣ニ於ケル固有ノ變化ニアラズ、尙一般ニ白血球ハ増加スト云ヒ或ハ血小板ヲ生ズルコト多シト云ヘリ、マクス、ウヰルド *Max Wild* 氏ハ普通妊婦ノ赤血球ハ四六七〇〇〇ト算シ、赤血球ト白血球トノ比ハ一ニ對シ四一六トナシ、血色素量最少ナキヲ七一%最多キヲ九一%トシ、産褥中ニハ六八乃至九五%ノ間ヲ上下シ、産褥中赤血球ノ數ハ三百八十萬六千乃至五百七十萬ト算シ、又赤血球ト白血球トノ比ハ、一ニ對シ一三

六乃至三八〇トセリ、本邦婦人百名ニ就キ妊娠末期ニ於ケル血液價ハ余等ノ調査ニテハ、赤血球四百三十二萬四千、白血球二萬一千、其比赤血球二百〇五ニ對シ白血球一トナレリ。而シテ脚氣合併ノ有無ハ、正ニ妊婦及ビ褥婦ノ血液ニ何等固有ノ變化ヲ及ボサザルモノノ如ク、血液粘稠度ノ關係ニ就キ余等ノ調査ニテハ、健康妊婦ノ血液粘稠度ノ係數ハ攝氏二十度ニ於テ平均三七ニシテ健康褥婦ニアリテハ三四ヲ算シ、水腫性脚氣ヲ合併セシ妊婦ニアリテハ其係數三八トナリ、褥婦ニ於テハ二九ヲ示セリ。

一般ニ余等ノ調査ニテハ

妊婦ノ血液ハ非妊時ニ於ケル血液ニ對シ其粘稠度稍弱ク、合併症ナキ褥婦ノ血液ハ妊婦ノ血液ニ比シ其粘稠度更ニ弱ク、妊婦ノ脚氣症候ヲ現ハセル者ニアリテハ健康妊婦ノ血液ニ比シ其粘稠度弱クシテ、褥婦ノ脚氣ニ罹リシ者ニアリテハ健康褥婦ノ血液ニ比シ其粘稠度更ニ一層低シトス。

一般ニ妊娠時ニハ其非妊時ニ比シテ排尿量少キニ、脚氣ヲ併發セシ場合ニアリテハ縱令輕症ニテモ尿量ノ減少尙著シク、殊ニ水腫性症ニアリテハ尿量減少更ニ甚シク、水腫性脚氣ノ輕快セントスルヤ尿量ハ次第ニ増加スルモノナリ、衝心性症ニアリテハ、全ク尿閉ヲ來スノトアリ、マスレル *Mader* 氏及其他ニヨレバ、妊婦ノ尿比重ハ一〇

一一乃至一〇一四ナリト云ヒ、本邦健康妊婦ノ尿比重ハ未ダ正確ナル統計ヲ見ズ、從テ脚氣ヲ合併セル妊婦ノ尿ニ於ケル比重ノ關係ハ未ダ之ヲ知ルヲ得ズ、脚氣患者ノ尿ハ新鮮ナル間ハ酸性ニシテ尿素ノ排泄ヲ減ズト、然レモ未ダ本邦ノ健康妊婦褥婦ノ尿素排泄ニ關スル精細ノ報告ヲ見ザレバ、後日更ニ研究スルノ餘地アル者ナリ。

脚氣患者ニハ、屢其尿中ニ「インヂカン」ヲ證明シ、重症脚氣ニ於テ殊ニ下劑ノ奏效セザル際「インヂカン」ノ量多シト、尿中ニ蛋白ノ排泄スルヤ否ニ就キテハ人人其說ヲ異ニスルモ、要スルニ稀ニ見ル所ノ症候ナルベシ、尿中蛋白ヲ證明セシ場合ノ多クハ死ノ轉歸ヲ執リシト云フ、妊娠ノ末期及ビ産褥第一週ニハ、他ニ脚氣ノ症候ナクシテ屢尿中「インヂカン」ヲ證明ス、殊ニ便秘アリシ場合ニハ、殆ト凡テノ褥婦ノ尿ニ「インヂカン」ノ反應著明ナレバ該反應ハ褥婦ニアリテハ脚氣ノ徵候トナスコトヲ得ズ、其他妊娠末期ニ於テハ、尿中ニ蛋白ヲ證明スル場合多クシテ、妊娠ニ脚氣ノ合併セシ結果ニ歸スベキヤ否ヤニ至リテハ、其説明甚ダ困難ナリト云ハザルベカラズ。

排尿障礙ハ甚ダ稀ニ見ル所ニシテ、ツールム *Thurn* 氏ハ脚氣患者ニシテ膀胱及ビ直腸障礙ノ完全ナリシ例ヲ見タリト云ヘリ、然レモ褥婦ニ合併セル脚氣ニハ此症比較的稀有ナラズトス、便通ハ便秘スル者多ク、瀕死ノ重症ナル時ニハ大便ヲ失禁スルコ

トアリ、殊ニ死亡ノ當日ニハ精神状態不明瞭トナリ、失禁スル場合敢テ少シトセズ。多少著シキ皮膚知覺ノ鈍麻ハ脚氣患者ニ必發ノ症状ニシテ、此知覺異常ハ一定ノ神經分布域ト一致セズ、最初ニ表ルルハ下腿ノ内側腓腸部足趾、足背ニシテ、全下腿ヨリ上腿ニ及ビ、初メ侵サレタル部ノ知覺異常増劇シタル後、他ニ及ボスモノニシテ、腕、手指ノ尖端及ビ口圍ニ知覺異常ヲ來タスハ比較的末期ナリトス、又好ンデ臍圍ヲ犯カスモ頸部ヲ侵カスコト無シ、然レモ妊婦ニアリテハ、往々生理的範圍内ニアリテモ下肢ニ浮腫ヲ來タシ、皮膚緊張ノ爲メ知覺ノ鈍麻スルコトアリテ、脚氣併發ノ有無ヲ知ルニ苦シムコト少ナカラズ、知覺異常ハ上腿ヨリモ下肢ニ至ルニ從ヒテ甚シク、四肢ニアリテハ屈側ヨリモ伸側ニ著シキガ如シ。

感傳電氣ヲ通ズルモ、腹部下肢足尖ハ之ヲ感ゼザルニ至リ、一般ニ感傳電氣ニ對スル知覺ハ減少ス、知覺過敏ハ稀ニ起ル所ノモノニシテ、屢蟻走様感覺ヲ呈スルコトアリ、然レモ昨年下半年期ヨリ本年ニカケ知覺過敏ノ患者モ亦少ナカラズ、最モ屢見ル所ノモノハ下肢ノ倦怠ニシテ其他腓腸部緊滿ノ感アリ、固有ナル部位疼痛無キモ時トシテ刺痛、壓痛、牽引痛等ヲ四肢ニ訴フルコトアリ、筋肉ノ知覺過敏ハ急性症ニ多ク見ル所ニシテ、神經性及ビ水腫性脚氣ニアリテハ四肢ノ筋肉殊ニ腓腸筋ノ萎縮スルコト

リ、上膊ノ筋肉ハ侵サルルコト少ク前膊筋ノ瘦削スルコト著シ。

筋肉ノ麻痺ハ筋肉ノ瘦削ト一致セズ、運動性麻痺ハ弛緩性麻痺ニシテ、萎縮セル筋肉ニハ纖維様ノ搖蕩ヲ見ルコトアリ、然シテ此ノ運動麻痺ノ輕重ハ脚氣ノ危險状態ト一致セザルコト甚ダ多シ。

又横隔膜麻痺ハ重症ノ場合ニ來タリ吸氣時ニ胃部ノ陷凹ヲ起ス、又打診上横隔膜ノ高位ヲ認ム是レ急性惡變ノ原因ヲナスモノナリ。

萎縮性症ニハ、間接又ハ直接ニ平流電氣ニ對スル反應早期ニ減退シ、神經及ビ筋肉ノ感傳電氣ニ對スル反應ハ早期ニ消失ス、尙此他神經及ビ筋肉ノ電氣ニ對スル反應單ニ減ズルノミナラズ部分性ノ電氣變調及ビ完全ノ電氣變調顯ハレ殊ニ腓腸筋ニ著シカカル筋肉ノ萎縮ハ妊婦並ニ褥婦ニハ初メヨリ來タル者甚ダ少ナク、初メ多クハ水腫性症ニシテ、水腫消散ノ後下肢ノ運動麻痺著明トナリ、之ヨリ次第ニ筋肉ノ萎縮ヲ來シ、長ク歩行ニ堪ヘザル者多シ。

膝蓋腱反射ハ初期ニ於テ合併症ナキ者ニハ亢進スルモ、漸次弱クナリ遂ニ消失シ或ハ初メ亢進セシ膝蓋腱反射ノ急ニ消失スルコトアリ、此關係ハ兩側ニ殆ト同様ニシテ脚氣患者ニ於テハ足現象顯ハレズト、本邦ニ於テハ健康妊婦及ビ褥婦ノ腱反射ハ

一般ニ亢進ス、故ニ若シ妊婦及ビ褥婦ニシテ膝蓋腿反射消失セシ場合ニアリテハ初期脚氣ノ疑ヲ置キ得可キガ如シ。

左ニ脚氣ト鑑別ヲ要ス可キ疾病ヲ擧グレバ

第一 妊娠腎トノ鑑別

妊娠腎

- 一 尿、尿中蛋白ヲ證明シ圓柱及ビ脂肪變性シタル腎上皮細胞ヲ見ル
- 二 心臓ノ變化、無シ
- 三 知覺障礙、無シ
- 四 腿反射ノ狀態、變セズ
- 五 筋萎縮、無シ
- 六 浮腫、先ヅ顔面ヨリ表ハル

第二 心臓病トノ鑑別

心臓病

- 一 心臓病ニ於テハ各病變ニ應シ固有ノ變化即チ心臓ノ擴張肥大ヲ來タシ雜音モ亦之レニ一致シ脈モ亦變化ス
- 二 浮腫ハ心臓機能障礙ノ結果トシテ表ルノミ

妊娠脚氣

- 一 尿、普通ノ場合ニ於テハ尿中蛋白及ビ圓柱ヲ認メズ
- 二 心臓ノ變化、アリ
- 三 知覺障礙、アリ
- 四 腿反射ノ狀態、變ズ
- 五 筋萎縮、アリ
- 六 浮腫、下肢ヨリ始マル

妊娠脚氣

- 一 心臓右室ノ擴張肥大ヲ呈シ肺動脈第二音ノ旺盛ナルヲ固有トス脈ハ無熱ナルニ關セス速脈ニシテ軟壓迫ニヨリ消失スルコトアリ
- 二 浮腫ハ多ク初期ヨリ存ス先ヅ下肢ヨリ表ル

第三 脊髓癆トノ鑑別

脊髓癆

- 一 初メ下肢ニ電擊性疼痛ヲ發ス
- 二 老人ノ男子ニ多シ
- 三 九十%以上ハ黴毒ニ關係アリ
- 四 漆蓋腿反射消失 (Wastphal'sches Symptom)
- 五 反射的瞳孔強直存ス (Argyll-Robertson'sches Symptom)
- 六 閉眼時ニ於ケル身體動搖 (Binchle-Romberg'sches Symptom)
- 七 膀胱直腸ノ障礙多シ
- 八 筋萎縮及ビ浮腫無シ
- 九 視神經ノ萎縮ヲ來タスコト多シ
- 十 心臓ノ變化無シ
- 十一 多感症 Polgaesthesia ヲ呈ス

三 其他ニ脚氣固有ノ變化表ハル

妊娠脚氣

- 一 下肢ノ疲倦歩行不確等ヲ來ス
- 二 壯年ニ多シ
- 三 黴毒ニ關係無シ
- 四 初期ニ於テハ腿反射ハ亢進シ後漸次減弱シ遂ニ消失スルニ至ル
- 五 反射的瞳孔強直存セズ
- 六 脚氣ハ筋ノ萎縮ヲ起シ之レガ爲メニ運動障礙起ルコトアリ
- 七 膀胱直腸ノ障礙ハ稀レナリ
- 八 筋萎縮及ビ浮腫ヲ來スコト多シ
- 九 視神經ノ萎縮無シ
- 十 心臓ノ變化ヲ呈ス
- 十一 腓腸筋ノ壓痛ヲ呈ス

第四 脊髓炎トノ鑑別

妊婦及褥婦脚氣ノ診斷

脊髓炎

- 一 脊髓ノ断片ニ應ズル知覺異常アリ
- 二 膀胱直腸ノ障礙アリ
- 三 浮腫無シ
- 四 心臓ノ變化無シ
- 五 多クハ蠱毒ニ關係アリ
- 六 第三腰椎ヨリ上方ニ病變アレハ腱反射亢進ス

第五 脊髓側索硬化症トハ鑑別

脊髓側索硬化症

- 一 先ヅ筋肉ノ萎縮起リ次テ麻痺起ル拇指球骨間筋初メ萎縮シ次テ上肢ノ筋肉ニ來タル
- 二 知覺障礙無シ
- 三 浮腫ナシ
- 四 心臓ノ變化ナシ
- 五 腱反射亢進ス

第六 進行性筋肉萎縮症トハ鑑別

進行性筋肉萎縮症

- 一 筋肉萎縮ヲ先發シ後其運動障礙ヲ來ス

妊娠脚氣

- 一 知覺異常ハ先ヅ下肢ニ始マリ且ツ著明ナリ
- 二 膀胱直腸ノ障礙ハ稀レナリ
- 三 浮腫存ス
- 四 心臓ノ變化存ス
- 五 蠱毒ニ關係無シ
- 六 腱反射初メ亢進シ後減弱シ遂ニ消失ス

妊娠脚氣

- 一 麻痺先ヅ起リ其後ニ至リ筋肉ノ萎縮起ル多クハ下肢ノ筋肉ニ顯ハル
- 二 知覺障礙存スルモノ多シ
- 三 浮腫存ス
- 四 心臓ノ變化存ス
- 五 腱反射ハ初メ亢進シ後減弱シ遂ニ消失ス

妊娠脚氣

- 一 麻痺先ヅ顯ハレ後筋萎縮ヲ來タス

- 二 浮腫ナシ
- 三 膝蓋腱反射始終通常
- 四 心臓ノ變化無シ
- 五 知覺ノ異常ナシ

第七 脊髓前角炎トハ鑑別

脊髓前角炎

- 一 俄然高熱ヲ以テ起ル
- 二 後ニ弛緩性筋肉麻痺ヲ來タシ筋萎縮ス
- 三 知覺異常無シ
- 四 浮腫無シ
- 五 心臓ノ變化ナシ
- 六 偏側又ハ兩側萎縮ニ陥リ治セズ

- 二 浮腫多クハ存ス
- 三 腱反射初メ亢進シ漸々減弱シ遂ニ消失ス
- 四 心臓ノ變化存ス
- 五 知覺異常アリ

妊娠脚氣

- 一 發熱無シ
- 二 知覺異常多クハ存ス
- 三 浮腫表ハル
- 四 心臓ノ變化アリ
- 五 脚氣ニ於テハ筋肉ノ萎縮ヲ來タスモ後ニ治ス

第八 癩病トハ鑑別

既往症及知覺麻痺ノ存スル部位神經肥厚等ニ注意セバ容易ニ鑑別スルコトヲ得ベシ。

第九 腎臟病トハ鑑別

慢性腎臟炎ト誤ルコトアリ心臓ノ變化尿検査ニ注意セバ容易ナリ。

第四病歴

第一例 服部某 三十三年 經妊

既往症 十九年十一月經初潮シ爾來正調三四日持續シ量中等障礙無シ十九年十月月
婚嫁シ一男三女ヲ分娩ス十一月中旬以來月經閉止シ目下妊娠十ヶ月ナリ
主訴 入院分娩ノ希望

入院 四十一年九月廿八日

現症 體格甚榮養中等、心臟濁音界擴張無ク肺、動脈、第二音、ハ、僅ニ、旺盛、腹部ハ膨滿シ子宮底
ハ臍上四指横徑ニアリ兒頭ハ骨盤入口上ニアリテヨク移動ス胎兒心音ハ左臍棘線ニ於テ
著明ニシテ下肢ニハ浮腫、知覺異常、腓腸筋握痛等無シ膝、蓋、腱、反射、微弱、無熱、脈八十八以下、尿
量四百瓦

三十日 午前三時破水後十五分ニシテ女兒ヲ安産ス分娩經過極メテ輕易ニシテ陣痛可ナ
リ強盛ナリキ三時四十分胎盤胎兒面ヲ以テ娩出セラレ子宮底ハ臍下三指横徑、收縮佳、後
出血無シ午前六時體溫三十六度八分、脈七十八、夕三十六度二分、脈九十、子宮底ハ午後四時臍
下一指横徑ニアリ硬度硬ク惡露血性臭氣無シ下肢浮腫知覺鈍麻ナク膝、蓋、腱、反射、微弱、麥角
劑及硫酸(一〇、〇)ヲ與フ
一日 無熱、脈八十二以下、便通一回、尿量四〇〇、〇瓦

第二例 本田某 三十四年 車夫ノ妻 經妊

二日 無熱、脈七十四以下、便通一回、尿量五〇〇、〇瓦
三日 朝三十六度五分、脈七十六、夕三十七度七分、脈七十四、便通一回、尿量四百瓦、子宮底ハ耻
骨縫際上四指横徑ニアリ收縮佳、惡露血性汚穢色ヲ呈シ膝、蓋、腱、反射、微弱、昨日來初生兒ニ
ハ、母乳ヲ與ヘシニ、數回吐乳、下痢、三回(青便)下、肢ニ浮腫ヲ認ム
四日 無熱、脈七十八以下、便通一回、尿量五百瓦、初生兒驚口瘡ヲ患フ且ツ乳兒脚氣ノ徵アル
ヲ以テ人工榮養ヲ行ヒ傍ラ二%重曹水ヲ以テ口腔ヲ清拭シ甘汞(〇、〇)ヲ糖ニ和シ一日三
回ニ分服セシム
五日 心臟濁音界普通、肺、動脈、第二音、旺盛、子宮底ハ臍下三指横徑ニアリ惡露漿液血樣、下肢
ニ浮腫ナク膝、蓋、腱、反射、全ク消失、初生兒嘔吐減少一般狀態佳、其ニ趣ケリ
八日 子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニアリ收縮稍不充、分、惡露多量臭氣アリ初生兒下肢ノ
浮腫減退シ牛乳榮養ニテハ嘔吐ナカリキ
十一日 前夜二回母乳ヲ與ヘシニ朝來又々三回少量ノ嘔吐アリ
十三日 退院ス
本例ハ母體ニ於テハ殆ンド脚氣ト診斷ス可キ臨牀上ノ諸徵ヲ缺クニ關ハラズ分娩後第五
日ニ乳兒脚氣ヲ發シ離乳ニヨリ乳兒ノ症狀輕快シ更ニ母乳ヲ與ヘシニ忽チ再三吐乳ヲ來
セシヲ以テ遂ニ離乳人工榮養ヲ用ユルノ止ムヲ得ザルニ至レリ

既往症 生來強健著患ヲ知ラズ月經初潮十六年九ヶ月爾後不順十七年三ヶ月ニシテ結婚
シ四女ヲ分娩ス最終月經ハ二月中旬目下妊娠八ヶ月

主訴 下痢、一日十乃至十五回、腹痛ヲ伴フ

入院 明治四十三年十月八日

現症 體格中等、榮養稍不頁、舌ニ白苔アリ且ツ口内炎ヲ患フ打診上心臓濁音界ノ擴張ヲ認
メズ肺動脈第二音僅カニ旺盛シ子宮底ハ劍狀突起及ビ臍ノ中央ニ位シ兒頭ハ骨盤入口上
ニ移動ス觸診ノ際子宮壁ノ收縮スルヲ認ム胎兒心音ヲ聴取スルヲ得ズ浮腫無ク膝蓋、反
射、消失、歩行障礙ナシ知覺鈍麻、腓腸筋、握痛無シ前夜來惡氣、嘔吐アリ下痢五回

十月十一日 午前二時頃ヨリ急ニ陣痛起リ三四回發作後死、胎、女、兒、分、娩、セリ、破水後胎兒娩
出迄七分ヲ要シタリキ更ニ二十五分後胎盤胎兒面ヲ以テ娩出ス殆ド後出血無ク子宮收縮
佳其ナリ體温三十六度五分、脈百十

二日 朝體温三十六度、脈八十、夕三十六度三分、脈九十、便通數同、子宮底ハ臍高二在リ收縮
常、惡露血性量多シ

三日 朝體温三十六度五分、脈七十四、夕三十六度五分、脈八十六、便通十回

四日 朝體温三十六度、脈七十三、夕體温三十七度一分、脈八十、便通七回

五日 朝體温三十六度三分、脈百、夕體温三十六度六分、脈百十

六日 朝體温三十六度、脈九十九、夕體温三十七度、脈九十四、下痢數回

七日 朝體温三十六度五分、脈九十、夕體温三十六度二分、脈九十
八日 朝體温三十七度、脈百十、夕體温三十六度、脈百九、下痢數回

九日 朝體温三十七度五分、脈百十、夕體温三十七度、脈九十五、患者耳鳴ヲ訴フ子宮底ハ臍下
四指横徑ニ位ス收縮不充分壓痛ナシ惡露漿液血性、膝蓋腱反射消失ス

十日 朝體温三十六度、脈九十、退院ス
死胎兒剖見記事

一女兒身長四十一仙迷、體重千六百十五瓦、頭圍二十七仙迷、肩胛圍二十四、小横徑六・五、大横徑
八・〇、前後徑九・〇、大斜徑一一・、小斜徑八・〇仙迷ヲ算ス頭毛ハ約一・五仙迷ノ長サヲ有シ指爪
ハ指頭ヲ越エズ背部ニハ毳毛ヲ密生シ全身胎脂ヲ以テ被ハル死硬ハ融解ス死斑ヲ認メズ
臍帶ノ殘痕ヲ留ム

腹腔ヲ開クニ帶黄色ノ漿液約三十五ヲ容ル腹内臟器位置異常ナシ横膈膜ノ高サ右第四肋
骨ノ下緣左第五肋骨ノ上緣ニ在リ

胸腔ヲ開クニ左右共ニ帶黄色ノ漿液約十五ヲ容ル二葉ノ胸線ハ第四肋骨ノ高サニ達シ心
囊ノ上部ヲ被フ肺臟ハ擴張セズシテ肋膜腔ヲ充タサズ肋膜面異常ナシ

心囊ヲ開クニ橙黄色稀薄ノ漿液約十五ヲ容ル心囊内外面異常無シ
心臓基底周圍右四・二、左三七仙迷、室ノ長サ右三・〇、左二・七仙迷、壁ノ厚サ右〇・五、左〇・三仙迷、重
量一一・五ヲ算ス

冠狀靜脈ハ著シク鬱血怒張シ殊ニ基底ニ於テハ米粒大乃至小豆大ノ隆起セル溢血症ヲ認
 △房内ニハ流動性暗赤色ノ血液多量ヲ容レ著シク膨滿ス室内ニモ亦流動性血液多量ヲ容
 レ右室壁ハ肥厚シ肉柱發育良、右室壁ハ肥厚ナク肉柱及ビ瓣膜裝置異常ナシ
 左肺質軟、強度ノ鬱血ヲ認メ剖面血液ニ富ミ壓スルニ氣泡ヲ含有セズ試ミニ一片ヲ水中ニ
 投ズレバ沈降ス

右肺全ク左肺ニ同シ

脾大サ四・三 二・七 一・五仙迷表面剖面著變ナク剖面血量ニ富ム其他著明ノ變化ヲ認メズ
 左腎大サ二・七 二・四 一・八仙迷表面凸凹不平剖面著シク鬱血ス皮髓質ノ境界判然シ他ニ
 著變無シ被膜剝離シ易シ

副腎二・五 一・五 〇・五仙迷

右腎大サ三・八 二・二 二・一仙迷所見全ク左腎ニ同シ

右副腎三・〇 二・〇 一・六仙迷

十二指腸ヲ開クニ粘膜炎變化無ク輸胆管開口部腫脹無シ膽嚢ヲ壓スルニ帶綠色粘稠ノ膽汁
 流出ス

肝臟大サ九・五 四・五 二・五仙迷剖面鬱血シ輕ク壓スルモ血液流出ス

脾臟モ亦變化無シ

胃底ヲ開クニ帶黃白色粘稠ノ液約三・〇瓦ヲ容ル粘膜炎鬱血ノ他潰瘍等ヲ認メズ小腸表面

竝ビニ腸間膜血管ハ著シク鬱血ス大腸ハ胎糞ヲ以テ中等度ニ膨滿ス廻盲部ニ黃綠色ノ
 糞ヲ容ル粘膜炎異常無シ

膀胱ハ僅カニ膨滿シ粘膜炎所々溢血症ヲ見ルノ外變化無シ
 病理解剖的診斷

死産兒(早産兒) 心臟各室ノ擴張肥大、流動性血液、諸臟器ノ鬱血
 本例ハ母體ニ對シテハ極メテ輕度ノ脚氣ヲ發セシニ止マルモ胎兒ニ向テハ普通大人ニ見
 ル所ト同様ノ脚氣ノ剖見的所見ヲ呈セシモノナリ

第三例 平石某 二十三年 山林業 初妊

既往症 生來健全著患ヲ知ラズ十六年月華來潮、常ニ不順ニシテ四五日間持續シ量不定、時
 二月經時故障ヲ伴ヒシコトアリ二十一年六月結婚シ八月八日以來月經閉止ス目下妊娠
 十ヶ月

主訴 胃部膨滿停滯ノ感、入院分娩ノ希望

入院 四十四年五月十八日

現症 體格中等、榮養佳、脈稍々小ニシテ且ツ頻數ナレドモ整調、咽頭發赤シ扁桃腺腫脹無
 シ心臟濁音界ノ擴張ヲ認メズ右肺尖呼吸延長、左肺尖及ビ左肺前面ノ上部管聲ヲ聽ク腹部
 ハ著シク膨滿シ腹圍八十六仙迷ヲ算ス子宮底ハ劍狀突起下三指橫徑ニ在リ兒頭ハ骨盤入
 口ニ固定ス胎兒心音ハ左右臍棘線ニ於テ聽取ス胎兒小部分ハ右側ニ於テ觸知ス下肢ニ浮

腫、知覺鈍麻無ク膝蓋腿反射ハ亢進ス食慾不進、便通結、尿頻數、尿中蛋白ナク、インゲンガカンシテ
證明ス
入院後ノ経過

二十日 乳房發育佳其乳嘴乳暈ノ著色著シク初乳ヲ分泌ス心臓濁音界普通、肺、動脈、第二音、
ハ著シク旺盛、子宮直徑三十一仙迷、厚徑十八仙迷、幅徑二十六仙迷ヲ算ス下、肢、ニ、輕度、ハ、浮
腫、表、ハ、ハ、硬麻八〇瓦ヲ内服セシム便通日々一二回アリ

二十三日 時々子宮收縮起ル胎兒心音ハ左臍棘線ニ於テ著明ニシテ浮腫減退ス
二十四日 膝蓋腿反射微弱トナル

二十六日 觸診ノ際子宮收縮ヲ起ス胎兒心音左臍棘線ニ於テ著明ナリ

二十九日 心臓濁音界普通、肺、動脈、第二音著シク旺盛、下肢ニ輕度ノ浮腫アリ兒頭骨盤入
口ニ固定ス頤部ヲ左ニ、項部ヲ左側ニ觸ル入院以來無熱ニ經過シ脈搏八十乃至八十五、便通

毎日一、二回自覺的障礙甚ダシカラズ二週間後分娩開始ス
分娩ノ経過

六月一日 午前九時四十分産室ニ移シ直チニ石鹼院腸ヲ行フ胎兒心音左臍棘線ニ於テ著
明ナリ間モナク血液ヲ混セル粘液ヲ排泄ス十時陣痛發作四十秒、間歇四分、胎兒心音百四十、
十時二十分發作五十秒、間歇一分、十一時二十五分陣痛發作五十秒、間歇五十秒、十一時三十分
女兒娩出ス破水時間不明ナリシ爲メ破水後幾時間ヲ要シタルカ明ラカナラザルモ分娩經

過ハ極メテ輕易ナリキ、十二時多少出血ヲ來タセルヲ以テクレテ氏壓出法ヲ行ヒ胎盤ヲ壓
出セリ子宮底ハ臍ト耻骨縫際ノ中央ニ在リ收縮佳其ナリ輕度ノ會陰破裂ヲナセリ發熱ナ
ク脈ハ緊滿充實ス
産褥ノ経過

六月二日 朝三十七度四分、脈九十、正午三十七度三分、脈九十四、夕三十七度三分、脈九十二、便
通二回乳房緊滿セズ心臓濁音界ノ擴張ヲ認メズ肺、動脈、第二音著シク旺盛、腹部膨滿甚ダシ
ク子宮底ハ臍上三指横徑ニ在リ硬度軟ナラズ壓痛アリ膀胱充滿シ耻骨縫際上ニ於テ著シ
ク波動ヲ呈ス惡露血性多量臭氣無シ

三日 朝三十六度八分、脈八十四、正午三十七度五分、脈九十、夕三十七度七分、脈九十、五、便通無
シ乳房少シク緊滿シ子宮底ハ臍上四指横徑ニアリ膀胱ハ尿ヲ以テ充滿シ波動ヲ呈ス惡露
血性多量臭氣無シ

初生兒ハ數回母乳ヲ與ヘシニ毎回吐乳セシヲ以テ全ク母乳ヲ禁シ六倍ニ稀釋セル牛乳ヲ
與ヘ他ニ甘水(〇〇〇)ヲ三回ニ内服セシム體重二千七百五十五

四日 朝三十七度五分、脈百十、正午三十八度、脈百五、夕三十七度五分、脈九十四、便通一回、硬麻
及ビ麥角劑ヲ與フ

初生兒吐乳一回牛乳五倍ノ稀釋ニ代ユ
五日 朝三十七度八分、脈九十、正午三十六度五分、脈八十四、夕三十七度四分、脈九十、便通無シ

石鹼浣腸ヲ行フ乳房緊滿ス子宮底ハ臍高二アリ收縮不其硬度軟壓痛無シ惡露血性臭氣無シ下肢ニ浮腫知覺鈍麻腓腸筋握痛等無シ初生兒嘔吐無シ

六日 朝三十六度八分脈七十九正午三十六度八分脈七十九夕三十七度五分便通無シ心臍右界ハ胸骨左緣ヨリ一指横徑右方ニアリ肺動脈第二音著シク旺盛シ子宮底ハ臍下一指横徑ニアリ硬度軟惡露血性汚穢色ヲ呈シ多少臭氣アリ下肢ニ浮腫ナク膝蓋腱反射微弱トナル産褥ニ於テ臍氣ノ症候ヲ發セリ初生兒嘔吐ナシ乳房甚ダシク緊滿セシヲ以テ試ミニ二三回母乳ヲ飲用セシメシニ再ビ吐乳セリ

七日 朝三十七度一分脈八十四正午三十七度脈九十四夕三十七度四分脈八十四便通ナク石鹼浣腸ヲ行フ舌ハ白苔ヲ被リ子宮底ハ臍下三指横徑收縮普通硬度軟ナラズ壓痛無シ惡露血性漿液性量多カラズ食慾不進

初生兒ハ突然四十度ニ發熱シ數回吐乳ス安地必林(〇〇三)安息香酸曹達コヘイン(〇〇三)單舍利別(〇〇水)〇〇チ數回ニ分服セシメ十倍滋養糖ヲ與ヘ母乳及ビ牛乳ヲ禁ズ

八日 朝三十六度三分脈六十八夕三十六度七分脈七十八顔貌蒼白眼瞼震顫ス子宮底臍下三指硬度稍々軟惡露血性漿液性臭氣甚ダシカラズ

初生兒體溫最高三十八度五分時々吐乳ス便通三回

九日 無熱子宮底ハ耻骨縫際上四指横徑ニ在リ惡露漿液性少量臭氣ナシ初生兒體溫最高三十七度八分吐乳減セシモ下痢便ニシテ且ツ青色ヲ帶ベリ腸洗滌ヲ行フ

十日 無熱子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニ在リ惡露漿液性便通無シ初生兒熱下降ス吐乳及下痢尙ホ歇マズ

十二日 無熱便通一回著變無シ

初生兒吐乳下痢輕快ス

十三日 無熱下痢一回心臍右界ノ擴張ヲ認メズ只肺動脈第二音旺盛シ而シテ觸診上腹部ニ耻骨縫際上部ニ於テ僅カニ抵抗ヲ感ズルノ外明ラカニ子宮底ヲ觸知スル事能ハズ惡露ハ漿液性極少量下肢浮腫知覺異常腓腸筋握痛等無シ膝蓋腱反射少シク亢進セリ母體脚氣症狀漸次減退ス

初生兒吐乳下痢歇ミ殆ンド健康ニ復ス體量增加シ二千九百二十五トナル

十五日 無熱ナルモ顔貌ハ尙ホ蒼白腓腸筋緊滿ノ感アリ且ツ多少壓痛ヲ訴フ

初生兒異常無シ

十七日 無熱著變無シ入浴ヲ行フ

十八日 無熱著變無シ

初生兒亦異常ヲ認メズ母乳ヲ用ヒシム即チ其量ヲ節シ三時間半毎ニ飲マシム

十九日 初生兒臍部ヨリ出血シ下痢數回吐乳二回斷然母乳ヲ禁シ爾後牛乳榮養ヲ行フ

二十四日 退院ス

本例ハ分娩後第三日母體ニ於テハ臨牀上肺動脈第二音ノ亢進下肢ニ輕度ノ浮腫アルノ外

未ダ充分認め可キ脚氣症状ノ表ハレザルニ先チ既ニ初生兒ニハ頑固ノ吐乳並ビニ下痢アリ其後母體ニ臨牀上脚氣症状表ハレシガ其症状ノ減退セシ後猶一度人工榮養ニヨリ全ク健全トナリタル乳兒ニ再ビ母乳ヲ與ヘシニ再ビ吐乳及ビ下痢其他乳兒脚氣ノ徵候表ハレタリ即チ母體脚氣ノ輕重ト乳兒脚氣ノ發生及ビ其輕重トハ常ニ一致セザルモノナルヲ知ルベシ

第四例 名知某 二十四年 工女 經妊

既往症 月經初潮十八年爾來正調二十一年十一月ニシテ結婚シ一回分娩ス最終月經ハ一月十四日ニシテ現今妊娠十ヶ月ナリ(豫定分娩期十月二十一日)

主訴 月經閉止、腹部膨滿、心悸亢進、歩行困難ニシテ入院分娩ノ希望ニテ來タル
入院 四十一年十月十九日

現症 體格榮養共ニ中等、浮腫ナク打診上心臓濁音界ノ擴張ヲ認メズ心悸亢進著シク肺動脈第二音旺盛シ脈頻數九十八至、左右兩肺炎打診上短音、呼吸延長シ時々小水泡音ヲ聽ク右肺背面ノ下部呼吸音一般ニ微弱、腹部膨滿シ子宮底ハ臍及ビ劍狀突起ノ中間ニ在リ兒頭下方ニシテ骨盤上口ニ固定ス心音ハ兩側ニ於テ聽取シ得ルモ殊ニ左側ニ於テ著明ナリ觸診ニヨリ子宮收縮ス下肢ニ浮腫ナク又知覺鈍麻、腓腸部壓痛等無ク膝蓋腱反射著シク亢進ス食慾亢進、尿量通常、便通二—三日毎ニ一回
入院後ノ經過

入院後無熱ナルモ脈、頻數、ナリ、第四日ニ分娩ス(十月二十二日)
分娩ノ經過

破水後四十五分ニシテ男兒娩出ス更ニ二十五分後胎盤娩出セリ後出血ナク直後ニ於ケル子宮收縮状態佳ナリ
産褥ノ經過

第一日 午前九時體溫三十六度、脈八十九、正午三十六度七分、脈九十、午後六時三十六度八分、脈九十、軟、打診上心臓濁音界擴張ヲ認メズ肺、動脈、第二音著シク、旺盛、子宮底ハ臍高、硬度軟、壓痛無シ惡露血性臭氣ヲ放ツ量稍多シ下肢ニ浮腫無ク知覺鈍麻、膝蓋腱反射消失、便通一回
第二日 午前九時體溫三十七度二分、脈百九、正午三十七度三分、脈百七、午後六時三十七度六分、脈百十、子宮底ノ高サ惡露ノ性状前日ニ同シ便通一回、麥角ヲ内服セシム
第三日 午前九時三十七度七分、脈百十、正午三十七度八分、脈百八、午後六時三十七度六分、脈百十二、便通二回
第四日 午前九時三十八度五分、脈九十、正午三十八度六分、脈百九、午後六時三十八度九分、脈百十二、便通六回、子宮收縮不充分ニシテ惡露多量、漿液性、汚穢、色ヲ帯ビ且ツ臭氣アリ、乳房緊滿ス

第五日 午前九時三十七度八分、脈九十、正午三十八度三分、脈百、午後六時三十八度六分、脈百十二、便通二回、下肢ニ輕度ノ浮腫表ハル膝蓋腱反射ハ全ク消失ス、下肢並ビニ下腹部ノ知覺

鈍、麻、ス、左手ノ握力ハ右手ニ比シ甚ダシク減弱セリ

第六日 午前九時三十六度五分、脈百十、正午三十七度一分、脈百十、午後六時三十七度八分、脈百十三、便通二回、膀胱直腸障礙ナク、下肢ノ知覺ハ鈍麻シ、歩行障礙ヲ訴フルヲ以テ、爾後隔日ニ千倍硝酸ストリヒニン二〇五ノ注射ヲ行フコトトセリ

第七日 午前九時三十六度八分、脈百八、正午三十八度、脈百十三、午後六時三十九度四分、脈百二十、便通二回

第八日 體溫三十七度五分以下、脈百六乃至百十至、便通無シ

第九日 體溫最高三十七度六分、脈百十、便通無ク、石鹼瀉腸ヲ行フ歩行障礙益々甚ダシ、患者ハ高度ノ貧血ヲ呈シ、顔貌蒼白、乳汁ノ分泌少量ナルヲ以テ、初生兒ハ人工榮養法ヲ行フ母體ニハ心臟濁音界ノ擴張ヲ認メズ、心悸亢進著シク、肺動脈第二音ハ著シク旺盛トナリ、腹部膨滿シ子宮底ヲ觸知スルコト困難ナリ、下腹部ニ壓痛アリ、下肢ニハ浮腫無ク、膝蓋、腿、反射ハ全ク消失シ、下肢及ビ下腹部ノ知覺鈍麻ス

第十一日 下肢筋肉ハ萎縮ヲ呈ス、膀胱筋ニ壓痛甚ダシク、知覺異常益々著シク、運動障礙癒々加ハリ、惡露ハ殆ンド消失ス

分娩第二日ヨリ二十五六日間ハ三十八度内外ハ發熱時々反復シ、脈搏ハ頻數ニシテ常ニ百乃至百十ヲ算ス

第二十三日 足背ニ輕度ノ浮腫表ハル

第二十四日 右肺尖呼吸氣延長著シク、右肺前面ノ上部呼吸音粗裂時ニ小水泡音ヲ聽ク

第二十八日 顔面蒼白貧血益々其度ヲ加ヘ、心臟濁音界ハ同シク擴張ヲ認メズ、肺動脈第二音著シク旺盛、子宮底ヲ觸レズ、惡露無シ、下肢ハ弛緩性麻痺ヲ起シ、下肢筋肉萎縮、瘦ス、膝蓋、腿、反射消失、知覺異常殆ンド普通ニ復セリ、内服トシテハ沃度加里、硫酸、ストロファンツス、丁幾等ヲ與フ尿検査ヲ行フモ蛋白、インゲンガン等ヲ證明セズ

第三十六日 右前膊周圍一七・五仙迷、左同一七・〇仙迷、右前膊周圍一七・五仙迷、左同一七・〇仙迷、右大腿周圍二三・〇仙迷、左同一二・〇仙迷、右大腿周圍二八・〇仙迷、左同一九・〇仙迷ヲ算セリ

第六十一日 甫メテ獨力起立シ得ルニ至ル無熱ナルモ脈搏尙頻數ニシテ百二十ヲ算ス

第七十七日 無熱、脈搏八十五、食慾佳良トナリ、榮養ハ漸次回復ニ趣ケリ

第八十六日 心臟濁音界ハ擴張セズ、心尖第一音不純、第二音旺盛、肺動脈第一音不純、肺動脈第二音旺盛且ツ分裂セリ、下肢ニ浮腫ナク、知覺ノ鈍麻ナク、腓腸筋ニ握痛ナク、同部筋肉尙ホ萎縮ヲ呈シ、膝蓋腿反射ハ未ダ現ハレズ、歩行障礙存スルモ退院轉地セリ

本例ハ妊娠末期ニ於テ既ニ脚氣初徴ヲ呈セシモ分娩ニ異常無ク經過シ、產褥ニ於テ萎縮性脚氣(乾性)症ヲ發シ、發熱、筋萎縮、歩行障礙ヲ來シ、一時其症狀増悪セシモ遂ニ輕快ニ趣キシモノナリ

第六例 乾某 二十七歲 印刷業 經妊

既往症 十四年月經來潮爾來不規則六七日間持續ス量多シ障害ヲ伴ハズ十七年三ヶ月婚

嫁シ既ニ四女ヲ分娩ス四月一日以來月經閉止シ目下妊娠十ヶ月ナリ豫定分娩期一月八日）
 主訴 心悸亢進及下肢手指ニ於ケル知覺鈍麻
 入院 四十三年十二月九日

現症 體格中等、榮養佳、乳房發育不其ニシテ初乳ヲ分泌セズ心、臟、濁音界ハ右方ニ約一指、
 橫徑擴張シ心悸亢進、肺動脈第二音著シク旺盛、腹部膨滿シ腹圍八十一仙、迷ヲ算ス子宮底
 ハ臍ト劍狀突起トノ中間ニアリ兒頭ハ骨盤入口ニ固定シ兒背右方ニアリ茲ニ著明ノ心音
 ナ聴ク下肢ニ輕度ノ浮腫アリ下肢及手指ニハ知覺鈍麻シ膝蓋腱反射全ク消失ス尿申少量
 ノ蛋白及ビインデカンチ含有ス、硫酸一〇〇瓦ヲ水劑トシテ與ヘ、安息香酸曹達コヘイン〇・
 六瓦ヲ散藥トシテ與フ

十二日 無熱、脈數九十六、便通二回、觸診ノ際子宮收縮ヲ起シ下、肢、ニ、運動、障礙、アリ、
 十三日 浮腫著シク増加シ心悸亢進甚ダシ尿量三百五十五

十五日 脈軟時々不正トナリ肺動脈第一音雜音トナル

十九日 惡氣嘔吐アリ浮腫増加シ心悸亢進著シク患者不安トナル脚氣症狀増加セルヲ以
 テ人工早産術ヲ行フコトニ決セリ

分〇
 經〇
 過〇

十九日 午後三時三十分産室ニ移シ同四十分排尿及排便ヲ行ヒ外陰部消毒ヲ行フ後腔内
 ニ「コルボイリンテル」ヲ挿入ス胎兒心音明ラカナラズ四時三十分腔内ノ「コルボイリンテル」

排出セララル排尿竝ビニ腔内洗滌ヲ行ヒ後内診ヲ行フ子宮口ハ未ダ僅カニ二指ヲ通ズル
 ニ過ギズ患者一般狀態稍々危險トナレリ

二十日 午前八時陣痛發作一分三十秒、間歇二分、陣痛力甚ダ弱シ八時二十分再ビ「コルボイ
 リンテル」ヲ挿入ス十一時三十五分胎兒心音甚ダ微弱百三十八ヲ算ス發作三十五秒、間歇三
 十分秒、午後一時三十五分「コルボイリンテル」ヲ出ダシ腔内洗滌ヲ行ヒ後更ニ挿入ス子宮口
 ハ約五仙、迷開大シ卵胞ヲ觸知ス此際「カテーテル」ヲ除去ス五時五分「鹽酸ヒニン」〇・三五ヲ内服セ
 「カテーテル」導尿ヲ行フ「コルボイリンテル」ヲ除去ス五時五分「鹽酸ヒニン」〇・三五ヲ内服セ
 シム五時三十分破水ス六時二十分兒頭排臨、續テ撥露、同三十分第一後頭位ヲ以テ生ル、子宮
 底ハ臍高ニアリ同四十二分胎盤胎兒面ヲ以テ生ル、子宮底ハ耻骨縫際上四指、橫徑ニアリ收
 縮佳、其硬度固ク後出血ナシ體溫三十七度、脈百二十。

産〇
 障〇
 ノ〇
 經〇
 過〇

二十一日 無熱、脈數百八、便通二回、心悸亢進著シク心尖第一音及ビ肺動脈第一音ハ不純、
 同第二音ハ旺盛、子宮底ハ臍高ニアリ壓痛アリ惡露血性稍々多量

二十二日 體溫最高三十七度五分、脈百四、顔貌浮腫、狀ヲ呈シ貧血蒼白、子宮底ハ臍下三指、橫
 徑ニアリ尙ホ壓痛アリ硬度固ク惡露血性臭氣無シ乳房緊滿、心悸亢進、胸内苦悶、不眠等ヲ訴

フ「硫酸」一五〇、臭刺三〇ヲ伍シテ與ヘ尙ホ「ウエロナール」〇・五ヲ頓服セシム

二十三日 無熱脈、百、便通四回、浮腫著シク減退ス

二十四日 無熱、脈九十六、便通三回、子宮收縮佳、惡露血性量通常、臭氣無シ、下肢、輕度ノ浮腫アリ、知覺鈍麻未ダ消失セズ

二十五日 無熱、脈數百十四、便通五回

二十六日 無熱、脈九十八、便通一回、子宮底ハ臍ト耻骨縫際トノ中間ニ在リ、壓痛アリ、惡露血性、多量、臭氣無シ

二十七日 無熱、脈百二、子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニ在リ、惡露血性ニシテ多量ナルモ臭氣無シ

三十日 浮腫ハ一般ニ減退シ、下腹部ニ壓痛アリ、子宮底ヲ觸知スルコト難ク、惡露少量、膀胱筋痛ヲ訴フ、膝蓋腱反射未ダ表ハレズ

一月四日 浮腫消退ス、知覺障礙尙ホ存スルモ運動障礙ハ著シク輕快シ、歩行確實ニナレリ

七日 腹壁上ヨリ子宮底ヲ觸知スルコト難ク、惡露ナシ、再ビ輕度ノ浮腫表ハル、歩行ノ困難ナキモ、下肢ノ知覺ハ尙ホ鈍麻シ、膝蓋腱反射ハ全ク消失ス

十五日 尿中尙ホ蛋白ノ痕跡ヲ認ム

十八日 顔貌蒼白、浮腫狀ヲ呈シ、心臓右界ハ胸骨ノ左緣ニアリ、心尖搏動ハ第五肋間ニ於テ乳線ヨリ一指横徑内方ニ於テ觸知ス、心悸亢進シ、肺動脈第二音著シク旺盛ス、子宮底ヲ觸知セズ、下肢ニハ極メテ輕キ浮腫アリ、知覺鈍麻シ、腓腸筋緊張シ、邊痛甚ダシク、歩行時該部ノ疼痛ヲ訴フ、膝蓋腱反射全ク消失ス、本日退院ス

第七例 戸井某 三十六年 工女 經妊

既往症 生來健全著患ヲ知ラズ、十六年月華來潮、爾來正順、三四日間持續、量普通、障害ヲ伴ハズ、二十三年結婚シ、一男五女ヲ分娩ス、最終月經ハ二月十二日ニシテ、目下妊娠九ヶ月、豫定分娩期十一月十九日

主訴 下肢ノ浮腫、並ビ、下肢ノ知覺鈍麻

入院 四十一年十月二十二日

現症 體格中等、榮養不其、全身羸瘦ス、乳房發育不其、乳噴乳暈適度ニ著色シ、初乳ヲ壓出シ得、脈細小微弱、頻數舌苔無シ、兩肺背面ノ上部呼氣延長ノ外水泡音ヲ聽カズ、一般ニ呼吸音微弱ナリ、心臓右側濁音界ノ擴張無ク、心機能微弱、肺動脈第二音ハ僅ニ旺盛シ、腹部膨滿、腹圍八十四仙、迷、子宮底ハ劍狀突起下三指横徑ニ在リ、兒頭ハ骨盤入口上ニアリテ尙ホ移動セリ、胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ聽取シ、下肢ニ著明ノ浮腫アリ、膝蓋腱反射殆ンド消失シ、知覺ハ鈍麻セリ、尿量減少、大便秘結ス、「疎麻」一〇・〇五ヲ與フ

入院後ノ經過 無熱ニ經過シ、脈搏頻數、便通毎日一回、尿量三一五百五蛋白極少量ヲ證明ス、入院後第三日ニ

分娩開始
分〇ノ〇経過

二十五日午後九時中産室ニ移ス同五十分石鹼浣腸ヲ行ヒ大量ノ排便アリ十時十分「カテ」
テル「排尿」ヲ行フ胎兒心音微弱十五分破水同二十分第二後頭位ヲ以テ生兒ヲ分娩ス二十五
分胎盤娩出ス子宮底臍下三指徑收縮佳其後出血無シ

第二日 朝體温三十七度二分、脈七十四、夕三十七、脈度八十、便通一回、子宮底ハ臍高二在リ收
縮不其壓痛ナク惡露ハ血性多量ナルモ臭氣ナク且ツ腹水ヲ證明ス下肢ノ浮腫去リ膝蓋腫
反射僅カニ存セリ

第三日 朝體温三十六度七分、脈八十二、夕三十六度六分、脈七十八、便通無シ初生兒ハ吐乳シ
口唇、チアノ「セ」ヲ呈セリ初生兒ノ心臓濁音界不明、肺動脈第二音旺盛シ足背浮腫ナク膝蓋
腫反射消失ス便通數回

第四日 朝體温三十七度、脈七十四、夕三十六度六分、脈八十、便通無シ初生兒下、肢ニ、輕度、ハ、浮
腫、起ル、吐、乳、及、ビ、下、痢、數、回、ア、リ、是、ニ、於、テ、人、工、榮、養、ト、ナ、セ、リ

第五日 朝三十六度五分、脈九十四、夕三十七度五分、脈七十八、便通一回
第六日 朝三十七度二分、脈七十四、夕三十七度五分、脈八十、便通一回、子宮底ハ臍下四指橫徑、
惡露白色臭氣ナク量少シ膝蓋腫反射消失ス初生兒下、肢、ハ、浮、腫、減、退、ス、吐、乳、一、回、便、通、三、回

第七日 朝三十七度二分、脈九十、夕三十七度一分、脈九十、三、便通ナシ心臓濁音界普通、心尖第
一音雜音ヲ呈シ肺動脈第二音少シク旺盛ス患者ハ高度ノ貧血状態ニアリ口唇少シクチア
ノ「セ」ヲ呈セリ

第八日 朝三十六度五分、脈八十四、夕三十七度二分、脈九十四、便通一回、下、肢、及、ビ、胸、部、ニ、知、覺、
異常アリ

第十三日 略、治シ退院ス
本例ハ母體脚氣ハ輕快ナルモ妊娠ハ中途ニシテ中絶シ生兒ヲ分娩セシモ第三日ヨリ乳兒
脚氣ヲ起シ遂ニ人工榮養ヲ行ヒシニ乳兒ハ健康トナリ母體脚氣モ亦次第ニ輕快セリ

第八例 中本某 二十七歳 工女 經妊
既往症 昨年淋毒性膀胱炎ヲ患フ初經十七年三ヶ月爾來不規則ニシテ二三ヶ月毎ニ來潮
シ三日間持續、量少、月經時障礙ナシ而シテ最終月經ハ昨年五月十六日ニシテ目下妊娠十
ヶ月(豫定 分娩期二月二十三日)

主訴 頑固ノ惡氣嘔吐、外陰部浮腫、尿意頻數ニシテ一時間三回ノ排便アリ
入院 四十年一月二十四日

現症 體格榮養稍々不其ニシテ貧血シ舌苔ナシ脈緊張充實九十至ヲ算ス乳房發育佳其ニ
シテ著色シ初乳ヲ分泌ス心臓濁音界普通、心尖音強ク肺動脈第二音僅ニ旺盛シ呼吸音ハ一
般ニ幽微ニシテ子宮底ハ臍上四指橫徑ニアリ兒頭ハ骨盤入口ニ固定シ胎兒心音ハ左臍棘

線ノ中央ニ於テ明ニシテ下肢ニ輕度ノ浮腫及ビ知覺異常アリ腓腸筋握痛ナク膝蓋髓反射

微弱、骨盤異常ナク便中蛔蟲卵ヲ認ム尿中蛋白ヲ證明セズ硫酸(二〇〇)ヲ内服セシム

二月四日 心臟右界僅カニ擴張ヲ呈シ心尖第一音及ビ肺動脈第一音不純、同第二音旺盛ス

十六日 顔貌浮腫狀ヲ呈シ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ知覺異常ナシ膝蓋髓反射亢進ス

入院後無熱ニ經過シ脈搏ハ八十乃至九十、便通一二回、一般狀態入院時ニ於ケルト大差ナシ

三十日目ニ分娩ス

分〇〇分

分〇〇分

二月二十四日 午前八時病室ニ於テ破水ス直チニ産室ニ移ス九時四十五分石鹼浣腸ヲ行

フ十時五十分自然排尿アリ同十分胎兒心音左臍棘線ニ於テ百三十八ヲ算フ正調、陣痛發作

三十五秒、間歇三分、十時三十分内診ヲ行フニ子宮口ハ既ニ約七仙迷ニ開大シ卵胞破レ直接

頭毛竝ニ左右兩坐骨棘ヲ觸レ矢狀縫合ハ第一斜經線ニ一致シ小顛門ハ左前ニアリ十一時

胎兒心音百三十、發作三十五秒、間歇二分三十秒、十一時二十分兒頭排露、同二十三十分撥露、同二

十四分兒頭次テ直ニ軀幹娩出ス子宮底ハ臍下三指橫徑ニアリ、十一時三十分胎盤娩出ス稍

々多量ノ出血アリシヲ以テ子宮底ヲ摩擦シ收縮ヲ促ス子宮底ハ臍下四、五指橫徑ニ在リ分

娩後體溫三十六度六分、脈八十

産〇〇分

經〇〇分

二十五日 三十七度以下、脈八十四、便通ナシ、尿量千二百瓦、子宮底臍高、惡露血性

二十六日 夕體溫三十七度五分ニ達シ脈八十二ヲ算ス便通二回、尿量四百瓦尿中蛋白ナシ

子宮底臍下四指橫徑、收縮佳、惡露血性漿液性、量多量臭氣ナシ

二十七日 朝三十六度五分、脈七十、夕三十九度五分、脈百、乳房甚シク緊張ス子宮底ハ臍下三

指橫徑、惡露漿液性通常

二十九日 無熱、脈九十六以下、收縮狀態前日ニ同シ惡露血性、漿液性多少臭氣ヲ帶ブ

三月一日 無熱、脈九十九以下、子宮底ハ耻骨縫線上三指橫徑ニアリ惡露汚穢色ヲ呈シ臭氣

アリ

二日 心臟濁音界擴張ナク心尖第一音及ビ肺動脈第一音不純、同第二音旺盛シ下肢筋浮腫、

知覺鈍麻、腓腸筋痛等無ク膝蓋髓反射亢進ス

三日 退院ス初生兒生後異常ナシ

本例ニ於テハ妊娠末期ニ當リ輕度ノ脚氣ヲ表ハセシモ分娩後僅カニシテ凡テノ症狀消退

シ、肺動脈第二音旺盛スルヲ見ルニ過ズ乳兒モ亦母乳ニテ何等ノ障害ヲ起サザリシモノナ

第九例 松崎某 二十二年 初妊

既往症 十四年月經來潮、爾來正調、四五日間持續、量中等、月經時障礙ナシ昨年九月結婚シ翌

月末ヨリ月經閉止ス目下妊娠十ヶ月

主訴 入院分娩ノ希望

入院 四十二年七月二十六日

現症 體格榮養共ニ中等、脈緊張充實正調八十ヲ算ス乳房ハ其ク緊張シ乳嘴乳暈ノ著色著シク初乳ヲ分泌ス兩肺炎呼吸延長水泡音ヲ聽カズ右肺背面ノ下部呼吸音微弱、心濁音界普通、肺動脈第二音ハ著シク旺盛シ、腹部膨滿腹圍八十三仙迷ヲ算ス子宮底ハ臍下二指横徑ニ在リ兒頭ハ骨盤入口上ニ固定ス兒背左側ニアリ心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ著明ナリ下肢ニ浮腫知覺鈍麻腓腸筋痛無ク膝、蓋、腱、反射亢進ス骨盤計測上異常ヲ認メズ食慾佳、便秘稍々秘結ス尿中蛋白無クインザカン反應著明、硫酸(一〇〇)ヲ與フ

八月六日 腓腸筋痛ヲ訴フ

十二日 觸診ノ際子宮收縮ヲ來セリ膝、蓋、腱、反射微弱トナル

十六日 下肢ニ輕度ノ浮腫現ハル入院以來一般ニ著シキ變化ナク無熱ニ經過セリ脈八十

五便秘二回アリ

分〇〇〇

十八日 午前七時半頃ヨリ陣痛發作アリ午後二時十五分産室ニ移ス二十五分石鹼浣腸ヲ行フ三十分外陰部ノ消毒、カテーテル排尿ヲ行ヒ約三百瓦ヲ得タリ三十五分外陰ヲ行フニ陣痛發作時子宮底ハ劍狀突起下三指横徑ニ在リ兒頭ハ骨盤入口ニ固定ス胎兒小部分ハ觸知スルヲ困難ニシテ心音ハ中央ニ於テ著明百四十四ヲ算シ正調、二時四十分陣痛發作時ニ於テ卵胞陰裂開ニ現ハル三時陣痛發作一分十秒、間歇五十秒、三時五分人工破水ヲ行フ同十

分兒頭發露ス十五分會陰側切開術ヲ行フ三十分男兒第一後頭位ヲ以テ産ル子宮底ハ臍高ニ在リ三時三十分胎盤胎兒面ヲ以テ出ヅ子宮底ハ恥骨縫際上四指横徑ニアリ收縮可、後出血ナシ體溫三十六度八分、脈九十

産〇〇〇

十九日 朝體溫三十七度七分、脈百二十、夕三十七度、脈百十九、便秘無シ時々後陣痛起ル子宮

底ハ臍上二指横徑ニアリ硬度軟壓痛アリ惡露血性量多キモ臭氣ナシ參角浸ヲ與フ

二十日 無熱、脈數九十四、便秘二回、顔貌蒼白、舌苔ナシ心臓ノ濁音界普通、肺動脈第二音ハ

旺盛ス子宮收縮不、硬度軟、壓痛アリ惡露血性多量

二十一日 無熱、脈八十八、便秘一回子宮底ハ臍高ニアリ收縮不、充分、惡露多量、乳房緊滿ス

初生兒黃疸ヲ發ス昨夜來數回吐乳セルヲ以テ離乳四布仙煉乳ニ代ユ

二十二日 夕體溫三十七度四分ニ達シ脈九十ヲ算ス便秘無シ時々輕度ノ腹痛アリ子宮底

ハ臍下三指横徑ニ在リ壓痛ヲ訴フ惡露尚ホ血性多少其量ヲ減セリ初生兒ハ離乳後吐乳ナ

キヲ以テ試ミニ母乳ヲ與ヘシニ再ビ吐乳セシヲ以テ遂ニ母乳ヲ廢セリ

二十三日 夕體溫三十七度三分、脈八十六、便秘ナシ乳房著シク緊滿ス子宮收縮狀態不、充分

ニシテ惡露多量ナリ

二十四日 夕三十七度三分、脈九十八、ラグリセリン浣腸ヲ行フ乳房緊滿ス心臓濁音界ノ擴張

ナク肺動脈第二音旺盛ス子宮底ハ臍下四指横徑ニアリ硬度軟ナラズ惡露尚多少血性ヲ帶

フ量多キモ臭氣無シ膝蓋腔反射通常
 二十五日 夕三十七度四分、脈九十二、便通一回、子宮底ハ臍下耻骨縫際ノ中央ニ在リ硬度軟
 二十六日 無熱、脈八十四、便通一回
 二十七日 無熱八十四、便通一回、子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑、收縮不充、惡露多量、臭氣アリ
 二十八日 夕體溫三十七度四分、脈八十四、便通一回、母體脚氣症狀輕快セシテ以テ再ビ母乳
 ヲ與フルニ吐乳ナキモ下痢便ヲ排泄セリ
 二十九日 夕三十七度三分、脈九十、便通一回、子宮收縮不充ニシテ、硬度軟、惡露尚ホ血性ヲ帶
 ビ汚穢色ニシテ臭氣アリ、初生兒數回吐乳シ青便六回ニ及ベリ體重三百四十五ヲ減ズ遂ニ
 人工榮養ニ代ユ
 三十日 夕三十七度五分、脈八十八、便通一回、初生兒吐乳二回、下痢四回、便青色ヲ帶ビ稍々不
 安ノ狀ヲ呈ス
 三十一日 夕三十七度五分、脈八十七、便通一回、耻骨縫際上尙ホ子宮底ヲ觸知ス惡露漸時減
 少セリ初生兒吐乳二回、便通二回、青色ヲ帶ブ消化不充分ニシテ臭氣ヲ放ツ
 九月一日 心臟濁音界擴張無ク、肺動脈第二音ハ殊ニ著シク旺盛ス、子宮底ハ尙ホ前日ノ高
 サニ於テ觸知スルヲ得、惡露減少ス、下肢ニ浮腫知覺異常ナク僅ニ腓腸筋痛ヲ訴フ、膝蓋腔
 反射微弱ナルモ存ス、初生兒吐乳ナシ、便通四回、下痢ノ傾向アリ、消化不充分ニシテ多少酸臭
 ヲ帶ブ一般狀態佳良ニ趣ク本日退院

本例ニアリテハ母體ニアリテハ妊娠中其ダ輕微ノ脚氣症狀アリ分娩後産褥ニ入り其症狀
 著シキ變化ナク輕症ノ脚氣ノ合併ト見ルベキニ乳兒ニハ比較的激シキ消化不充分ヲ來シ母
 乳ノ廢止ニヨリ輕快シ再三産褥日數ヲ以テ母體脚氣ノ輕快ヲ待チ授乳ヲ試ミシモ同様消
 化不充分ノ狀態ヲ來シ爰ニ止ムナク余ハ母乳ヲ廢セシニ乳兒モ亦健康ニ復セリ

第十例 宮崎某 十九年 無職 初妊
 既往症 十三年三月月華來潮、爾來正調、四日間持續、量中等、月經時下腹緊滿、腰痛ヲ訴フ最
 終月經七月二日ニシテ目下妊娠十ヶ月(豫定分娩期日四月九日)
 主訴 入院分娩ノ希望
 四十年四月二十日

現症 體格榮養共ニ中等、乳房長ク發育シ初乳ヲ分泌ス心臟ノ濁音界普通、肺動脈第二音ハ
 旺盛ス、腹部膨滿シ腹圍ハ十七仙迷ヲ算ス子宮底ハ劍狀突起下四指横徑ニアリ兒頭ハ骨盤
 入口ニ固定シ頤部ハ右ニ項部ハ左方ニ觸知シ心音ハ左臍棘線ニ於テ著明、下肢ニ輕度ノ浮
 腫、膝蓋腔反射微弱ナリ、骨盤計測上異常ナク食慾不進、尿量中等、尿中蛋白ナシ、便通四五日毎
 ニ一回體溫三十七度八分、脈九十二、便通秘結ス、疏麻(一〇〇)ヲ内服セシム
 二十二日 無熱、脈八十八以下、朝來時々陣痛發作アリ兒頭深ク骨盤入口ニ固定ス胎兒心音
 ハ兩側ニ於テ聽取シ得ルモ左側ニ著明ナリ便通一回
 分娩經過

二十三日 昨夕來陣痛發作アリシガ漸次強盛トナルヲ以テ今朝產室ニ移ス午前十時陣痛發作二分間歇五分十分二十分石鹼浣腸ヲ行フテ大量ノ排便アリ「カテーテル」ヲ用ヒ排尿ス兒頭ハ骨盤入口ニ固定ス胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ聽取ス十時四十分外陰部消毒ヲ行フ同五十分内診ヲ行フ先進部ハ骨盤潤部ニ在リ子宮口ハ殆ド全開大チナシ卵胞尙存ス大小顫門及縫合不明胎兒心音ハ兩側ニ於テ聽取ス十一時三十五分卵陰裂開ニ顯レシヲ以テ人工破水ヲ行フ十二時十分兒頭排臨ス陣痛微弱ニシテ分娩進行セズ腹壁上ニ氷囊ヲ貼シ陣痛ヲ催進ス然レモ十分進歩セズ心音不長トナリシヲ以テ一時五分胎兒壓出法ヲ行ヒ胎兒ヲ壓出ス胎兒ハ極メテ輕度ノ假死ニ陥リシモ直チニ號叫セリ一時十五分胎盤娩出ス後出血無シ子宮底ハ耻骨縫際上四指横徑ニ在リ體溫三十七度六分脈九十。

産褥ノ経過

二十四日 朝體溫三十六度三分脈八十、夕三十八度三分脈百、便通無シ

二十五日 朝三十七度四分脈九十二、夕三十七度脈九十、便通無シ乳房緊滿ス腹部膨滿子宮底臍上一指横徑右側ニ偏ス後陣痛アリ硬度普通惡露血性漿液性臭氣無シ膝蓋腱反射弱

二十六日 朝體溫三十七度四分脈九十、正午三十六度一分脈八十二、夕三十八度二分脈九十八、便秘、石鹼浣腸ヲ行フ乳房緊張甚シ子宮底ハ臍下三指横徑ニアリ收縮普通

二十七日 朝三十七度五分脈八十四、夕三十六度五分脈八十四、便秘、子宮底ハ臍下四指横徑硬度硬ク收縮通常、惡露血性漿液性

二十八日 無熱、脈八十六以下、便通ナシ

二十九日 無熱、脈八十八以下、石鹼浣腸ヲ行フ肺動脈第二音旺盛、膝蓋腱反射微弱、知覺鈍麻アリ初生兒黃疸ヲ發ス

三十日 子宮底ハ臍下四指横徑、惡露白色漿液性、少量、臭氣ナシ

二日 子宮底ハ耻骨縫際上二指横徑ニ在リ

六日 子宮底ハ耻骨縫際下ニ於テ僅ニ觸知ス心、臍、音、界、普通、ナル、モ、肺、動、脈、第、二、音、ハ、旺盛、下、肢、ニ、知、覺、鈍、麻、アリ、膝、蓋、腱、反、射、消、失、ス、本、日、退、院、ス

本例ハ妊娠末期ニ於テ輕症、脚氣ノ症狀ヲ現ハシ分娩ニ致シ、產褥ニ至リテ浮腫去リ所謂、神經性脚氣ノ状態ヲ現セルモノナリ

第十一例 龜井某 二十年 初妊

既往症 生來健全著患ヲ知ラズ十六年月華來潮、爾來正調ナリシガ昨年四月二十六日以來月經閉止目下妊娠十ヶ月(豫定分娩期日二月二日)

主訴 入院分娩ノ希望

入院 四十年一月二十六日

現症 體格榮養共ニ中等、乳房發育佳、乳ニシテ初乳ヲ分泌ス脈充實正調、類數百ヲ呈ス心臍濁音界普通、肺動脈第二音ハ少シク旺盛、右肺炎及右背面上部呼吸延長シ水泡音ヲ聽ク腹部膨滿シ腹圍八十三仙迷ヲ算ス子宮底ハ劍狀突起下三指横徑ニ兒頭ハ骨盤入口上ニ固定

シ頤部チ左方ニ項部チ右方ニ觸知ス下肢ニ浮腫ナク腓腸筋痛及ビ知覺異常ナシ膝蓋腱反射稍々微弱骨盤計測上異常ヲ認メズ

分〇 經〇 過〇
二十八日 朝來陣痛起リ漸次強盛トナルヲ以テ午後三時四十五分産室ニ移ス四時十五分石鹼浣腸外陰部消毒等ヲ行フ七時十分胎兒心音百二十二正調同二十分カテーテル排尿ヲ行フ同二十五分更ニ外陰部ヲ消毒シ次テ内診ヲ行フ子宮口ハ約三仙迷開大卵胞ヲ觸知ス先進頭部ハ骨盤入口ニ固定ス其他ノ所見ニ至リテハ全ク不明ナリ八時胎兒心音百三十二正調八時三十五分心音百五十七九時三十分更ラニ内診ヲ行フ子宮口ハ二指ヲ通シ得ルニ至ル其他ノ狀況前ニ同シ心音百四十二異常ナシ陣痛頓ニ微弱トナリ分娩進マズ依テ十時十五分「コルボイリン」ヲ腔内ニ挿入セシモ直チニ排出セリ十時二十五分第三回内診ヲ行ヒシニ子宮口ハ約八仙迷開大シ卵胞ハ強ク緊張シ大小頸門矢狀縫合等ヲ觸知スルヲ能ハズ十時三十五分「カテーテル」ヲ用キ少量ノ尿ヲ排出ス陣痛稍々強盛トナリ分娩進行ス十時四十四分卵胞陰裂開ニ表ハル依テ人工破水ヲ行フ十時五十分心音百三十四右側ニ於テ著明ナリ十一時十三分矢狀縫合ハ第二斜經線ニ一致ス心音百二十五十一時三十分石鹼浣腸ヲ行フ少量排便アリ十一時四十三分心音百三十六

二十九日 午前零時三十分兒頭排隨同四十八分撥露同五十五分初生兒假死ヲ以テ生ル子宮底ハ臍高ニアリ一時十一分胎盤胎兒面ヲ以テ生ル子宮底ハ臍下四指橫徑ニアリ收縮佳

長、後出血ナシ而シテ初生兒ハ人工呼吸法ヲ行ヒシモ終ニ蘇生セス、
 産褥ノ經過

二十九日 正午體溫三十七度、脈百二十、午後九時三十八度一分、脈百八、子宮底ハ臍下二指橫徑ニアリ收縮佳、惡露血性臭氣ナク量通常

三十日 朝三十六度三分、脈八十二、夕三十七度五分、脈百十、便通無シ、脈充實緊張稍々頻數、乳房甚シク緊張シ初乳ヲ分泌ス心臟濁音界擴張セズ心音凡テ旺盛殊ニ肺動脈第二音著シ、兩肺炎呼吸氣延長粗裂ニシテ笛聲及呼吸音ヲ聽ク子宮底ハ臍下二指橫徑ニアリ收縮通常、惡露血性臭氣ナシ

三十一日 無熱、脈九十八、以下、便通ナシ

二月一日 朝三十六度六分、脈九十二、夕三十七度六分、脈百十、石鹼浣腸ヲ行フ乳房著シク緊張シ疼痛甚シ子宮底ハ臍下四指橫徑ニアリ壓痛アリ惡露漿液血性汚穢色ヲ呈シ多少臭氣アリ、下肢ニ浮腫ナク膝蓋腱反射消失ス

二日 朝三十七度、脈百二十、夕三十八度七分、脈百八、便通一回、尿中糖及ビインシュカンヲ證明ス蛋白ナシ

三日 朝三十七度六分、脈百一、正午三十六度、脈九十九、夕三十八度七分、脈百二、便通一回、乳房尚緊滿シ疼痛ヲ訴フ爲之臍窩腺モ亦腫脹疼痛アリ子宮底臍下四指橫徑ニアリ硬度通常、惡露汚穢色ヲ呈シ多少臭氣ヲ帶ビ、下肢ニハ輕度ノ浮腫アリ知覺異常ナク膝蓋腱反射微弱

四日 朝三十七度五分、脈九十、夕三十八度七分、脈百十、便通一回、心臟右界ハ僅カニ擴張セリ、心悸亢進シ、肺動脈第二音旺盛、子宮底臍下四指横徑、惡露血性漿液性、量普通

五日 朝三十八度、脈八十八本日退院ス

剖檢記事

初生兒龜井

一女兒體格中等榮養其ナラズ死斑ハ背部及四指ノ尖端ニ於テ著明ニ存シ死強ハ四肢ノ尖端ニ於テ尙ホ存ス腹壁ヲ開クニ皮下脂肪織及筋肉ノ發育中等腹部諸臟器位置異常ナシ横膈膜ノ高サ左第五肋間右第五肋骨ノ上縁ニアリ胸腔ヲ開クニ胸腺ニ異常ヲ認メズ兩肺肋膜ニ異常ナク且ツ滲出液等ヲ認メズ心囊ヲ開クニ内ニ透明ノ液約一五瓦ヲ容ル心囊ノ内面及心臟ノ表面ニ異常ヲ認メズ心臟ノ大サ右心室基部幅五〇長サ四〇左心室基部幅四〇長サ三五仙迷、心臟ヲ開クニ内ニ血液ヲ容レズ左右兩室共瓣膜裝置ニ異常ヲ認メズ室壁ノ厚徑左右共ニ〇四仙迷、左肺ハ稍々充血シ大サ七〇、四〇、三〇仙迷、之レヲ切割スルニ充血ヲ認ムルノ外異常ナシ右肺ハ下葉ニ於テ靜血セルヲ認ム大サ八〇、五五、二五仙迷切割スルニ下葉靜血セリ脾臟大サ六〇、三三、一五仙迷之レヲ切割スルニ異常ヲ認メズ質稍々軟、左腎大サ四二五、一五、被膜剝離シ易カラズ剖面質血皮髓ノ境界明カナリ右腎大サ四〇、二五、一五被膜剝離シ易シ剖面ノ狀況左腎ニ同シ肝臟大サ一一五、七五、三五、剖面血液ニ富ミ小葉ノ境界明ナリ胆囊ヲ開クニ少許ノ胆汁ヲ容ル胃大サ大彎圍二十一、長サ六〇、幅四〇仙迷、胃ヲ開

クニ粘膜ハ粘液ヲ以テ蔽ハレ粘膜面ニハ粟粒大乃至帽針頭大ノ黃色ヲ呈セル潰瘍面ノ多數ヲ散見ス十二脂肪及廻首部ヲ開クニ粘膜ハ胎囊ヲ容ルルノ外他ニ異常ヲ認メズ頭部顛頂部殊ニ三角縫合ニ近ク幅五〇長サ六〇仙迷ノ左右ニ亘リ膨隆シ皮下ニ溢血ヲ認ム之ヲ開クニ血樣漿液ヲ漏ス左右顛頂骨殊ニ左顛頂骨ノ殆ト全部ニ亘ル骨膜下溢血ヲ認ム頭蓋腔ヲ開クニ死後軟化ノ爲メ病的變化ノ有無明ナラズ

〇死産兒

本例ニ於テハ妊娠末期母體ニ輕度ノ神經性脚氣症狀表ハレ分娩比較的長時ニ亘リ胎兒ハ假死状態ヲ以テ生レシモ人工呼吸其ノ效ヲ奏セザリキ而シテ母體ハ産褥ニ入り脚氣ノ症狀次第ニ著明トナレリ死兒ハ剖檢ノ結果其死因骨盤内ニ於テ長ク壓迫ヲ受ケタルニヨルナル可シ

第十二例 梶山某 三十八年 經妊 (第二回目)

既往症 月經初潮十三年三ヶ月、爾來正調、三日間持續、量中等月經時障害ナク三十五歲初産ス最終月經ハ三十九年三月初旬ナリキ未ダ脚氣ニ罹リシコトナシ

主訴 妊娠及ビ腹部過大

現症 體格榮養共ニ中等身長一三九五仙迷、體重五四基瓦、乳房發育中等、乳嘴乳暈ノ着色著明ニシテ初乳ヲ壓出シ得、心臟濁音界擴張ナク心尖音不純、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、右肺炎打診音短ニシテ呼氣延長シ腹部ハ著シク膨滿シ腹圍九十九仙迷、臍劍狀突起間二十

初生兒ハ娩出當時身長五五〇仙迷、體重三七一五〇瓦發育佳其ノ男兒ニシテ二日間ハ四布仙ノ練乳ニテ榮養シ爾後全ク母乳ヲ用ユ第四日來黃疸ヲ起シ異常無ク經過佳其ナリ本例ニ於テハ妊娠末期ニ輕症脚氣ノ症候表ハレ分娩ニ何等ノ故障ナク產褥中一時脚氣症狀顯著ナリシモ產褥經過中次第輕快シ乳兒ハ母乳ニヨリ何等障礙ヲ受ケザリシモハナリ

第十三例 西某 十九年 工女 初妊

既往症 患者生來健全著患ヲ知ラズ十五年七ヶ月月華來潮爾來正調四乃至五日間持續障害ナシ最終月經ハ昨年九月十七日ナリ目下妊娠十ヶ月(分婁豫定六月二十四日)

主訴 入院分婁

入院 四十一年六月十日

現症 體格榮養共ニ佳其、乳腺ノ發育モマタ佳其ニシテ心臟濁音界僅カニ擴張スルモノノ如シ心尖第一音不純、肺動脈第二音旺盛ス左肺背面ノ上部呼吸音粗裂、右肺背面ノ下方呼吸音微弱、腹部ハ著シク膨滿シ腹圍九十仙迷ヲ算ス子宮底ハ劍狀突起下三指橫徑ニ在リ兒頭ハ下方ニシテ骨盤入口上ニ在リテ少シク移動ス胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ明ラカニ聽取ス下肢ニ輕度ノ浮腫アリ膝蓋腱反射甚ダシク亢進ス骨盤計測上異常ヲ認メズ尿中蛋白糖無クインゲンガンノ少量ヲ證明ス便通一回、食慾不振、時々惡氣嘔吐アリ

入院後ノ經過

十七日 心臟右界ハ左胸骨緣ニ在リ擴張肥大ヲ證明セズ心尖部ニ於テ收縮期雜音ヲ聽キ同第二音旺盛シ肺動脈第一音不純、同第二音著シク旺盛ス兒頭骨盤上口ニ在リテ尙ホ僅カニ移動ス下肢ノ浮腫稍々増加シ知覺異常腓腸筋握痛無シ膝蓋腱反射少シク微弱トナル尿量減少一日量五百瓦

二十四日 兒頭骨盤入口ニ固定ス

七月二日 子宮底ハ臍ト劍狀突起ノ中央ニ下降シ小部分ヲ左側ニ於テ觸和ス胎兒心音ヲ右臍棘線ノ中央ニ於テ聽取ス

二十九日 下肢手指及口圍ニ知覺鈍麻ヲ訴フ心臟濁音界僅カニ右方ニ擴張セルヲ認ム膝蓋腱反射微弱トナル

八月四日 貧血ヲ呈シ顔面多少蒼白、脈細小微弱頻數、舌苔アリ乳房發育佳其、乳嘴乳暈ノ着色著明初乳ヲ壓出シ得、兩肺尖及兩肺背面ノ上部呼吸延長シ時ニ小水泡音ヲ聽ク右肺背面下方呼吸音微弱、心臟濁音界ハ左胸骨緣ヨリ一指橫徑右方ニ擴張ス心尖第二音旺盛シ肺動脈第一音不純、第二音著シク旺盛ス腹部膨滿腹圍九十一仙迷、子宮底ハ臍下二指橫徑兒頭骨盤入口ニ固定ス他ノ胎兒部分ヲ觸知スルヲ困難ナリ胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ聽取シ子宮雜音亦著明ナリ下肢下腹手指口圍ニ於ケル知覺鈍麻益々著シク表ハル下肢ニ浮腫存スルモ腓腸筋壓痛ナシ膝蓋腱反射消失ス

六日 浮腫益々甚ダシク時々衄血アリ陣痛様疼痛起ル入院以來全ク無熱ニ經過ス脈搏ハ

八十五乃至九十度、最近ニ至リ脚氣症狀益々現ハレ便秘ノ傾向アルヲ以テ硫酸(一五〇乃至二〇〇)ヲ投シ一日一乃至二回便通アリ

六日 正午ヨリ時々陣痛發作アリシガ漸次烈シクナルヲ以テ午後八時三十分産室ニ移ス同四十分胎兒心音正調百三十ヲ算ス九時石鹼浣腸ヲ行フ同時ニカテーテルニテ排尿セリ陣痛發作三十秒、間歇五十秒ナルモ陣痛弱シ九時二十五分發作三十秒、間歇五十五秒、九時三十分胎兒心音百三十正調、九時五十五分陣痛微弱トナルヲ以テ腹部熱性濕布ヲ以テ陣痛ヲ喚起セシム十時二十五分、グリスリン浣腸ヲ行フ十時四十五分胎兒心音百三十正調、十一時十分水様下痢便アリ十一時三十分胎兒心音不正トナリ百六十以上ヲ算ス同三十二分心音不正頗多シ三十五分心音不正百六十以上ヲ算ス直チニ、クロロホルム、麻醉ノ下ニ鉗子娩出術ヲ試ミタリ人工破水後三十分ニシテ娩出ス胎兒ハ高度ノ假死ニ陥リシガ人工蘇生法效ヲ奏セズ遂ニ死亡セリ十五分後胎盤ヲ排出ス輕度ノ後出血アリ第二度ノ會陰破裂アリシヲ以テ直チニ縫合ス

第二日 心臓ノ境界明ナラズ心尖第一音不純、肺動脈第二音旺盛シ子宮底ハ臍高二指橫徑ニアリ硬度稍々軟、收縮不長、壓痛無シ惡露血性多量、下肢ニ輕度ノ浮腫アリ膝蓋腱反射全ク消失ス手指及下腹部ニ於ケル知覺鈍麻ハ殆ド消失セリ無熱、脈細少頻數九十五、便通七回尿

量二百瓦

第三、第四、第五日無熱、脈九十、著變ナシ
六日 朝三十七度八分、脈九十六、便通四回、尿量千五百瓦、浮腫殆ンド消失ス心臓濁音界ノ擴張ヲ認メズ肺動脈第一音不純、同第二音旺盛シ膝蓋腱反射消失ス子宮底ハ臍高二在リ多少左側ニ傾ク惡露少量
麥角及硫酸ヲ内服セシム
七日 朝體溫三十七度四分、脈九十、夕三十八度二分、脈百二十、子宮底ハ臍下三指橫徑、惡露漿液性臭氣無シ血液檢査ヲ行フニ赤血球二四、一六〇〇ニ對シ白血球四〇〇〇ニシテ血色素量ハ七十布仙ナリ
八日 朝三十七度九分、脈九十、夕三十八度六分、脈百十、便通四回、尿量五百三十五
九日 朝三十七度、脈百、夕三十八度、脈百、便通三回、尿量三百瓦、貧血顯微多少浮腫狀ヲ呈ス心臓ノ變化前ニ同シ子宮底ハ臍ト劍狀突起ノ中央ニ在リ收縮多少不充分ナルモ壓痛ナシ惡露漿液性臭氣ナシ下肢ニハ尙ホ輕度ノ浮腫アリ膝蓋腱反射消失ス下肢及ビ手指ニ再ビ知覺異常アリ膝關節無力ニシテ歩行困難トナレリ
十日 朝三十七度、脈九十二、夕三十七度二分、脈百六、便通三回、尿量二百瓦
十一日 朝三十八度三分、脈百十、夕三十九度、脈百、便通二回、尿量百五十五、子宮底ハ耻骨縫際上二指橫徑ニ在リ下肢浮腫消失ス會陰縫合拔絲ス

十二日 朝三十七度六分、脈九十、夕三十七度八分、脈百八、便通二回、尿量二百三十五、尿中蛋白ヲ證明ス糖無ク、インザカニ少量ニ存ス

十三日 朝三十七度二分、脈九十二、夕三十九度、脈百六、便通無ク尿量八百瓦

十四日 朝三十八度二分、脈百二十、夕三十八度六分、便通一回、尿量八百瓦

十五日 朝三十七度三分、脈百十二、夕三十六度八分、脈百二、便通二回、尿量三百瓦、右肺前面打診音濁音ヲ呈シ呼吸音微弱ニシテ聲音振顫微弱ナリ右肺背面前下部亦同様ノ所見ヲ呈シ時々咳嗽發作、胸側刺痛ヲ感ズ子宮底ヲ觸知セズ膝蓋腱反射消失ス知覺異常尙持續セリ

十七日 朝三十七度六分、脈百、夕三十六度八分、脈百十二、便通ナシ尿量六百瓦

十八日 朝體溫三十八度、脈百二十、夕三十六度八分、脈九十四、右側濕性肋膜炎ノ症狀顯著ナリ

十九日 無熱著變ナシ

二十日 午前九時三十七度八分、脈九十、正午三十八度五分、脈百十二、午後六時三十七度二分、脈百十、便通一回、尿量四百五十五瓦

二十一日 朝體溫三十七度五分、脈百二十二、夕三十七度六分、脈百二十三、下肢ノ運動障害起リ歩行不確トナレリ以後隔日ニ千倍硝酸ストリヒニン一瓦ノ注射ヲ行フ

二十二日 朝三十七度六分、脈百二十、夕三十八度五分、脈百八、便通一回、尿量五百五十五瓦

二十三日 朝三十七度七分、脈百十四、夕三十八度五分、脈百十

二十六日 以後殆ンド無熱ニ經過ス時々一過性ノ發熱アリ脈搏ハ常ニ頻數九十乃至百ノ

問ヲ往來ス

第四十五日 尙ホ膝關節ノ無力ヲ訴フルモ歩行稍々確實トナレリ

膝蓋腱反射ハ全ク消失ス下肢及ビ手指ニ於ケル知覺鈍麻全ク去ラズ心臟濁音界普通、肺動脈第二音ハ僅カニ旺盛ス右肺前面第三第四肋間ニ於テ著明ノ水泡音ヲ聽ク右肺肩胛骨下隅以下全ク濁音ヲ呈シ呼吸音全然消失シ聲音震顫微弱ナリ

第五十八日 歩行漸ク確實トナレリ、退院ス
 剖檢記事

一女兒身長五十三仙、體重三千四瓦、死硬ハ大ナル關節ニ存ス、死斑ハ背部ニ發生ス皮下脂肪ノ發育佳良ナリ全身毳毛ヲ密生ス頭毛ハ三仙、迷ノ長サヲ有シ指爪ハ指端ヲ越ユ臍帶ハ尙ホ脫離セズ肛門ハ僅カニ移開シ少シク胎糞ヲ漏ラセリ腹腔ヲ開クニ腹内諸臟器位置ニ異常ナク腹水ヲ認メズ肝臟ハ腹腔ノ上三分ノ一ヲ被フ大腸ハ瓦斯ヲ以テ膨張シ内ニ胎糞ヲ容ル横膈膜高サ左第五肋骨ノ上緣右第四肋骨ノ下緣ニ位ス胸腔ヲ開クニ二葉ノ胸腺ハ尖端第四肋骨ノ高サニ在リ一部分心嚢ヲ被フ肋膜間ニ滲出物ナク肺臟ハ肋膜腔ヲ充タサズ實充實シ其一片ヲ水中ニ投ズルニ沈降ス心嚢ヲ開クニ内ニ帶黃色透明ノ液少量ヲ容ル心嚢内面及ビ心臟表面ニ異常ナシ冠靜脈ハ少シク怒張ス心臟ノ大サ該兒ノ手拳大ナリ心室内ニハ暗赤色流動性少許ノ血液ヲ容ル凝血無シ心臟ノ大サ四〇・四・五・二〇仙、迷ニシテ心室壁ハ厚サ右ハ〇・五仙、迷ヲ算ス肉柱殊ニ能ク發育ス左室壁ハ〇・四ヲ算ス心内膜及ビ瓣膜

裝置異常ナシ心筋蒼白質軟、心臓大サ六・〇、三・〇二分ノ一仙迷、剖面血液ニ富ム肝臓大サ十三・〇、六・〇、三・〇仙迷、剖面血液ニ乏シ十二脂腸輸胆管開口部ヲ開クニ粘膜異常ナシ胆嚢ハ黄綠色粘稠ノ胆汁ヲ容ル變化無シ左腎大サ五・〇、二・五、一・五仙迷被膜剝離シ易ク剖面著變ナシ、右腎大サ四・〇、二・五、一・五仙迷被膜剝離シ易ク剖面貧血セルノ他著變ヲ認メズ盲腸部ニハ胎糞ヲ充ス膀胱内ニ少量ノ尿ヲ容ル粘膜蒼白

病理解剖的診斷
 心、臓、右、室、ノ、擴、張、肥、大、諸、臓、器、ノ、露、血、液、流、動、性、
 本、例、ニ、於、テ、ハ、母、體、ハ、輕、度、ノ、脚、氣、ヲ、認、メ、妊、娠、ノ、進、ム、ニ、從、テ、次、第、ニ、其、ノ、病、狀、増、悪、シ、分、娩、期、ニ、際、シ、骨、盤、等、ニ、何、等、ノ、異、狀、ヲ、認、メ、ザ、ル、ニ、胎、兒、心、音、ハ、急、ニ、増、加、シ、來、リ、鉗、子、娩、出、術、ニ、ヨ、リ、テ、娩、出、ヲ、遂、ゲ、シ、モ、其、ノ、生、命、ヲ、救、フ、ヲ、得、ザ、リ、キ、母、體、ハ、產、褥、中、肋、膜、炎、ニ、罹、リ、一、時、發、熱、等、ヲ、見、且、ツ、脚、氣、ノ、症、狀、一、時、増、悪、セ、シ、モ、次、第、ニ、輕、快、シ、脚、氣、モ、亦、漸、次、輕、快、シ、漸、ク、歩、行、ス、ル、ニ、至、リ、テ、退、院、セ、リ、

第十一例 松本某 十八年 工女 初妊

既往症 月經初潮十三年爾來正調三乃至四日持續障害ナシ十六年十一月婚嫁シ最終月經ハ三月八日ニシテ目下妊娠九ヶ月豫定分娩期十二月十五日)
 主訴 入院分娩ノ希望
 入院 院 四十三年十二月二日

現 症 體格榮養共ニ中等乳房長ク發育シ乳嘴乳暈ノ著色著シク初乳ヲ分泌ス脈正調精々頻數九十ヲ算ス舌ニ白苔アリ心臓ノ濁音界普通、心音凡テ不純、肺動脈第二音著シク旺盛ス右肺尖呼吸氣延長シ右肺背面ノ下部呼吸音微弱、腹部膨滿シ腹圍七十六仙迷ヲ算ス子宮底ハ臍ト劍狀突起ノ中間ニ在リ兒頭ハ下部ニ在リテ尙ホ僅ニ移動シ兒背ハ左側ニ觸ル胎兒心音左臍棘線ノ中央ニ在リテ著明ナリ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ知覺異常ナク膝蓋腱反射亢進ス骨盤計測上異常ヲ認メズ食慾佳良、便通毎日一回、尿中蛋白ヲ認メズ

入院後ノ經過
 七日 朝三十六度八分、脈九十八、夕三十六度三分、脈百二十、便通二回
 八日 朝三十六度二分、脈九十、夕三十六度三分、脈九十八、心臓右界少シク、右ニ擴張ス、肺動脈第二音著シク旺盛シ、下肢浮腫減退シ知覺鈍麻現ハル
 十二日 無熱、脈頻數軟、心尖第一音不純トナル
 十四日 心臓右界一指橫徑右方ニ擴張、肺動脈第二音著シク旺盛、膝蓋腱反射亢進ス
 十五日 兒頭骨盤入口ニ固定ス

二十三日 肺動脈第一音不純トナリ同第二音殊ニ著シク旺盛ス妊娠間ハ疏麻(一〇〇)ヲ内服セシム無熱、脈頻數ナリ
 入院後第三十六日目分娩開始
 分〇、經〇、過〇

六日 午前一時頃ヨリ陣痛發作アリ六時發作四十秒、間歇一分三十秒、六時五十分破水、六時五十二分心音百二十四ヲ聽ク七時三分排露、同五分撥露、同七分男子分娩(第二體向)臍帶頸部ニ二回纏絡ス輕度ノ會陰裂傷ヲ起セリ七時九分臍帶ヲ切斷ス子宮底ハ臍高二在リ七時十二分胎盤胎兒面ヲ以テ生ル子宮底ハ臍下四指横徑、收縮通常後出血無シ體温三十六度七分、脈八十四、破水後十七分ニシテ生ル分娩極メテ輕易ナリ

産褥ノ經過
 第一日 心臓濁音界ハ右方ニ約一指横徑擴張シ、肺動脈第一音不純、同第二音旺盛、腹部稍々膨滿シ子宮底ハ臍高一指横徑ニ在リ壓痛ナシ惡露血性量中等臭氣ナシ浮腫、腓腸筋痛無シ膝蓋腱反射多少亢進ス麥角浸五〇ヲ與フ

第二日 子宮底ハ臍下二指横徑ニ在リ收縮佳良、惡露血性臭氣ナク量中等體温三十六度三分、脈九十至便秘ス
 第三日 體温三十六度七分、脈八十八、便通一回
 第四日 子宮底臍下三指横徑、硬度通常壓痛ナシ惡露漿液血性、量通常臭氣ナシ浮腫、知覺異常、腓腸筋痛等ナク膝蓋腱反射亢進ス體温三十六度、脈八十、便通一回
 第五日 體温三十六度、脈八十二、便通一回
 第六日 體温三十六度二分、脈八十、便秘ス
 第七日 心臓濁音界ハ右方ニ一指横徑擴張ス心尖第一音不純、肺動脈第一音不純、肺動脈第一

二音多少旺盛、肺臟著變ナシ子宮底ハ臍下四指横徑ニ在リ收縮通常、惡露漿液血性、量通常、臭氣ナシ膝蓋腱反射亢進ス尿中少量ノ糖ヲ證明ス蛋白ナシ體温三十六度、脈八十四、便通一回

第八日 體温三十六度四分、脈八十、本日退院ス
 本例ニ於テハ妊娠末期ノ脚氣ニ罹リシモ分娩經過極メテ佳良ニシテ破水十七分ニシテ身長四七仙迷、體重二千六百五ノ男子分娩シ之ノ際輕度ノ會陰破裂ヲ生シ三針縫合ヲ行ヒシガ産褥ノ經過佳良ニシテ熱發ナク脚氣症狀モ亦大ニ輕快セシモノナリ

第二十一例 三光寺某 二十二年 農 經妊

既往症 生來健全十三年一ヶ月月經初潮シ爾來正調三日間持續シ少量月經障害ナシ既ニ二回分娩セリ昨年三月十五日以來月經閉止シ目下妊娠十ヶ月(豫定分娩期ハ十二月二十二日)

主訴 入院分娩
 入院 四十年一月二十三日

現症 體格榮養共ニ中等、乳房ノ發育佳良ニシテ初乳ヲ分泌ス打診上心臓濁音界ノ變化ヲ認メザルモ心悸亢進シ肺動脈第一音不純、同第二音旺盛、腹部膨滿、腹壁上ニ著明ノ妊娠癭痕アリ子宮底ハ劍狀突起下二指横徑ニアリ兒頭ハ骨盤入口上ニ固定ス心音ハ左臍棘線ニ於テ著明ナリ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ、腓腸筋痛ヲ訴フ膝蓋腱反射亢進ス尿中蛋白ナク多量

ノ「インデカン」ヲ證明ス
入院後 特記ス可キ變化無ク經過シ第三十四日分娩開始ス
分娩ノ經過

二十五日 午後ヨリ陣痛起レルヲ以テ同七時産室ニ移ス同七時三十分排便排尿ヲ行ヒ同
時ニ外陰部消毒ヲ行フ七時四十分陣痛發作二十秒、間歇一分三十秒、心音百三十七左側ニ於
テ著明ナリ八時心音百五十二ヲ算ス八時三十分心音不正トナリ百五十六ヲ算ス八時五十
分「カテーテル」排尿ヲ行フ八時五十五分心音不正且ツ頻數、九時内診ヲ行フニ子宮口ハ約七
仙迷開大シ卵胞尙ホ存ス先進頭部ハ骨盤入口ニ固定セルモ之ヲ壓上セシムルコト難カ
ラズ前羊水ハ少量ニシテ小頸門ヲ左前方ニ觸ル九時十分心音不長、九時二十分不規則ナル
モ尙ホ左側ニ於テ聽取スルコトヲ得タリ九時三十分同上、四十分心音益々不長トナリシヲ
以テ直ニ胎兒ヲ娩出セシメザルベカラズ依テ即時ニ「クロロフォルム」麻醉ヲ施シ五十分人
工破水ヲ行ヒ七時一分不完全足位トナシテ同三分全ク娩出術ヲ終レリ胎兒ハ輕度ノ假死
ヲ以テ生レシガ人工呼吸法ニ由リ二分後高聲ヲ發シ號泣スルニ至レリ胎盤ハ十時五分胎
兒面ヲ以テ娩ル後出血著シカラズ子宮底ハ臍下四指横徑ニアリ體溫三十六度六分、脈九十
産褥經過

ニ疑ヲ來タサザリキ
本例ハ輕症脚氣ノ合併シタリシモノニシテ分娩時比較的短時ナルニ時々刻々胎兒ノ心音
不長トナリ假死ヲ以テ娩出セシハ不完全足位モ亦少ナカラザル原因的關係アラシム未ダ
娩出術ヲ行ハザルニ先チテ胎兒ノ心音急ニ不長トナリシ點ハ是レ亦一考ヲ要スベキモノ
トス

第二十四例 宮本某 十七年 初妊

既往症 著患ヲ知ラズ十三年月經來潮爾來不正五日間持續量中等、月經時障害無シ最終月
經六月十五日ニシテ目下妊娠十ヶ月(分娩豫定期三月二十二日)

主 訴 入院分娩ノ希望
入 院 四十年四月六日

現 症 體格榮養共ニ中等、乳房ノ發育佳長ニシテ初乳ヲ分泌ス心臟潤音界ハ僅カニ右方
ニ擴張ス心尖第一音雜音同第二音モ亦不純ナリ肺動脈第一音不純、同第二音旺、盛、ス兩肺呼
吸音微弱、腹圍ハ八十五仙迷、子宮底ハ臍ト劍狀突起ノ中央ニ位シ兒頭ハ骨盤入口ニ固定ス
兒背右ニ在リ下、肢、ニ、輕度、ハ、浮、腫、ア、リ、膝、蓋、腫、反、射、微、弱、午後四時陣痛開始、直チニ産室ニ移ス
分娩ノ經過

六日 午後六時早期破水ノ疑アリシヲ以テ内診セシニ腔部尙ホ存シ子宮外口ハ約五仙迷
開大シ先進兒頭ハ骨盤入口ニ固定ス卵胞尙ホ存シ大小頸門ヲ觸知スルコト能ハズ六時二

十分導尿管約百五十瓦ノ尿ヲ得タリ陣痛發作三十秒、間歇一分二十秒、胎兒心音正調百三十八、七時十分胎兒心音百四十四正調、陣痛發作四十秒、間歇三十秒、七時五十分胎兒心音百二十四、八時三十分導尿管約百五十瓦ヲ排出ス同五十分心音百十八正調、九時五分卵胞陰裂開ニ見ユ直チニ人工破水ヲ行フ小顛門ハ右後方ニ在リ矢狀縫合ハ第一斜經線ニ一致シ大顛門ヲ觸レズ九時四十五分心音百三十二正調、發作一分、間歇三十秒、十時十八分兒頭排露ス心音百三十三正調、十時四十分男兒分娩ス子宮底ハ臍高ニ在リ十時五分胎盤胎兒面ヲ以テ娩出ス子宮底臍下三指横徑、收縮佳良、後出血無シ分娩直後體溫三十七度五分、脈八十二

産得ノ經過

七日 朝三十七度、脈八十、夕三十七度三分、脈百、便通無シ舌ニ白苔アリ心臟濁音界僅ニ右方ニ擴張ス肺動脈第一音不純、同第二音旺盛シ子宮底ハ臍高ニ在リ收縮通常、惡露血性、量普通

八日 朝三十六度、脈六十八、夕三十七度三分、脈百八、便通二回、患者貧血ヲ呈ス麥角劑、滿掩鐵

「スプトン」ヲ與フ

九日 無熱、脈八十以下、乳腺緊滿ス子宮底ハ臍下三指横徑、收縮適度

十日 體溫最高三十七度二分、脈八十以下、心臟濁音界尙ホ僅九、ニ右方ニ擴張シ心尖第一音雜音、同第二音不純、肺動脈第二音旺盛ス子宮收縮通常、膝蓋腱反射微弱、下肢ニ浮腫知覺鈍麻無シ

十一日 無熱、脈八十四以下、子宮底臍下二指横徑、惡露血性漿液性、量中等臭氣無シ

十三日 子宮底臍下三指横徑壓痛無シ惡露血性漿液性臭氣無シ初生兒ハ母乳ヲ與ヘシモ何等障害ヲ來タスコト無ク發育亦佳良ナリ

十五日 退院

臨牀上脚氣ヲ證明セシモ妊、娠、分、娩、産、褥、ニ於テ著シク障、害、ヲ及ボス事ナク、嬰兒モ亦母乳ニヨリ發育ヲ遂ゲタリ

第二十五例 内藤某 二十五年 工女 初妊

既往症 生來健全著患ヲ知ラズ十六年三ヶ月月華來潮爾來不整三日間持續、量少、二十三年十ヶ月婚嫁シ昨年五月七日以來月經閉止ス目下妊娠十ヶ月(豫定期日二月十四日)

主 訴 入院分娩ノ希望

入 院 四十一年二月三日

現 症 體格榮養共ニ中等、乳房ノ發育佳良ニシテヨク初乳ヲ分泌ス、心臟濁音界普通、心尖第一音及肺動脈第一音不純、同第二音旺盛、腹部膨滿シ腹圍八十八仙迷ヲ算ス子宮底ハ臍ト劍狀突起ノ中央ニ在リ兒頭ハ骨盤入口上部ニ於テ尙ヨク移動ス心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ著明ナリ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ知覺異常腓腸筋痛無シ膝、蓋、腱、反、射、微、弱、トナル骨盤計測上異常ヲ認メズ尿中蛋白ヲ認メズ硫酸(一〇〇)ヲ用ユ

七日 心悸亢進甚ダシ

十六日 兒頭骨盤入口ニ固定ス

入院以來全ク無熱ニ經過セシモ脈搏少シク頻數八十乃至九十ヲ算ス便通二三回アリ入院後二十五日目ニ分娩開始セリ

〇〇〇〇〇〇
身〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

二月二十七日 午後六時頃ヨリ陣痛起リ漸次強盛トナル
二十八日 午前零時二十五分産室ニ移ス此際既ニ病室ニ於テ破水セリ同三十五分外陰部消毒ヲ行フ兒頭既ニ排露ス四十分兒頭露出テ直チニ軀幹之レニ從ヘリ子宮底ハ臍高ニアリ一時五分胎盤娩出ス後稍々多量ノ出血アリ詳細ニ檢スルニ卵膜ノ一部尙ホ子宮腔内ニ遺殘セルヲ發見シタレバ直チニ用手剝離術ヲ行ヒタルモ尙ホ多少ノ出血持續シ子宮收縮微弱、一時五十分腔、タンボン」ヲ行フ體溫三十六度一分、脈八十

産〇〇〇〇〇〇
產〇〇〇〇〇〇
全ク無熱ニ經過ス、脈八十乃至九十、便通一二回、子宮底ハ二十九日臍下二指横徑ニアリ三月二日臍下三指横徑ニアリ四日臍下四指横徑ニアリ收縮通常惡露亦異常ナシ產褥第四日心臓、右界ハ僅カニ擴張、ヲ認メシモ著明ナラズ心尖第一音及肺動脈、第一音、不純、同第二音旺盛、下肢ニ輕度ノ浮腫アリ膝蓋、反射少シク亢進ハ微アリ一般ニ產褥ノ經過佳良ニシテ第八日退院セリ
本例ハ妊、娠、末、期、ニ、輕、症、脚、氣、ヲ、合、併、セ、シ、モ、ハ、ナ、ル、モ、分、娩、産、褥、ニ、何、等、關、係、ヲ、及、ボ、ス、コ、ト、ナ、ク、脚、氣、モ、亦、増、惡、ス、ル、コ、ト、ナ、ク、シ、テ、輕、快、セ、リ

第二十六例 日高某 二十五年 無職 經妊

既往症 十三年一ヶ月月華來潮爾來正調三四日間持續ス量中等障害無シ二十三歳ニシテ一女ヲ分娩ス此際脚氣ニ罹リ錯子手術ヲ受ケタリト而シテ最終月經ハ十一月十七日ニシテ目下妊娠十ヶ月(豫定期八月二十五日)

主訴 ハ入院分娩ノ希望

入院 四十年六月廿七日

現症 體格小、榮養中等、乳房ノ發育佳良ニシテ初乳ヲ分泌ス心臓濁音界普通、肺動脈、第二音ハ著シク旺盛、子宮底ハ劍狀突起下二指横徑ニアリ兒頭ハ骨盤入口ニ固定ス兒背左方ニアリ胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ明ラカニ聽取ス下肢ニ輕度ノ浮腫アリ腓腸筋握痛無シ膝蓋、反射、微弱、骨盤計測上異常ヲ認メズ便秘アリ尿中蛋白無シ

七月一日 觸診ノ際子宮收縮ヲ來タス心音左臍棘線ノ中央ニ於テ著明百二十ヲ算ス

七月三日 午後十時五十分産室ニ移ス此時既ニ兒頭排露セリ胎兒心音ハ百四十ヲ算シ正調ナリ十一時二十分女兒安産ス子宮底ハ臍下二指横徑ニ在リ十一時二十五分胎盤娩出ス子宮底ハ臍下四指横徑ニアリ收縮佳良、硬度通常、出血ナシ

産〇〇〇〇〇〇
產〇〇〇〇〇〇

四日 熱最高三十六度九分、脈八十、便通ナシ心臓濁音界ノ擴張無シ肺動脈第二音旺盛、腹部膨滿子宮底ハ臍上二指横徑ニアリテ硬度硬、收縮佳良ナリ膀胱ハ尿ヲ以テ充滿ス惡露血

性、下肢浮腫ナク膝蓋腱反射微弱ナリ

五日 熱最高三十六度五分、脈七十八以下、石鹼澀腸ヲ行フ

六日 無熱、子宮底ハ臍下二指横徑、硬度通常、收縮佳ナリ

八日 無熱、子宮底ハ臍下四指横徑、惡露少量、血性漿液性

十日 退院ス

本例ハ、極メテ輕症脚氣ニシテ、妊娠分娩產褥ニ於テ、全ク障礙ヲ及ボスコト無ク經過セシモハナリ

第二十七例 稻葉某 二十四年 工女 經妊

既往症 天賦強健最終月經ハ三十八年十二月二十八日(豫定分娩期十月五日)

現症 三十九年十月十八日

體格榮養共ニ中等、顔面浮腫狀ヲ呈シ、舌ハ濕潤シ少シク苔ヲ被ル右肺炎及右背面上部呼吸氣延長粗裂、心臟濁音界變化ナシ、肺動脈第二音少シク旺盛、腹部膨滿臍高已ニ消失ス子宮底ハ劍狀突起下二指横徑ニアリ兒頭下方尙ホヨク移動ス頤部左項部右胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ位シ小部分ヲ觸知スルコト困難ナリ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ、腓腸筋壓痛ナク膝蓋腱反射亢進ス知覺異常ナシ
尿蛋白ナシ、インザカン存ズ
診斷 妊娠十ヶ月

處方

一、硫酸 一五〇 稀鹽酸 一〇 水一〇〇〇

二十日 下肢ニ浮腫アリ右肺炎及右第一肋間呼吸氣延長粗裂、左肺前面管聲啞軋音ヲ聽ク心臟濁音界ニ變化ナシ、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、兒頭下方尙ホ移動シ、臍部ハ上方ニアリ胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ著ルシ膝蓋腱反射消失ス、腓腸筋壓痛竝ニ知覺異常ナシ、尿蛋白ナシ、インザカン存ズ

骨盤計測上異常ナシ

二十三日 顔貌浮腫狀ヲ呈シ、舌ハ濕潤シ苔アリ右肺炎及右背面上部抵抗アリ呼吸延長粗裂右背面部抵抗アリ呼吸音弱シ心臟濁音界一指横徑右方ニ擴張ス、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、胎兒臍部上方頭部下方骨盤上口ニ固定ス背部右小部分左ニ觸知ス胎兒心音右臍棘線ノ中央ニ著ルシ下肢ニ高度ノ浮腫アリ膝蓋腱反射消失知覺異常ナシ

尿、酸性、蛋白ナク、インザカン存ズ

二十五日 顔貌浮腫狀ヲ呈ス下肢ニ高度ノ浮腫アリ、脈小頻數正調舌苔ナシ咽頭ニ變化ナシ右肺炎及右背面上部抵抗アリ一般呼吸音微弱水泡音ヲ聽カズ心臟濁音界一指横徑右方ニ擴張ス、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、腓腸筋壓痛僅カニ存ス膝蓋腱反射消失知覺障礙ナシ頭部下方尙ホ移動ス胎兒心音著明ナリ

二十七日 下肢ニ高度ノ浮腫アリ、舌ハ平滑ニシテ苔ナシ心臟濁音界一指横徑右方ニ擴張

ス、僧帽、肺動脈瓣部縮期ノ雜音ヲ聽ク、肺動脈、第二音著シク、亢進ス、胎兒頭部下方骨盤上口ニ固定ス、頤部右、項部左、小部分ヲ右ニ觸知ス、胎兒心音左臍棘線ノ中央ニ著ルシ

二十八日 午後五時三十分、陣痛始ル六時三十分發作四十秒、間歇三十分、頭部骨盤入口ニ固定ス、頤部項部不明、背部左、小部分右ニ觸知ス、胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ著シ、數一三〇、八時内診ス、子宮口ハ六仙迷開大卵胞形成セシガ内診ニ際シ破裂セリ、頭部ハ骨盤狹部ニアリ、大部、小部觸知スルコト難シ、八時二十分、心音著明一四一、九時五分排臨、三十五分撥露、四十分、娩出ス、胎兒高度ノ假死ニ陥リシガ、人工呼吸術ヲ施シ蘇生セリ、子宮底臍下二指横徑、十分、胎兒面ヲ以テ胎盤、娩出ス、子宮底臍下二指横徑收縮佳、其後出血ナシ

初生兒(女)身長四九、體重二七九〇、瓦砂水ヨリ胎兒娩出ニ至ル時間一時四十五分、陣痛開始ヨリ胎兒娩出ニ至ル時間三時十五分

第三期 十五分

二十九日 朝體溫三十七度二分、脈八十至、夕體溫三十七度、脈八十至

三十日 下肢ノ浮腫著シク減退ス、顔貌尙ホ浮腫狀ヲ呈ス、舌ハ平滑、脈充實大軟、心臟濁音界僅ニ右方ニ擴張ス、心尖、第一音及肺動脈、第一音雜音、第二音少シク旺盛シ、乳腺僅カニ緊滿シ、乳汁ヲ壓搾シ得ベシ、腹部膨滿、子宮底臍高硬度通常、壓痛ナク、惡露血性漿液性臭氣ナク知覺異常ナシ、膝蓋、反射消失、指尖ニ輕度ノ知覺鈍麻アリ、食慾普通、朝體溫三十六度二分、脈八十至、夕體溫三十六度七分、脈九十六至、便通一回

十月一日 朝體溫三十六度六分、脈七十八至、夕體溫三十七度五分、脈九十四至

二日 朝體溫三十七度、脈一〇〇至、夕體溫三十七度、脈九十六至

三日 下肢ノ浮腫著シク輕快スルモ顔面ハ蒼白ニシテ浮腫狀ヲ呈セリ、心臟濁音界ニ變化ナク、肺動脈、第一音不純、第二音旺盛、臍反射消失、惡露灰白、多量、臭氣ナシ

朝體溫三十六度五分、脈九十至、夕體溫三十七度八分、脈八十五

四日 朝體溫三十六度七分、脈八十至、夕體溫三十八度四分、脈九十至、便通一回

五日 顔貌蒼白、舌平滑、乳嘴消失ス、肺臟ニハ多數ニ乾性水泡音ヲ聽ク、心臟濁音界變化ナシ、肺動脈、第二音尙ホ旺盛ス、子宮底臍下三指横徑收縮佳、其後惡露多量、汚穢、多少臭氣アリ、下肢ニ浮腫ナク、膝蓋、反射消失、運動障礙ナシ

朝體溫三十七度、脈七十八至、夕體溫三十七度八分、脈九〇至、便通一回

六日 肺臟乾性水泡音著シク減少ス、子宮底臍下四指横徑收縮不全、壓痛アリ、惡露漿液性少量、臭氣ナシ

朝體溫三十六度二分、脈七十八至、夕體溫三十七度、脈八十二至

初生兒ハ分娩ノ際稍々高度ノ假死ニテ生レ人工呼吸法ヲ施シ蘇生セシムルコトヲ得タルモ一般ニ生活現象ハ微弱ニシテ體溫三十五度乃至三十六度ノ間ヲ上下シ、脈ハ細小、微ニ百二十至ヲ算ス、血液検査ヲ行フニ赤血球四〇五六〇〇、白血球一二〇〇〇、其比例三三八・一ニシテ比重六六、血色素四〇%、乾燥標本ニヨレバ多核白血球比較的多ク多核赤血球稀存ニシ

酸液標本)レヨフレル氏染色標本ニヨレバ每視野雜色性三—十二個顆粒赤血球ナシ
 分娩翌々日午後五分(生後四十二時間)頃ヨリ黃色粘稠ナル粥狀物ヲ吐スルコト三回、同八時
 頃ヨリ黃褐色粘稠物ヲ吐ス同夜中ニ六回ノ嘔吐ト數回ノ排尿アリ二回胎糞ヲ下泄セシガ
 外觀上普通ノ者ト異ナラズ翌朝ニ至リ大便モ亦吐物ト同様黑褐色嬰兒糞ノモノナ一
 回排
 泄セリ嘔吐ハ頻々反復シテ約一時間毎ニ起リ毎回患兒ハ甚シキ苦悶ノ狀ヲ呈シ且嘔吐前
 ニ殆ンド毎回奇聲ヲ發スト午前十一時同診ス顔貌已ニ一變シ著シク苦悶ノ狀アリ稍々高
 度ノ黃疸ヲ發ス瞳孔縮小シ反應ナク内斜視ヲ呈シ時々、ニスタグムスヲ呈ス顫門ハ普通ニ
 緊張シ肛門、臍、口腔等異變ナク口唇、チアノーゼヲ呈シ且吐物ニヨリ黑褐色ノ輪ヲ附ス舌苔
 ナシ皮膚ハ蒼白ニシテ稍々黃色ヲ帶ブ、冷感アリ呼吸困難ノ狀ヲ呈ス呼吸音ニ病的變化ナ
 ク心臟機能ハ極テ幽微ニシテ心尖部ニ於テ第一音縮期雜音ヲ聽キ第二音分裂ス肺動脈第
 二音ハ僅ニ亢進ス脈微弱頻數不規則ナリ腹部ハ一般ニ少シク膨滿シ抵抗ナシ臍帶殘痕尙
 ホ存在ス臍部變化ナシ臍反射亢進ス其他皮膚ニ於テ紫斑、溢血症、發疹、創傷、癢痕等ナク頭部、
 手掌、足趾異常ナク顎門、鼻、咽頭、口腔ニハ何等ノ變化ヲ認メズ體溫三十五度七分ヲ算ス患兒
 ハ既ニ類同ノ嘔吐ニヨリ急ニ虛脱ニ陥リ呼吸困難、口唇皮膚ノ、チアノーゼ一層著明トナリ
 最後ニ類同ノ搐搦ヲ起シ發病後十九時間ニシテ療法其效ナク遂ニ不幸ノ轉歸ヲ取ルニ至
 レリ該吐物ハ嬰兒糞ニシテ粘稠惡臭ナシ鏡檢スルニ血球ヲ證明スルコト難カリシモ、ヨク
 タイヒマン氏ノ「ヘミイン」結晶ヲ形成シ且分光像檢査ニヨリテフラウエンホトフル氏線ノ

DトFトノ間ニ二條ノ吸收線表ハレ酸化「ヘモグロビン」ノ變化ヲ呈シ明カニ吐物中ニ血液
 ノ混在ヲ證明セリ

診斷 初生兒、メレナ

剖檢記事 初生兒 稻葉某

死後四時間ヲ經過セル一女兒體重二一五〇瓦、身長四九、頭蓋ヲ計測スルニ前後徑一一、大斜
 徑一三・五、小斜徑九、大橫徑九、小橫徑八、周圍三五仙迷ヲ算ス榮養、不良皮膚一般ニ蒼白ニシテ
 黃白ヲ帶ブ背部四肢ニ於テハ著明ノ紫斑發生シ指壓ニヨリテ消褪ス眼瞼結膜、口唇粘膜モ
 亦蒼白ニシテ斑點ヲ認メズ
 腹部ハ僅ニ膨滿シ臍帶殘痕長サ三仙迷、暗褐色半ハ乾燥ノ狀態ニアリ炎症等ヲ認メズ臍高
 ハ清潔ニシテ殆ンド變化ナシ
 腹腔ヲ開クニ腸管ハ僅カニ瓦斯ヲ以テ膨滿シ腹腔内滲出物ナク内臟ノ位置正常ナリ横膈
 膜高サ左側第六肋骨ノ上緣、右側第五肋骨ノ上緣ニ相當ス
 胸腔ヲ開クニ兩肺肋膜面ニ異常ナク滲出液ナク胸腺ハ左右ノ兩葉ヨリ成リ心囊ノ上部ニ
 在リ
 心囊ヲ開クニ帶黃色透明中等量ノ心囊液ヲ入ル心囊内面ニハ認ムベキ變化ナク心冠靜脈
 ハ少シク怒張ス心臟ノ大サ横三・四、縱四・〇、厚サ二・二仙迷、心臟房室ニ凝血ナク暗赤色稍々多
 量ノ流動性血液ヲ入ル右室ハ擴張シ壁稍々硬ク著シク肥厚シ厚徑〇・七仙迷ヲ算ス乳嘴及

ビ肉柱著シク肥大ス左室壁ノ厚サ〇・五仙迷、乳嘴及ビ肉柱ハ殆ンド變化ナク凡テノ瓣膜裝
 置ニ異常ナシ卵圓孔ハ哆開シ消息子ノ通過自由ナリホタリー氏管ハ管腔甚ダ狭少トナル
 毛向ホ消息子ヲ通シ得タリ
 肺臟 兩肺共ニ肋膜腔ヲ充タス之レヲ水中ニ投ズルニヨク浮游ス
 左肺外面滑澤下葉ノ外面ニ於テ諸處暗赤色ノ斑點ヲ見ル此部分ハ硬度他部ヨリモ僅ニ硬
 シ剖面平滑血液ニ富ミ壓搾スルニ泡沫ヲ含有スル帶紅色ノ液ヲ多量ニ流出ス
 右肺表面及ビ剖面左肺ニ同シ
 脾臟長徑五〇、幅二〇、厚一〇仙迷、表面滑澤、質軟、剖面血液ニ富ム
 右腎長徑四〇、幅二・五、厚一・五仙迷、被膜稍々剝離シ難ク表面滑澤、硬度通常、剖面血液ニ富ム被
 質實質ノ境界判然タリ
 左腎長徑三・五、幅二・三、厚一・五仙迷、被膜剝離シ難ク表面多少粗糙ナリ、硬度通常、剖面ハ血液ニ
 富ミ、被質實質ノ境界明カナラズ剖面稍々潤濁ヲ呈ス
 左右副腎ニハ著變ヲ認メズ
 膀胱ハ殆ンド空虚ニシテ粘膜炎白變化ナシ兩側ノ膀胱靱帶ハ稍々肥厚シ剖面ニ於テ其内
 腔尚ホ存ス
 十二指腸部ヲ切開スルニ帶黑綠色粘稠ナル内容物ヲ含有ス粘膜炎ニ潰瘍充血其他變化ヲ
 認メズ

胃ヲ切開スルニ帶黃褐色粘稠ナル少量ノ内容物ヲ入レ粘膜炎ハ厚ク粘液ヲ以テ掩ハル粘膜炎
 面ニ諸處圓形刺針頭大以下ノ多數ナル黃色ノ斑アリ其中央ハ少シク陷凹セルモ未ダ肉眼
 的ニ確ニ潰瘍ヲ發見シ得ズ

肝臟長徑九〇、幅五〇、厚三〇、表面滑澤黃褐色其質稍々軟、剖面血液ニ富ム著變ナシ膽囊ハ帶
 黃綠褐色粘稠ナル内容ヲ充タシ強ク緊張ス

輸膽管ノ十二指腸開口部ヲ去ル約〇・八仙迷ノ部ニ當リ狹窄ヲ有ス腸間膜ノ血管ハ少シク
 充血ヲ呈ス腸間膜腺ハ多少腫大セリ

頸背部ヲ切開スルニ黑綠色粘稠ナル便ヲ入ル粘膜炎少シク充血スルノ外他ニ殆ンド何等ノ
 變化ヲ認メズ他部ニ於ケル腸管ハ殆ンド異常ヲ認メズ

診斷 輸膽管狹窄、心臟右室ノ擴張肥大、下垂性肺炎、血液ノ流動性、諸臟器ノ變血
 本例ニアリテハ妊娠末期ニ當リ輕症脚氣症狀完備シテ容易ニ脚氣タルハ診斷ヲ下スコト
 ナ、得ルニ至レリ此ハ時期ニ於テ分娩アリ胎兒ハ高度ノ假死ヲ以テ生レタリ爾後母體ノ脚
 氣、症狀ハ次第ニ消退セシモ初生兒ハ初メヨリ人工榮養ヲ行ヒタルニ係ハラズ「メレナ」ノ爲
 メニ斃レタリ

第二十例 彌生某 二十五年 工女 初妊

既往症 十六年九ヶ月月經來潮爾來正調三日間持續量多ク月經時障害無シ昨年十一月十
 一日以來月經閉止ス目下妊娠九ヶ月(豫定分娩期八月十八日)

主 訴 入院分娩希望

入 院 三十九年八月四日

現 症 體格榮養共ニ中等、乳房ノ發育佳、乳嘴乳暈ノ著色著シク初乳ヲ分泌ス心臓濁音
界ノ擴張ヲ認メズ心尖第一音肺動脈第一音不純、同第二音著シク旺盛ス兩肺ハ一般ニ呼吸
音微弱、腹部膨滿、腹圍九十仙迷ヲ算ス子宮底ハ劍狀突起下二指横徑ニアリ兒頭ハ骨盤入口
上ニ於テ尙ホ僅カニ移動ス心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ著明ナリ下肢ニ浮腫ナク腓腸筋
痛無シ膝蓋、反射、微弱ナリ骨盤計測上異常ナク尿中蛋白ヲ證明セズ「インヂカン」少量ニ存ス
二十一日 心臓濁音ハ僅カニ右方ニ擴張シ肺動脈第二音ハ殊ニ著シク旺盛ス下肢並ビニ
下腹壁ニ浮腫發生シ知覺異常腓腸筋痛等起ル膝蓋、反射、全ク消失ス

九月三日 口、圍ニ知覺鈍麻表ハル

入院以來脚氣ヲ起コシ諸症狀著明トナリ心臓ノ變化ヲ起シ下肢ニハ知覺異常腓腸筋痛浮腫表ハレ膝蓋、反射、消失シ遂ニ入院後四十七日分娩開始スルニ至レリ

分〇ノ〇經過

十八日 午後十一時過ギヨリ陣痛開始ス直チニ産室ニ移ス

十九日 午前三時石鹼浣腸ヲ行ヒ四時三十分カテーテル排尿ヲ行フ兒頭ハ尙ホ骨盤入口

上部ニ於テ移動ス頤部左側ニ項部右側ニアリ陣痛甚ダ強盛ニシテ心音ハ百三十ヲ算シ子宮底雜音著明ナリ八時三十分外診ヲ行フ兒頭ハ既ニ骨盤入口ニ固定シ兒背ハ右側ニアリ

心音ハ右臍棘線ノ中央ニテ百三十五ヲ算ス陣痛發作一分、間歇一分三十秒、陣痛漸次強盛トナル九時卵胞陰裂開ニ表ハレシヲ以テ人工破水ヲ行フ九時十分兒頭排臨ス同三十分兒頭撥露ス九時三十分兒頭娩出、顔面ハ母體左大腿ノ内面ヲ向ク次同ノ陣痛ニヨリ續テ軀幹娩出ス胎兒ハ輕度ノ假死ヲ以テ分娩セシモ人工呼吸ヲ行ヒ直チニ蘇生セリ九時四十分胎盤胎兒面ヲ以テ生ル子宮底ハ臍下三指横徑ニアリ收縮稍々不長ニシテ十時甚ダ高度ノ子宮出血ヲ起セリ直チニ子宮底ヲ摩擦シテ收縮ヲ促カシ一方外陰部ヨリ「ガ」ヲ以テ壓迫セシモ出血高度ニシテ容易ニ止血セズ麥角ノ注射ヲ行ヒモンアルグ氏驅血帶ヲ以テ下腹部大動脈ヲ壓迫シ後熱性腔洗滌ヲ行ヒ次テ腔内強「タンボン」ヲ行フ時ニ十一時十分ナリ十二時三十五分生理的食鹽水五百瓦ヲ皮下ニ注射シ同時ニ「カンフル」二〇瓦ヲ注射ス五時二十分腔内ニ挿入セシ「ガ」セタンボン「ヲ除去セシニ最早著シキ出血ナカリキ子宮底ハ臍高ニ在リ壓痛アリ分娩後大出血アリ一時急性失血ノ爲メ一般狀態稍々不長ニ傾キシモ漸次佳良ニ趨ケリ體溫三十七度四分、脈百十四

産褥ノ經過

二十日 無熱、脈九十以下、子宮底ハ臍上二指横徑ニアリ收縮不充分、硬度軟、壓痛アリ惡露血性、量多シ

二十一日 無熱、脈九十以下、子宮底ハ臍上一指横徑ニアリ硬度軟、壓痛ヲ訴フ惡露血性、量多シ

二十二日 無熱、脈八十四以下
 乳房緊満ス心臟濁音界ノ擴張ヲ認メズ心、悸、亢進シ、肺動脈、第二音、旺盛、腹部膨滿シ子宮底ハ
 臍高ニアリ壓痛アリ收縮不充分、惡露血性臭氣無ク量多カラズ下肢ノ浮腫消退、知覺
 鈍、麻、腓、腸、筋、痛、減退ス膝蓋、腱、反射、亢進セリ無熱、脈九十八
 二十四日 無熱、脈九十六、子宮底ハ臍下二指横徑ニアリ收縮不長、壓痛アリ
 二十五日 無熱、脈百六以下、子宮底臍高收縮不充分、壓痛尙ホ存ス惡露多量、初生兒ハ母乳榮
 養ヲ行ヒシガ發育佳良ナリキ

二十八日 退院ス

本例ニ於テハ妊娠中殆ンド注意ヲ惹クニ至ラザルガ如キ至極輕症ノ脚氣症候ヲ現ハシ妊
 娠末期ニ於テ急ニ症狀顯著トナリ分娩時短時間ナルニ胎兒ハ假死ヲ以テ生レ爾後母體脚
 氣ノ症狀ハ急ニ輕快シタルモ脈搏ハ常ニ頻數ニシテ且ツ惡露ハ比較的少量ナリキ

第三十例 北川某 三十一年 商人ノ妻 經妊六回目

既往歴 生來強健著患ヲ知ラズ月經初潮十一年爾後正調五乃至六日持續量通常故障ナシ
 最終月經三十八年一月三十一日(豫定分娩期十一月七日)
 主訴 胸内苦悶、便秘
 現症 三十八年九月二日
 體格榮養共ニ中等顔面質蒼白筋肉及ビ皮下脂肪纖發育不長、浮腫發疹ナク脈正調稍々頻

數、子宮底臍上三指横徑、腎部上方、頭部下方尙ホ移動ス胎兒心音右臍棘線ノ中央ニ著ルシ心
 臟濁音界僅カニ右方ニ擴張シ、肺動脈第二音、旺盛、下肢ニ輕度ノ浮腫アリ、腓腸筋壓痛ナシ膝
 蓋腱反射僅微ニ存セリ尿蛋白ナク、インデカン僅カニ存ス

處方

- 一、硫酸 一五〇 稀鹽酸 一〇 水一〇〇〇
- 二、硫酸「スバルテイン」 〇・三

便通一回

六日 心悸亢進甚ダシク呼吸促進不安トナリ胸内苦悶ヲ訴フ、兩肺尖共ニ少シク鼓性ヲ帶
 プ聴診上著變ナシ心臟濁音界一指横徑右方ニ擴張ス肺動脈第一音不純、第二音旺盛、下肢ニ
 知覺鈍、麻アリ、膝蓋腱反射變化ナシ腓腸筋壓痛アリ

處方

- 一、水蛭百條ヲ胸部ニ貼用ス
- 二、「ヂキタリス」葉末 〇・三 「チウレチン」 一〇

右一日三回食間分服

朝體溫三十六度、脈七十四至、夕體溫三十七度二分、脈八十六至、下痢五回
 七日 胸内苦悶、心悸亢進少シク輕快ス
 朝體溫三十六度四分、脈八十二至、夕體溫三十八度八分、脈九十四至、下痢七回

八日 脈正調充實、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、兩肺全面呼吸音粗裂、水泡音ヲ聽カズ腹部膨滿時々收縮起ル頭部ハ下方ニアリ尙ホ移動シ胎兒心音右臍棘線ノ中央ニ於テ明カナリ

處置
一、胸部微温濕布
二、「コンニヤツグ」 三〇〇

朝體温三十八度六分、脈百〇二至、夕體温三十九度五分、脈一一〇至、下痢六回、嘔吐一回

九日 朝體温三十六度七分、脈九十四至、夕體温三十九度五分、脈九十四至

十日 午前四時三十分早期破水、三十分後「カンフル」一筒注射ス午前七時四十五分外診ス頭部下方骨盤上口ニ固定ス頤部左ニ項部ハ右ニアリ心音百二十九、時々不規則トナル母體脈搏正調充實

九時三十六分胎兒心音百三十六正調

九時四十分陣痛發作一分十秒、間歇十二分

九時五十分内診ス子宮口ハ七仙迷開大卵胞ナシ兒頭ハ骨盤潤部ニ在リ矢狀縫合ハ第一斜徑線ニ一致ス小頤門左前、大頤門ヲ觸知セズ兒頭ハ指壓ニヨリ容易ニ旋轉シ此際羊水多量ニ漏出ス十一時三十分產婦睡眠シ陣痛甚ダ微弱トナレリ胎兒心音百三十著明、人工排尿陣痛少シク加ハル十一時五十六分胎兒心音百二十

午後一時五十分胎兒心音百四十正調、同五十二分内診、子宮口ハ八仙迷以上ニ開大シ兒頭尙

移動ス腔部存在セズ羊水多量ニ漏出ス一時五十七分腔内「タンボン」ヲ行フ三時母體脈正調充實八十五、五時十分「タンボン」ヲ除去ス出血ナク漏液ナシ内診子宮口ノ狀態前述ノ如シ兒頭ハ指壓ニヨリ尙ホ少シク壓上シ得可ク矢狀縫合ハ前後徑ニ一致シ胎兒心音著明、六時三十五分胎兒心音異常ナシ胸内苦悶不安アリ體温三十七度直ニ温電包ヲ行フ七時四十分分娩ス顔面ハ母體右大腿ノ内面ニ向ク同四十五分胎盤自然娩出ス收縮佳夏後出血ナシ

朝體温三十五度八分、脈八十至、夕體温三十七度六分、脈九十至、

十一日 患者自ラ輕快ヲ覺ユ脈正調充實、舌ニハ白苔アリ心尖心音不純、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、子宮底、恥骨縫際上四指橫徑、硬度通常、惡露血性漿液性臭氣ナシ

朝體温三十七度、脈九十至、夕體温三十八度、脈百〇二至

十二日 子宮收縮佳夏、子宮底、臍下三指橫徑壓痛アリ朝體温三十七度、脈九十至、夕體温三十七度五分、脈七十八至、尿二回、排泄量多量

十三日 一般狀態少シク佳夏トナリ食慾稍々亢進ス心、臟、濁、音、界、二、指、橫、徑、右、方、ニ、擴、張、肺、動脈、第一音不純、第二音旺盛、脈正調充實、子宮底ハ恥骨縫際上四指橫徑ニアリ壓痛アリ收縮佳夏、惡露血性漿液臭氣ナシ

朝體温三十六度七分、脈八十四至、夕體温三十七度、脈七十八至、尿量多量

十五日 一般浮腫益々減退シ脈正調充實、兩肺炎及左第二肋間腔鼓性ヲ帶テ呼吸音ニ異常

ナシ心、臍、濁、音、界、二、指、横、徑、右、方、ニ、擴、張、肺、動、脈、第、二、音、亢、進、子、宮、底、ハ、臍、ト、恥、骨、縫、隙、ノ、中、央、ニ、ア
 リ、收、縮、住、瓦、壓、痛、アリ、惡、露、血、性、漿、液、性、量、多、ク、血、塊、ヲ、出、シ、僅、カ、ニ、臭、氣、ヲ、帶、ブ
 朝、體、溫、三、十、五、度、六、分、脈、六、十、八、至、夕、體、溫、三、十、六、度、五、分、脈、七、十、八、至、便、通、一、回
 十、六、日 異常ナシ
 十、七、日 心、臟、ノ、變、化、前、ニ、同、シ、子、宮、底、臍、下、四、指、横、徑、硬、度、普、通、惡、露、漿、液、性、汚、穢、穢、色、量、多、ク、臭
 氣、ナ、シ
 十、八、日 一、般、狀、態、益、々、佳、瓦、患、者、尙、ホ、貧、血、蒼、白、腹、部、膨、滿、鼓、性、壓、痛、ナ、シ、子、宮、底、恥、骨、縫、隙、上、三
 指、横、徑、惡、露、汚、穢、色、量、多、ク、臭、氣、ナ、シ、下、肢、ニ、浮、腫、ナ、ク、臍、腸、筋、壓、痛、竝、ビ、ニ、知、覺、障、礙、ナ、シ、無、熱
 十、九、日 脈、正、調、充、實、セ、ル、モ、時、々、缺、滯、且、重、復、脈、ヲ、呈、ス、心、臟、右、界、一、指、横、徑、擴、張、肺、動、脈、第、一、音
 不、純、第、二、音、旺、盛、呼、吸、困、難、胸、內、苦、悶、等、ナ、シ、子、宮、底、ハ、恥、骨、縫、隙、上、三、指、横、徑、ニ、ア、リ、惡、露、汚、穢、臭
 氣、ナ、シ、下、肢、少、シ、ク、羸、瘦、ス、ル、モ、運、動、及、ビ、知、覺、障、礙、ナ、シ、臍、腸、筋、反、射、僅、カ、ニ、存、シ、無、熱、ナ、リ
 二、十、二、日 一、般、狀、態、佳、瓦、心、臟、濁、音、界、變、化、ナ、シ、肺、動、脈、第、二、音、少、シ、ク、旺、盛、子、宮、底、ハ、觸、知、シ、難
 ク、知、覺、異、常、ナ、シ
 二、十、三、日 四、日、間、大、便、秘、結、ス、石、輪、浣、腸、ヲ、行、フ
 二、十、五、日 脈、正、調、充、實、心、濁、音、界、變、化、ナ、ク、肺、動、脈、第、二、音、少、シ、ク、旺、盛、知、覺、異、常、ナ、シ、臍、腸、筋、壓
 痛、ナ、シ、膝、蓋、腱、反、射、亢、進、ス、下、痢、二、回
 二、十、七、日 一、般、狀、態、益、々、佳、瓦、ト、ナ、リ、心、濁、音、界、變、化、ナ、ク、心、音、著、變、ナ、シ、肺、動、脈、第、二、音、僅、カ、ニ

亢、進、セ、ル、ノ、ミ、知、覺、異、常、ナ、ク、臍、腸、筋、痛、ナ、ク、臍、腸、反、射、存、在、ス
 血、液、檢、査 赤、血、球、二、八、五、六、〇、〇、白、血、球、一、二、〇、〇、〇、兩、者、ノ、比、例、二、三、八、一
 三、十、一、日 患、者、輕、快、ヲ、覺、ユ、心、濁、音、界、變、化、ナ、ク、肺、動、脈、第、二、音、尙、ホ、僅、カ、ニ、旺、盛、ス、知、覺、異、常、ナ
 ク、臍、腸、筋、痛、ナ、シ、運、動、障、礙、ヲ、認、メ、ズ、膝、蓋、腱、反、射、亢、進、退、院
 本、例、ニ、於、テ、ハ、妊、娠、九、ヶ、月、ニ、於、テ、心、臟、性、脚、氣、ノ、症、候、ヲ、現、ハ、シ、自、然、妊、娠、ハ、中、絶、セ、ラ、レ、産、得、ニ
 入、リ、比、較、的、短、時、ニ、輕、快、シ、産、褥、第、三、週、ノ、後、ニ、於、テ、殆、ト、全、治、ス、ル、ニ、至、レ、リ

第三十一例 山本某 二十一年 工女 初妊

既往症 生來健全者患ヲ知ラズ月經初期十七年二ヶ月爾來正調二十年十一月ニシテ結
 婚シ最終月經ハ二月日不詳目下妊娠九ヶ月
 主 訴 入院分娩希望
 入 院 四十一年十月三十一日
 現 症 體格榮養共ニ佳瓦乳腺ヨク發育シ乳嘴乳暈ノ著色著明ナリ初乳ヲ壓出シ得心臟
 濁音界ノ擴張ヲ認メズ心悸亢進シ肺動脈第一音不純第二音旺盛ス兩肺異常ヲ認メズ腹
 部膨滿シ臍窩消失子宮底ハ劍狀突起下二指横徑ニアリ腹圍九十二仙迷ヲ算ス骨盤計測上
 變化ヲ認メズ兒頭ハ下方ニアリ骨盤入口上ニ輕ク固定ス胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於
 テ明ラカニ聽取シ得下肢ニハ浮腫知覺麻痺臍腸筋ノ壓痛等無ク膝蓋腱反射亦存ス尿中蛋
 白インザカン等ヲ證明セズ食慾通常大便秘結ス

入院後、經過

第十一 日 下、肢、ニ、輕、度、ノ、浮、腫、表、ハ、ル、硬、麻、(一〇〇)ヲ、内、服、セ、シ、ム

第十七 日 兩、下、肢、ニ、牽、引、性、疼、痛、ヲ、訴、フ、浮、腫、ハ、減、退、シ、兩、下、肢、知、覺、鈍、麻、シ、膝、蓋、腿、反、射、少、シ、ク、微、弱、ト、ナル

第十八 日 子、宮、底、ハ、劍、狀、突、起、下、三、指、橫、徑、ニ、下、降、シ、兒、頭、尙、ホ、少、シ、ク、移、動、ス、胎、兒、心、音、ハ、右、臍、棘、線、ニ、於、テ、著、明、ナリ

第二十八 日 兒、頭、骨、盤、入、口、ニ、固、定、ス、胎、兒、心、音、右、臍、棘、線、ニ、於、テ、著、明、ナリ

第三十六 日 心、臟、濁、音、界、ノ、變、化、無、シ、心、尖、第、一、音、不、純、肺、動、脈、第、二、音、旺、盛、ス、子、宮、底、ハ、劍、狀、突、起、下、四、指、橫、徑、ニ、在、リ、兒、頭、固、定、ス、胎、兒、小、部、分、ハ、左、方、ニ、於、テ、觸、知、ス、心、音、ハ、右、臍、棘、線、ノ、中、央、ニ、於、テ、著、明、ニ、シ、テ、膝、蓋、腿、反、射、ハ、消、失、ス、下、肢、ノ、浮、腫、増、加、セ、リ、腹、圍、九、十、四、仙、迷、尿、中、少、量、ノ、蛋、白、ヲ、證、明、ス

第六十七 日 腹、圍、百、〇、二、五、仙、迷、ヲ、算、ス、呼、吸、促、迫、ス

第七十一 日 分、娩、ス、今、日、迄、無、熱、ニ、經、過、シ、脈、搏、稍、々、頻、數、九、十、ヲ、算、ス

午後二時三十分陣痛起レルヲ以テ産室ニ移ス三時ニ於ケル外診ノ所見ハ腹部高度ニ膨滿シ臍高消失ス子宮底ハ劍狀突起下四指橫徑ニ在リ觸診スレバ直ニ子宮收縮ノ胎兒ノ部分ヲ明カニ觸知スルヲ能ハズ兒頭ハ固ク入口ニ嵌入ス心音ハ左側臍棘線ノ中央ニ在リ整調

百二十六ヲ算ス腹圍九十九五仙迷直チニ石鹼澹腸ヲ行フ陣痛發作一分五秒、間歇二十秒、同四時發作一分二秒、間歇三十秒、心音百二十五、體溫三十六度一分、四時五十分發作一分十秒、間歇二十秒、心音百二十、體溫三十六度四分、同五時二十分陣痛發作五十五秒、間歇一分十五秒、體溫三十六度六分、自然排尿アリ六時三十分體溫三十六度四分、胎兒心音百二十正調、發作五十五秒、間歇一分五秒、七時三十分發作五十五秒、間歇一分十秒、心音百二十、體溫三十六度六分、七時五十分排尿及排便アリ八時五十分發作一分、間歇三十秒、心音百二十六、體溫三十六度六分、八時三十分發作五十五秒、間歇一分十秒、心音百二十六、九時發作五十五秒、間歇一分十秒、心音百二十六、體溫三十六度七分、九時二十分自然排尿アリ九時三十分發作五十五秒、間歇五十分、心音百二十六、體溫三十六度六分、十時發作五十五秒、間歇一分五秒、十時三十分發作五十分、間歇一分十五秒、心音百二十六、十一時發作一分十秒、間歇一分、心音百二十六、體溫三十六度七分、十二時發作一分十五秒、間歇一分五秒、心音百二十六、破水、十二時十五分腹圍九十二仙迷〇時三十四分兒頭排臨ス同四十四分兒頭撥露ス同四十七分男子分娩、子宮底ハ臍下二指橫徑ニ在リ十二分後胎盤娩出ス午前三時子宮底ハ臍上二指橫徑ニ在リ硬度軟、收縮不充分、出血稍々多量直チニ、エルゴチン注射ヲ行ヒ氷電法ヲナサシム脈八十七、體溫三十六度五分

産褥ノ經過

第二 日 午前九時體溫三十六度五分、脈八十四、正午及午後六時全ク同一、脈充實緊張普通稍々頻數、心臟濁音界普通、心音第一音不純、肺動脈第二音旺盛ス子宮底ハ臍高ニ在リ惡露血性

量多量、下肢ニ軽度ノ浮腫アリ、知覺鈍麻ナク膝蓋、膝蓋、反射消失、初生兒ニハ異常ナク糞胎一同排泄シ熟睡セリ

第三日 朝體温三十六度、脈八十六、夕三十五度五分、脈八十、便通一回、麥角劑ヲ内服セシム

第四日 朝三十六度三分、脈八十八、夕三十六度六分、脈九十、腹部膨滿子宮底ハ臍高ニ在リ收縮稍々不真、惡露少量血性漿液性臭氣ナシ

第五日 朝三十六度三分、脈八十四、夕三十七度、脈八十五、便通一回、子宮底ハ臍高ニ在リ惡露多少増量シ臭氣アリクレテ氏壓出法ヲ行ヒ胎盤遺殘物ヲ壓出ス、壓出後子宮底ハ臍ト恥骨縫際ノ中央ニ在リ硬度硬ク壓痛ナシ

第六日 朝三十六度六分、脈八十八、夕三十七度五分、脈七十四、便通一回、子宮底前日ニ同シ惡露漿液血性汚穢色ニシテ其量多ク且臭氣アリ

第七日 朝三十六度五分、脈八十六、夕三十七度二分、脈七十二、便通一回、子宮底ハ臍下三指横徑ニ在リ惡露多量臭氣アリ

第八日 朝三十六度八分、脈八十、夕三十七度七分、脈九十、便通一回、惡露多量臭氣アリ外陰部ニ濕疹ヲ生ズ

第九日 朝三十七度三分、脈九十、夕三十七度八分、脈八十四、便通ナシ

第十日 朝三十六度五分、脈七十四、夕三十六度六分、脈八十、便通一回

第十一日 朝三十七度六分、脈七十九、心臟濁音界普通、肺動脈第二音ハ著シク旺盛ス、兩肺

變ナク子宮底ハ臍及恥骨縫際ノ中央ニ在リ收縮稍々不真、壓痛ナシ惡露少量臭氣甚ダシカラズ下肢ニ浮腫ナク知覺鈍麻、腓腸筋壓痛ナク膝蓋、膝蓋、反射微弱ナルモ尙僅カニ存セリ、退院ス

本例ニ、アリテハ妊娠中ノ脚氣ハ分娩期ノ近ヅクニ從ヒ其ノ症狀益々増悪シ、二分換期ニ至リ分娩ニ異常ナク産褥ニ至リ病症次第ニ輕快シ、乳兒モ亦母乳ニヨリ發育ヲ遂ゲタリ

第三十三例 松尾某 三十八歳 (五回目) 工女

既往症 分娩及産褥ノ經過普通、初潮十六年五ヶ月爾來正調四乃至五日持續、故障ナシ最終月經三十九年一月十七乃至二十二日(豫定分娩期)十月二十四日)

自覺障礙 ナシ便通四日毎ニ一回

現症 三十九年十月二十六日

身長中等體格榮養中等顔貌少シク浮腫狀ヲ呈シ全身ニハ稍々高度ノ浮腫アリ、殊ニ下肢及下腹部ニ甚ダシ、脈充實正調八〇至、心臟濁音界變化ナク一般ニ心音不純、肺動脈第二音旺盛セズ肺臟右肺尖及右背面上部ハ打診上抵抗アリ至ル所笛聲及嘖嘖音ヲ聽ク腹部著シク膨滿シ胎兒ノ部分ヲ觸知スルコト困難ニシテ胎兒心音モ亦明ナラズ知覺異常ナク腓腸筋痛ナシ膝蓋、膝蓋、反射著シク亢進シ運動障礙ナシ

尿蛋白及ビ糖ナク、インザカン少量ニ存ス糞便ニ寄生蟲卵ヲ認メズ

一、硫酸 二五・〇 稀鹽酸 一・〇 水 一〇〇・〇
二、純牛乳療法

二十七日 下痢八回、下肢浮腫大ニ減退シ膝、蓋、腱、反射、微弱トナレリ

二十八日 便通九回
二十九日 脈小、正調、浮腫減退ス腹部尚ホ膨滿シ腹壁モ亦浮腫狀ヲ呈ス胎兒臀部上方、頭部下方骨盤入口上ニ移動ス背部右、小部分左、胎兒心音左臍棘線ノ中央ニ著シ一般狀態佳良便通八回尿量増加ス

三十日 午前六時三十分破水、八時五分排胎、同六分撥露、同七分娩出、同十分胎盤母體面ヲ以テ生ル子宮底臍下三指横徑、收縮佳良、後出血ナシ、破水後胎盤娩出迄一時五十分
初生兒ハ母乳ヲ與ヘタリ

體重第一日三三四〇瓦、第三日三一六〇瓦、第七日三二二〇瓦、母體ハ脈正調充實ス舌苔ヲ被ル心濁音變化ナシ一般ニ心音不純、肺動脈第二音旺盛セズ兩肺管聲ヲ聽ク打診上變化ナシ腹部尚ホ膨滿シ腹壁浮腫狀ヲ呈ス子宮底臍高、硬度硬シ壓痛アリ惡露血性量中等臭氣ナシ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ知覺障礙ナシ膝、蓋、腱、反射、弱ク運動障礙無シ便通三回、脈七二至、體溫三十六度

三十一日 浮腫著シク減退ス腹壁ノ浮腫尚ホ存ス脈正調充實徐々、心音不純、肺動脈第二音旺盛セズ兩肺管聲啞軋音ヲ聽ク子宮底臍下三指横徑、硬度中等、惡露漿液性、多量、臭氣ナシ、下

肢ノ浮腫全ク去レリ知覺障礙ナク膝、蓋、腱、反射、弱シ
無熱、朝脈八十至、夕八十四至、便通三回

十一月一日 脈充實正調舌苔ナシ心濁音界變化ナク心音著變ナシ肺、動脈、第二音僅ニ旺盛ス、兩肺管聲及ビ啞軋音ヲ聽ク腹部膨滿ス子宮底臍下四指横徑收縮不全、硬度軟、惡露白色、漿液性、量中等、臭氣ナシ排腸筋痛ナシ膝、蓋、腱、反射、弱

朝體溫三十七度、脈七十四至、夕體溫三十七度三分、脈八十至、便通一回
處 置

一、麥角 五・〇 稀鹽酸 一・〇 苦味丁幾 一・〇
水 一〇〇・〇

二日 朝體溫三十六度三分、脈七十一至、夕體溫三十六度二分、脈七十一至、便通一回

三日 朝體溫三十六度、脈八十至、夕體溫三十六度六分、脈七十二至、便通二回

四日 兩肺管聲啞軋音ヲ聽ク子宮底臍骨縫際上四指横徑、惡露血性、漿液性、量中等臭氣ナシ
朝體溫三十六度五分、脈七十四至、夕體溫三十六度二分、脈八十至、便通二回

五日 著變ナシ脈充實正調、心濁音變化ナク心音著變ナシ兩肺管聲啞軋音ヲ聽ク腹部ハ球形ニ膨滿シ子宮底臍骨縫際上三指横徑、惡露血性、多量、收縮少シク不良、臭氣ナシ下肢ニ浮腫アリ、腓腸筋壓痛ナシ膝、蓋、腱、反射、甚ダ、微弱トナリ、知覺及ビ運動ノ障礙ナシ
朝體溫三十六度、脈七十八至、夕體溫三十六度九分、脈八十至、便通三回、退院ス

本例ニアリテハ妊娠末期ニ於テ水腫性脚氣ノ症狀ヲ現ハセシモ入院後下劑奏效シ浮腫減退正規分娩ヲ遂ゲ爾後浮腫殆ンド全ク消失シ慢性神經性脚氣ノ症候ヲ遺セリ初生兒ハ一ニ母乳養ヲ受ケシモ何等故障ナカリシ以上ノ數例ヲ以テ見レバ脚氣症狀ノ進行中ニアルモノニ於テハ假令母體脚氣症狀僅微ナルモ乳兒ノ受ケル害大ナルガ如ク脚氣病勢退行期ニアルモノハ外見上母體脚氣症狀顯著ナルモ乳兒ニ及ボス害少ナキニハアラザルヤ

第三十五例 淺野某 二十二年

血族遺傳ノ證明スベキナシ生來健全著患ヲ知ラズ七ヶ年前熱性病ニ罹リタルコトアリ月經初潮ハ十七年爾來正調障礙ナシ一回分娩ス最終月經ハ昨年六月ナリ

現症 三十八年五月十七日

體格榮養共ニ佳良身長大筋肉ノ發育亦佳良ナリ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ全身ニ發疹ナシ右肺炎及ビ右肺背面上部ニ抵抗アリ呼吸延長シ銳利ナリ心臟濁音界變化ナク子宮底ハ臍ト劍狀突起ノ中央ニアリ頭部下骨盤上口ニ固定ス胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ著シ尿中蛋白「インゲカン」等ヲ證明セズ便中蛔蟲卵多々存在ス

六月十一日 午後十一時小兒安産ス五分ノ後胎盤娩出ス特記スベキ故障無シ

十七日 特記スベキ自他覺的障礙ナク便通ナシ

二十六日 十八日以來臍腸部及ビ大腿後面ニ於テ知覺ノ痴鈍ヲ自覺シ下肢ノ疲勞ヲ覺ユト同時ニ食慾減退シ大便便秘セリ其後下肢ニ輕度ノ浮腫顯ハレ前夜來心悸亢進呼吸促進

ヲ來セリ

顔貌浮腫狀ヲ呈シ眼瞼腫脹ス舌ハ乾燥シ白色ノ苔アリ下肢亦輕度ノ浮腫アリ全身發疹ヲ認メズ脈正調可ナリ緊張スルモ時々疾速トナリ百十六至ヲ算ス肺臟右肺炎及右肺背面ノ上部打診上抵抗アリ呼吸ノ延長アルモ水泡音ヲ聽カズ心尖搏動ハ第四肋間ニ於テ乳線ノ内方ニアリ心臟濁音界上方第二肋骨ノ下緣右ハ胸骨ノ中央左ハ普通心尖第一音不純肺動脈縮期ノ雜音ヲ聽キ第二音ハ旺盛ス肝脾觸知セズ腹部ハ可ナリ膨滿ス子宮底ノ恥骨縫際上四指横徑ノトコロニアリ壓痛ナシ惡露多量臭氣アリ尿中ニ蛋白「インゲカン」ヲ證明セズ膝蓋腱反射ハ消失スフヒリス腱反射亦タ消失

處置

一、水経百條胸部貼用

二、石炭酸水ノ腔洗滌

三、硫麻 二五〇 稀鹽酸 一〇〇 「ストロファンツス」丁幾 一〇〇 水 一〇〇〇

右一日三回食後一時間内服

四、麥角浸(四〇) 一〇〇〇 苦味丁幾 一〇〇

右一日四回分服

病歴

二十七日 脈ハ頻數細小ナルモ一般ニ稍々佳良ナリ胸内苦悶亦輕快ス水蛭百條ヲ胸部ニ貼ス

二十八日 異常無シ便通ナシ

二十九日 同 便通一回

三十日 數回下痢アリ下肢全ク弛緩性麻痺ヲ來セリ體溫普通朝脈搏九十至夕八十五至

七月一日 體溫三十六度二分脈九十至夕體溫三十六度五分脈百至下痢五回

二日 體溫三十六度五分脈八十二至夕體溫三十七度脈百至便通五回

三日 顔貌尙ホ浮腫狀ヲ呈シ脈軟頻數肺動脈第一音不純第二音旺盛膝蓋髓反射全ク消失兩下肢弛緩性麻痺アリ子宮底觸知スベカラズ再ビ血性分泌物ヲ排泄ス

朝體溫三十六度五分脈百二十至夕體溫三十七度七分脈百三十四至便通一回

四日 朝體溫三十六度三分脈百十至夕體溫三十六度二分脈百二十至便通ナシ

五日 朝體溫三十六度五分脈九十六至夕體溫三十六度二分晚九十六至

六日 朝體溫三十六度八分脈百至夕體溫三十七度二分脈百十四至便通一回

七日 一般狀態益々佳良トナル

朝體溫三十七度脈九十四至夕體溫三十七度脈九十八至便通一回

八日 呼吸困難胸内苦悶再ビ顯ハル水蛭二百條ヲ胸部ニ貼シ生理的食鹽水五〇〇瓦ヲ皮下ニ注入ス其後患者少シク輕快ヲ覺ユト

朝體溫三十六度八分脈九十至夕體溫三十六度八分脈百十至便通ナシ

九日 午前八時角膜潤濁シ光澤ヲ失ヒ高度ノ呼吸困難及胸内苦悶再ビ顯ハル脈細小頻數心音次第ニ微弱トナリ午前十時三十分遂ニ死亡セリ當時體溫尙ホ三十六度八分ヲ示セリ剖檢的所見 心囊ヲ開クニ内ニ透明黃色ノ液約五十瓦ヲ入ル心臓ハ增大シ右室ハ肥大擴張ス兩心室ノ壁ハ同シ厚サヲ有ス右心室ニ於テ暗褐色參兒樣流動性血液ノ大量ヲ入ル左心室ニ於テモ亦同様ノ血液ノ少量ヲ入ル心筋蒼白軟黃染ス漿液滲潤アリ瓣膜裝置異常ナシ心冠狀動脈著變ナシ大血管ヨリハ暗褐色參兒樣流動性血液ヲ流出ス

肺臟充血シ且ツ浮腫狀ヲ呈ス壓搾ニヨリテ暗赤色汚穢ナル泡沫液ヲ出ス脾臟少シク腫大シ其實柔軟ナリ

診斷(病理解剖上) 心臟右室ノ擴張肥大心筋輕度ノ脂肪變性肺水腫鬱血肝胃腸ノ鬱血脾臟輕度ノ水腫蛔蟲

本例ニ於テハ妊娠末期ニハ脚氣ト診斷ヲ下スベキ特徵ナク分娩亦容易ニシテ産褥ニ入り急ニ急性心臟性脚氣ノ症狀ヲ現ハシ該症狀ハ一時輕快セシモ再三反復シ來リ遂ニ心臟麻痺ニ陥レリ

第三十六例 森野某 二十五歲 經妊婦

父ハ不明ノ疾病ニ斃レ母ハ健存ス生來健全月經初潮ハ十六年最終月經ハ三十九年二月中旬自覺的障礙ナシ

現症 三十九年九月二十二日

體格榮養共ニ中等顔貌異常ナク下肢ニ輕度ノ浮腫アリ發疹ナシ脈正調充實右肺尖打診上抗抵アリ呼吸延長呼吸音銳利ナリ右肺背面上部亦呼吸延長呼吸音粗裂トナルモ水泡音ヲ聽カズ右肺背面前方ハ呼吸音微弱ナリ心臟濁音界變化ナク肺動脈第二音ハ僅カニ亢進ス腹部膨滿臍窩尙ホ存ス子宮底ハ劍狀突起下三指橫徑ノ所ニアリ頭部下方骨盤上口ノ上ニアリテ尙ホ移動ス頤部左項部右胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ明カナリ腓腸筋ノ壓痛ナク知覺異常ナシ膝蓋腱反射亢進便秘セリ尿中蛋白質糖インゲンカンヲ證明セズ骨盤計測上異常ヲ認メズ夕體溫三十六度九分脈七十八至、便通一回

處方

一、硫酸 二〇・〇 稀鹽酸 一・〇 水 一〇〇・〇

右一日三回食後一時間

二十四日 心臟ノ濁音界ニ變化ナク頭部ハ尙ホ下方ニ移動シ大部分左小部分右胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ明カナシテ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ知覺異常ナシ腓腸筋壓痛ナシ
二十五日 心臟濁音界普通肺動脈第二音旺盛ス下肢ニ輕度ノ浮腫アリ膝蓋腱反射弱ク下肢ニ知覺異常ナシ脈九十至
二十七日 兒頭尙移動ス胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ聽ク下肢ハ浮腫増加シ且下肢ニハ

輕度ハ知覺異常ヲ現シ其他腓腸筋壓痛アリ腱反射亢進ス脈八十六至、便通二回脚氣ノ初期
二十九日 右肺尖及右肺背面上部ハ呼吸延長シ呼吸音銳利トナル心臟濁音界ニ變化ナシ心尖第一音及肺動脈第一音不純同第二音亢進ス腎部上方頭部下方尙ホ移動ス胎兒心音ハ兩側ニ於テ明カニ聽取シ得ベシ下肢ニ輕度ノ浮腫及知覺異常アリ膝蓋腱反射ハ亢進ス無熱便通二回

十一月一日 脈正調充實心臟濁音界變化ナク肺動脈第一音不純第二音少シク亢進ス肺臟前日ノ如ク子宮底ハ劍狀突起下四指橫徑ニ在リ腎部上方頭部下方尙ホヨク移動ス頤部左項部右胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ明カナシテ下肢ニ浮腫アリ腓腸筋壓痛益々強シ無熱朝脈九十至、夕八十四至、便通三回
四日 肺動脈第二音著シク亢進シ頭部下方骨盤入口ニ固定ス胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ明カナリ

本朝輕度ノ陣痛アリ午後十時產室ニ移ス
外診 子宮底臍上四指橫徑、腎部上方、頭部下方深ク骨盤入口ニ固定ス頤部、項部不明、胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ明カナシテ陣痛發作四十秒、間歇三分、午後十一時石鹼浣腸ヲ行ヒ同十分兩便排泄ス同十六分胎兒心音百三十二正調
內診 腔部ハ尙ホ存在シ子宮口ハ七仙迷開大卵胞存セズ先進部ハ頭部ニシテ骨盤入口ニ固定ス、大頸門ヲ觸レズ、小頸門ハ左後方ニアリ矢狀縫合ハ第一斜徑線ニ一致ス

五日 午前三時六分兒頭排臨、同十六分接露、次テ兒頭娩出シ顔面ハ母體左脚ノ内面ニ向フ
 次同ノ陣痛ニヨリ驅幹娩出セリ
 初生兒 全ク弛緩シ、心音ヲ聽カズ
 三時四十二分胎盤兒體面ヲ以テ生ル子宮底臍下三指横徑、收縮佳、其後出血ナシ
 死胎兒(女) 身長五〇仙迷、體重二五一七瓦、
 臍帶一回頸部ニ纏絡ス胎盤異常ナシ
 剖檢上ノ所見(田中教諭執刀) 體格榮養中等ノ一女兒死硬ハ既ニ融解ス皮膚赤色ヲ呈シ死
 斑ノ發生著明ナリ皮下脂肪織ハ適當ニ發育ス腹腔ヲ開クニ赤褐色ノ液少量ヲ入ル胸腔ニ
 於テモ亦同様ノ液少量ヲ入ル心囊ヲ開クニ著變ナシ右心室ハ擴張ス、兩心室内ニハ流動性
 血液ハ大量ヲ入ル心瓣膜裝置異常ナシ兩心室壁ノ厚ハ同様ナリ室壁ノ肥厚ヲ認メズ肋膜
 下ニ於テ大小諸種ナル出血斑ヲ認ム肺臟ハ血液ニ富ムノ外著變ナシ兩腎、肝臟、腦髓共ニ亦血液ニ富ム
 針頭大ノ出血點ヲ認ム脾臟ハ血液ニ富ムノ外著變ナシ兩腎、肝臟、腦髓共ニ亦血液ニ富ム
 診斷 諸臟器ノ鬱血、肋膜下ノ出血、血液ノ流動性、窒息死
 五日 脈正調充實、心臟濁音界變化無シ肺動脈第一音不純、肺動脈第二音旺盛、兩肺ハ一般
 ニ呼吸音微弱、腹部膨滿、子宮底臍上二指横徑ニアリ壓痛無シ收縮不全、硬度普通、惡露血性、量
 多ク臭氣ナシ
 血液検査 赤血球三七六四〇〇〇、白血球二八〇〇〇、兩者ノ關係一三四・一、血色素八〇%

朝體溫三十六度四分、脈九十至、夕體溫三十六度八分、脈九十至、便通ナシ
 六日 朝體溫三十六度一分、脈九十至、夕體溫三十六度一分、脈九十至、便通無シ
 七日 脈正調充實、多少類數、心臟濁音界ノ變化ナク心尖部ニ縮期ノ雜音ヲ聽キ肺動脈第一
 音不純、第二音旺盛、兩肺一般呼吸音微弱、子宮底臍下一指横徑、收縮不其僅ニ移動シ壓痛アリ
 惡露血性、量可ナリ多量ナルモ臭氣ナシ、下肢ニ浮腫アリ腓腸筋痛著ルシ、膝蓋腱反射亢進ス
 朝體溫三十六度八分、脈百〇八至、夕體溫三十七度四分、脈百二十至、便通ナシ
 八日 心臟濁音界變化ナシ肺動脈第一音不純、第二音旺盛、下肢ノ浮腫著シク増加シ腓腸筋
 壓痛激シク膝蓋腱反射亢進、子宮底臍下二指横徑、壓痛アリ惡露血性、量中等臭氣ナシ
 朝體溫三十六度七分、脈百〇八至、夕體溫三十六度九分、脈九十八至、便通ナシ
 九日 乳房強ク緊滿シ初乳ヲ壓搾シ得ベシ心臟濁音界ハ一指横徑右方ニ擴張ス肺動脈第
 一音不純、第二音旺盛、其他前日ニ同シ
 朝體溫三十五度八分、脈七十六至、夕體溫三十七度一分、脈八十二至、便通一回
 十日 脈正調充實、心臟濁音界僅カニ右方ニ擴張ス、心尖部ニ縮期ノ雜音ヲ聽キ肺動脈第一
 音不純、第二音旺盛、兩肺一般呼吸音微弱ニシテ腹部ハ可ナリ膨滿ス子宮底臍下三指横徑
 收縮佳、其少シク壓痛アリ惡露血性、漿液性、量中等臭氣無シ下肢ニ高度ノ浮腫アリ僅カニ腓
 腸筋壓痛ヲ訴フ膝蓋腱反射消失ス
 朝體溫三十六度、脈百至、夕體溫三十七度、脈九十至、便通一回

十一日 下肢ノ弛緩性麻痺ヲ來セリ
 朝體溫三十五度六分、脈八十八至、夕體溫三十六度八分、脈百〇二至、便通一回
 十二日 全身ニ高度ノ浮腫アリ、顔貌浮腫狀、口唇チアノ、舌呈ス、舌苔ナシ、心臟濁音界二指、横徑右方ニ擴張ス、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、右肺背面下方呼吸音微弱、腹部膨滿波動アリ、下肢ニ弛緩性ノ麻痺現ハル、子宮底ハ恥骨縫際上三指、横徑、膝蓋、反射消失、シ口圍ニ輕度ノ知覺鈍麻アリ、朝體溫三十六度五分、脈百〇五至、夕體溫三十六度四分、脈百至、便通ナシ、石鹼澀腸ヲ行フ
 血液検査 赤血球三三二四〇〇、白血球一二〇〇〇、兩者ノ比例二九三一、血色素量七〇%
 十三日 全身高度ノ浮腫、心臟濁音界二指、横徑右方ニ擴張ス、心尖第一音不純、肺動脈第一音雜音、第二音旺盛、子宮底恥骨縫際上二指、横徑、收縮稍々不全、下肢ノ浮腫著明、膝蓋、反射消失、腓腸動脈壓痛甚ダシ、下肢ニ輕度ノ知覺鈍麻、且運動ノ障礙ヲ來セリ、上肢ノ反射異常ナシ、尿中蛋白ナク、インヂカカン著明、惡露白色漿液性、中量臭氣ナシ、便通一回、巴豆油一滴ヲ内服セシム
 十四日 脈正調充實、一般高度ノ浮腫アリ、心臟右界擴張ス、心尖第一音及肺動脈第一音不純、第二音旺盛、兩肺至ル所、筒聲、呼吸音ヲ聽取ス、子宮底臍下三指、横徑、惡露白色漿液性、量多ク臭氣ナシ、腓腸筋ノ壓痛甚シク、膝蓋、反射消失
 朝體溫三十六度五分、脈百至、夕體溫三十七度、脈百至、便通一回
 十五日 尿量増加シ、浮腫亦少シク、輕快シ、一般狀態稍々輕快セルモノノ如シ

朝體溫三十六度五分、脈九十三至、夕體溫三十六度八分、脈九十三至、尿中蛋白ナク、インヂカカン著明

十六日 一般浮腫輕減ス、舌ニハ僅カニ白苔アリ、子宮底恥骨縫際上三指、横徑ニアリ、收縮佳、其惡露白色漿液性、少量臭氣ナシ、腓腸筋ノ壓痛アリ、膝蓋、反射消失、下肢全ク麻痺セリ、無熱、朝脈六十六至、夕七十六至、便通ナシ
 十七日 一般狀態益々佳、耳トナル、心臟濁音界ハ胸骨ノ中央ニ及ビ、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、下肢ニ知覺鈍麻アリ、腓腸筋壓痛尙ホ存シ、膝蓋、反射消失、無熱、肺ニ著變ナシ、石鹼澀腸ヲ行フ
 十九日 一般狀態益々佳、耳トナル、腓腸筋ノ壓痛甚ダシク、下肢ニ輕度ノ知覺鈍麻アリ、膝蓋、反射消失、下肢ニハ尙ホ運動麻痺アリ、無熱、著變ナシ、便通一回
 處 置 沃度加里 「ストロファンツ」丁幾
 二十日 硝酸ストリヒニン〇〇〇五ヲ注射ス
 二十一日 心臟濁音界變化ナク、子宮底ハ之ヲ觸知シ、雜ク惡露漿液性、臭氣ナシ、肺動脈第一音稍々不純、第二音僅カニ亢進ス、下肢ニハ浮腫ナク、腓腸部大腿後面及ビ内面ノ筋肉ニ壓痛アリ、下肢麻痺シ、運動麻痺アリ、膝蓋、反射消失、無熱、脈搏ニ變化ナク、便通ナシ
 處 置 硝酸ストリヒニン〇〇〇五ヲ注射ス
 二十三日 脈正調充實、心臟濁音界變化ナシ、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、肺臟著變ナシ、腹

部亦然リ子宮底不明、惡露白色少量臭氣ナシ下肢ニ浮腫ナク腿、反射、尙ホ表ハレズ、兩下肢ニ弛緩性麻痺アリ、無熱、朝脈九十至、夕百至、石鹼澆腸ヲ行フ

二十三日 無熱、朝脈六十六至、夕八十四至

二十四日 下肢ノ麻痺尙ホ去ラザルモ多少輕快シ、膝蓋、腿、反射ハ消失セリ、便通ナシ

處 置 硝酸ストリヒニン 0.005 ヲ注射ス

二十五日 心臟濁音界變化ナシ肺動脈第二音少シク亢進ス、腓腸筋痛アリ腿反射消失シ下肢尙ホ麻痺セリ

便通一回

二十六日 心臟濁音界變化ナク心音亦著變ナシ下肢ニ弛緩性麻痺アリ、浮腫ナク、知覺ノ鈍麻ナク腓腸筋ノ壓痛甚ダシク膝蓋腿反射消失ス、便通一回

二十七日 硝酸ストリヒニン 0.005 ヲ注射ス

二十八日 下肢ノ運動麻痺稍々輕快シ多少牀上ヲ推移スルコトヲ得ルニ至レリ

朝體溫三十六度六分、脈九十至、夕體溫三十六度七分、脈九十至、便通一回

三十日 硝酸ストリヒニン 0.005 ヲ注射ス

三十一日 脈正調充實、舌ニ白苔アリ肺臟右肺尖及右肺背面上部呼吸延長ス水泡音ヲ聽カズ心濁音界變化無ク肺動脈第二音稍々旺盛シ、腹部ハ僅カニ膨滿セシモ異常ナシ下肢ニ浮腫無ク膝蓋、腿、反射消失シ、腓腸筋痛尙甚ダシク、患者ハ介補ニヨリ少シク歩行シ得ルモ歩

行ニ際シ腓腸筋ノ緊滿ヲ感ズ便通一回

二日 硝酸ストリヒニン 0.005 ヲ注射ス

五日 右肺尖及右肺背面上部呼吸延長呼吸音粗裂ナルモ水泡音ヲ聽カズ心濁音界普通、肺動脈第一音不純、第二音少シク旺盛ス下肢ニ浮腫ナク歩行少シク容易トナル腓腸筋ニハ尙ホ壓痛アリ、脈九十六至、無熱

退 院

本例ニ於テハ妊娠末期入院時ニアリテハ肺動脈第二音ノ僅カニ亢進、下肢ニ輕度ノ浮腫ヲ認ムルノ外他ニ脚氣ト認ムベキ症候ヲ見出サザリシガ入院後二三日ニシテ下肢ノ浮腫増加、知覺鈍麻シ、肺動脈音著シク旺盛シ漸ク輕症脚氣症狀ヲ呈スルニ至リ分娩時ニ於テハ娩出期ノ短キニ胎兒心音急ニ不齊トナリ遂ニ死胎兒ヲ娩出セリ、産褥第七日頃ヨリ下肢ノ浮腫次第ニ増加シ心臟濁音界右方ニ擴張スルヲ認メ全身ニ浮腫ヲ來シ二三日前途亢進セシ膝蓋腿反射ハ遂ニ消失シ下肢全ク弛緩シ口唇チアノーゼヲ呈シ肺水腫ノ状態ヲ現ハシ一時危險ニ陥リシモ産褥第十六日頃ヨリ次第ニ輕快シ浮腫去リ一般症狀佳良トナリ神經性脚氣ノ症狀ヲ遺シ一ヶ月ノ後漸ク歩行シ得ルニ至レリ

第三十七例 相樂某 二十三歲 車夫の妻 初妊

既往症 月經初潮十三年四ヶ月爾來正調四五日持續月經障礙ナシ十八年七ヶ月ニシテ結婚ス最終月經ハ七月二十九日ニシテ目下妊娠十ヶ月分娩豫定期五月六日

主訴 入院分娩希望

入院 明治四十三年四月十八日

現症 體格榮養共ニ中等、下肢ニ浮腫ナク、脈搏七十五、正調充實ス、乳腺ノ發育佳良ニシテ、乳嘴乳暈ノ著色著明、初乳ヲ壓出シ得、心臟濁音界ノ擴張ヲ認メズ、心尖第一音不純、右肺炎呼吸延長且粗裂ニシテ、腹部膨滿シ、腹圍八十八仙、迷ヲ算ス、臍窩消失シ、子宮底ハ臍及劍狀突起ノ中間ニ在リ、兒頭ハ骨盤入口ニ固定シ、胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ明カニ聽取シ、其數百三十四、下肢ニハ知覺ノ鈍麻、腓腸部壓痛、下肢ノ運動麻痺等ヲ認メザルモ、膝蓋腱反射ハ消失セリ、食慾通常、便通毎日一回、蠕蟲卵ヲ認ム、尿ハ極少量ノ蛋白及ビ著明ノインゲンチンヲ證明ス、骨盤計測上異常ヲ認メズ、
入○院○後○ノ○經○過○

第五日 心臟濁音界ノ擴張ヲ認メザルモ、肺動脈、第二音ハ著シク旺盛シ、且ツ不純ナリ、下肢ニ輕度ノ知覺鈍麻ヲ認メ、膝蓋腱反射ハ消失ス、心悸亢進脈搏頻數トナリ、九十五乃至百至ヲ算ス、體溫三十七度以下
第十二日 下肢ニ輕度ノ浮腫アリ、指壓痕ヲ留ム、知覺鈍麻益々著明トナレリ、而シテ時々陣痛發作アリ、腹部ヲ觸診スレバ直ニ子宮收縮ヲ來ス、
分○娩○ノ○經○過○
破水後五十三分ニシテ成熟女兒ヲ娩出シ、七分後胎兒面ヲ以テ胎盤娩出ス、子宮收縮佳良ニ

シテ後出血無シ
産○褥○ノ○經○過○

第一日 午前九時體溫三十六度二分、脈百、正午體溫三十七度二分、脈八十五、午後六時三十七度、脈九十六、心臟濁音界ノ擴張ヲ認メザルモ、心尖第一音及肺動脈第一音ハ不純ニシテ、心尖第二音及ビ肺動脈第二音ハ著シク旺盛ス、子宮底ハ臍及ビ恥骨縫際ノ中央ニ在リ、硬度稍々硬ク、僅カニ壓痛アリ、惡露血性臭氣無ク、量稍々多量、下肢ニハ浮腫尙ホ僅カニ存シ、膝蓋腱反射消失ス、便通ナシ

第二日 無熱、脈頻數、九十乃至九十五、子宮底ノ高サ前日ニ同シ、惡露血性多量、授乳セシム
第三日 無熱、脈頻數、子宮底臍上四指橫徑、惡露漿液血性多量、汚穢色ヲ呈シ、惡臭ヲ帶ブ、自然便通一回、下肢ノ浮腫減退ス

第四日 著變ナシ、乳房緊滿疼痛ヲ訴フ

第五日 著變無シ、初生兒黃疸ヲ起ス

第六日 無熱、脈頻數、子宮底臍上四指橫徑、收縮不充分、硬度稍々軟、壓痛ナシ、惡露漿液性臭氣ヲ放ツ、家事上ノ都合ニヨリ退院ス
本例ハ入院後輕症ノ脚氣ヲ發セシモノナルガ、妊娠分娩及ビ產褥ニ於テ著變ヲ來サズ、好經過ヲ執リシモノナリ

第三十八例 村井某 二十三年 農 初妊

既往症 十三年十月月經初潮不順ナリ十二月末ヨリ月經閉止ス目下妊娠十ヶ月ナリ
主訴 頭痛、身體違和、倦怠、歩行障礙等
入院 四十三年九月十日

現症 體格中等、榮養不長、顔面蒼白、貧血ヲ呈ス、舌ニ白苔アリ、乳房發育佳、乳嘴乳暈ノ著
色著シク、初乳ヲ分泌ス、脈細小、頻數時々不正トナリ、心臓濁音界ハ僅カニ、右方ニ擴張ス、心悸
亢進シ、肺動脈第二音ハ著シク旺盛、右肺尖抵抗アリ、呼吸延長ス、腹部膨滿シ、腹圍八十五仙迷
ヲ算ス、子宮底ハ臍下劍狀突起ノ中央ニ在リ、兒頭ハ骨盤入口ニ固定ス、胎兒心音ハ正中線ニ
於テ著明ナリ、知覺異常、膀胱筋壓痛等無ク、輕度ノ浮腫アリ、膝蓋腱反射亢進ス、骨盤計測上異
常ヲ認メズ、便通毎四日一回、尿中少量ノ蛋白ヲ證明ス
入院後ノ經過

九月三十一日、十月一日、二日ハ毎夕三十八度ニ發熱シ、咳嗽アリ、左肺上部ニ於テ盛ニ雷聲
軋音ヲ聽ク、其他ハ全ク無熱ニ經過シ、脈搏頻數細小、九十乃至百十ヲ算ス、疏麻八〇五ヲ持續
シ、便通一二回アリ、四十二日目ニ分娩開始ス
分〇〇〇〇
分〇〇〇〇
分〇〇〇〇

十月二十一日 午前ヨリ時々輕度ノ陣痛アリ、午後産室ニ移ス、同二十五分石鹼浣腸ヲ行ヒ
同時ニ導尿ノ後、外陰部消毒ヲ行フ、四時四十分胎兒心音百三十八、陣痛發作一分、間歇二分、陣
痛力甚ダ微弱ナリ、六時四十三分間歇四十秒、發作一分二十秒、胎兒心音百二十、陣痛強盛トナ

ル十時二十分破水、同五十五分女兒第一後頭位ヲ以テ分娩ス、第二度ノ會陰破裂ヲ起セリ、子
宮底ハ臍高ニ在リ、十一時十五分稍々多量ノ出血アルヲ以テ直チニ胎盤壓出法ヲ行フ、後産
娩出後、子宮底ハ臍下二指横徑ニ在リ、硬度軟、收縮不充分、分娩後體温三十六度、脈百四
産後ノ經過

二十二日 午前九時三十五度、脈百八、正午三十五度二分、脈百八、午後六時三十六度、脈百八、便
通二回、顔面蒼白、脈時々不正トナリ、肺動脈第二音旺盛、子宮底臍高、惡露血性、多量

二十三日 朝三十六度、脈百四、夕三十六度、脈百四、便通無シ

二十四日 朝三十六度三分、脈八十四、夕三十六度、脈八十四、便通三回、子宮底ハ臍下三指横徑
ニ在リ、テ壓痛アリ、惡露血性、多量、汚穢色ヲ呈ス、臭氣アリ

二十五日 朝三十六度、脈九十、夕三十七度三分、脈九十六、便通二回、子宮底ハ臍下三指横徑ノ
中央ニ在リ、惡露多量、汚穢色ヲ呈シ、臭氣アリ

二十六日 午前九時體温三十七度二分、脈九十、正午三十七度、脈八十四、午後三時三十八
度七分、脈百八、六時三十七度八分、脈九十八、九時三十六度五分、脈九十九、會陰縫合部ノ拔絲ヲ
ナシ次ギテ二%石炭酸水ノ腔洗滌ヲ行フ、兩肺全面ニ亘リ雷聲軋音ヲ聽ク

二十七日 朝三十六度六分、脈九十四、夕三十七度二分、脈九十四、便通二回、子宮底ハ臍下
四指横徑ニ在リ、壓痛無シ、惡露多量、血性、汚穢色ヲ呈ス、臭氣アリ

二十八日 朝三十六度五分、脈百八、夕三十七度八分、脈九十、便通二回、子宮收縮佳、兩肺尚

ホ笛聲及呻吟音ヲ聽ク歩行障礙著シク輕快ス初生兒ハ母乳榮養ヲ行ヒシモ何等障礙ヲ來サザリシ

二十九日 朝三十六度脈百、退院ス

本例ハ妊、娠、中、輕、度、ノ、脚、氣、ニ、罹、リ、シ、モ、分、娩、後、產、褥、ニ、テ、脈、搏、ノ、増、加、竝、ビ、惡、露、ノ、異、常、ヲ、見、タ、ル、外、著、明、ナル、障、害、ヲ、來、サ、ザ、リ、シ、モ、ナ、リ

第四十例 杉田某 二十四年 初妊

既往症 十五年月華來潮爾來正調四―五日間持續、量多量、輕度ノ下腹鈍痛ヲ訴フ二十三年三月月婚嫁シ三月十四日以來月經閉止ス而シテ現時妊娠十ヶ月ノ始メナリ

主 訴 下腹ノ浮腫、身體違和倦怠

入 院 四十五年二月六日

現 症 體格榮養共ニ中等、顔面潮紅、舌苔無シ乳房發育佳、初乳ヲ分泌ス心臟濁音界明ラカナラズ心音ハ不純、肺、動、脈、第、二、音、ハ、旺、盛、シ、右、背、肺、面、ノ、下、部、輕、濁、音、ヲ、呈、シ、呼、吸、音、微、弱、ナリ腹圍八十四、五仙迷ヲ算ス子宮底ハ劍狀突起下三指橫徑ニ在リ兒頭下方ニ在リテ尙ホ少シク移動シ頤部ヲ右方ニ觸知シ胎兒心音ハ左腋棘線ノ中央ニ於テ著明ニ聽取ス下、肢、ニ、浮、腫、アリ、膝、蓋、腫、反、射、ハ、著、シ、ク、亢、進、ス、便、秘、シ、尿、中、蛋、白、ヲ、證、明、ス、硫、麻、二、〇、〇、瓦、ヲ、內、服、セ、シ、メ、牛、乳、日、々、四、合、宛、ヲ、與、フ

入○院○後○ノ○經○過○

九日 下腹ノ浮腫漸次減退シタルモ下腹ニ知覺鈍麻表ハレタリ便通四回

十六日 心、臟、濁、音、界、右、方、ニ、僅、カ、ニ、擴、張、ス、心、尖、第、一、音、不、純、肺、動、脈、第、二、音、旺、盛、ス、時、々、子、宮、收、縮、ヲ、起、ス

二十三日 心、臟、濁、音、界、ハ、一、指、橫、徑、右、方、ニ、擴、張、ス、兒、頭、骨、盤、入、口、ニ、固、定、ス、腓、腸、筋、ニ、壓、痛、アリ

入院後第二十四日分娩ス今日ニ至ル迄全ク無熱ニ經過シ脈搏ハ八十乃至九十ノ間ニ在リ便通ハ三乃至五回アリ絶エズ硫麻二〇〇瓦ヲ分服セシメシモ下、肢、ノ、浮、腫、ハ、全、ク、消、退、ス、ル

ニ、至、ラ、ズ、分、娩、行、過

三月一日 午前十一時五十五分病室ニ於テ破水ス直チニ産室ニ移ス陣痛甚ク強盛、零時十五分、カ、テ、ー、テ、ル、導、尿、ヲ、行、フ、一、時、五、十、分、兒、頭、排、臨、ス、之、ノ、頃、ヨ、リ、陣、痛、次、第、ニ、微、弱、ト、ナ、リ、間、歇、長、ク、發、作、短、カ、ク、且、シ、弱、ク、ナ、レ、リ、胎、兒、心、音、ハ、百、四、十、時、々、不、正、ト、ナル、硫、酸、ヒ、ニ、一、ン、〇、五、ヲ、頓、服、セ、シ、ム、同、五、十、五、分、發、作、三、十、五、秒、間、歇、一、分、二、時、七、分、胎、兒、心、音、不、良、ト、ナ、リ、シ、テ、以、テ、壓、迫、ヲ、加、ヘ、タル、ニ、輕、度、ノ、假、死、ヲ、以、テ、生、ル、數、回、人、工、呼、吸、法、ヲ、行、ヒ、漸、ク、ニ、シ、テ、蘇、生、セ、リ、第、二、度、ノ、會、陰、破、裂、ヲ、ナ、セ、シ、テ、以、テ、會、陰、縫、合、ヲ、行、フ、初、生、兒、ニ、ハ、左、顳、頂、骨、ニ、頭、血、腫、ヲ、發、生、セ、リ、胎、盤、娩、出、前、高、度、ノ、後、出、血、ア、リ、シ、テ、以、テ、直、チ、ニ、グ、レ、テ、壓、出、法、ヲ、行、ヒ、胎、盤、ヲ、壓、出、ス、子、宮、底、ハ、臍、下、三、指、橫、徑、ニ、ア、リ、胎、盤、娩、出、後、甚、ダ、シ、キ、後、出、血、無、シ、分、娩、直、後、體、溫、三、十、八、度、ニ、昇、騰、シ、脈、ハ、充、實、緊、張、八、十、ヲ、算、ス

産褥ノ経過
 二日 朝三十六度五分、脈八十四、夕三十六度八分、脈八十、便通無シ、心、臍、右、側、ノ、濁、音、界、攪、張、ス、肺、動、脈、第、二、音、ハ、著、シ、ク、旺、盛、ス、下、肢、ノ、浮、腫、ハ、著、シ、ク、減、退、シ、知、覺、異、常、無、ク、腓、腸、筋、ノ、握、痛、尙、ホ、存、ス
 三日 朝三十六度五分、脈七十四、夕三十六度八分、脈七十八、便通無シ、子宮底ハ臍高二在リ、收縮不充、分、硬、度、稍、々、軟、壓、痛、無、シ、惡、露、血、性、漿、液、性、浮、腫、無、シ、膝、蓋、腱、反、射、少、シ、ク、微、弱、ト、ナ、レ、リ
 四日 朝三十六度二分、脈七十八、夕三十七度二分、脈八十、便通無シ、石鹼、澀、腸、ヲ、行、フ、子、宮、底、ハ、臍、下、一、指、横、徑、ニ、在、リ
 五日 朝三十六度七分、脈八十、夕三十七度二分、脈八十一、便通四回、下痢、便、ナ、リ、而、シ、テ、頭、痛、ヲ、訴、フ、子、宮、底、ハ、臍、下、二、指、横、徑、ニ、在、リ、子、宮、收、縮、稍、々、不、充、分、膝、蓋、腱、反、射、普、通
 六日 朝三十七度四分、脈八十四、夕三十六度四分、脈八十、便通ナシ、心、臟、擴、張、肥、大、ナ、ク、肺、動、脈、第、二、音、ハ、旺、盛、ス、子、宮、底、ハ、臍、下、恥、骨、縫、隙、ト、ノ、中、央、ニ、在、リ、收、縮、通、常、硬、度、硬、ク、惡、露、血、性、漿、液、性、臭、氣、無、シ
 七日 朝三十六度二分、脈七十二、夕三十六度九分、脈八十四、便通一回
 八日 朝三十六度五分、脈七十二、肺、動、脈、第、二、音、不、純、ニ、シ、テ、旺、盛、子、宮、底、ハ、恥、骨、縫、隙、上、四、指、横、徑、ニ、在、リ、收、縮、普、通、尿、中、蛋、白、ノ、痕、跡、ヲ、證、明、ス、退、院、ス
 本例ハ妊、娠、末、期、ニ、輕、度、ノ、脚、氣、ニ、罹、リ、分、娩、時、ノ、比、較、的、短、時、ナ、リ、シ、ニ、關、ラ、ズ、胎、兒、ハ、假、死、ノ、狀

態、ニ、テ、娩、出、セ、ラ、レ、爾、後、產、褥、中、母、體、調、氣、次、第、ニ、輕、快、セ、リ、初、生、兒、ハ、母、乳、榮、養、ヲ、行、ヒ、シ、モ、退、院、ス、ル、迄、ニ、ハ、全、ク、異、常、ヲ、認、メ、ザ、リ、キ

第四十二例 松江某 二十七年 理髮業初妊

既往症 生來健全著患ヲ知ラズ十五年三ヶ月月經來潮シ爾來正調三日間持續、障礙ヲ伴ハズ二十四年五ヶ月ニシテ婚嫁シ四月十五日以來月經閉止セリ目下妊娠十ヶ月(豫定分娩期一月二十二日)

入院 四十四年一月二十一日

現症 體格中等榮養佳、乳房ノ發育不充、分、ニ、シ、テ、乳、嘴、乳、暈、ノ、著、色、著、シ、カ、ラ、ザ、ル、モ、初、乳、ノ、分、泌、ア、リ、顔、面、蒼、白、貧、血、ヲ、呈、ス、脈、充、實、正、調、ナ、ル、モ、頻、數、百、十、ヲ、算、ス、心、臟、ノ、濁、音、界、普、通、ニ、シ、テ、心、音、正、純、右、肺、尖、呼、氣、延、長、シ、左、肺、背、面、ノ、下、部、大、水、泡、音、ヲ、聽、ク、腹、部、膨、滿、腹、圍、八、十、六、仙、迷、ヲ、算、ス、子、宮、底、ハ、劍、狀、突、起、下、二、指、横、徑、ニ、在、リ、兒、頭、ハ、骨、盤、入、口、上、ニ、於、テ、容、易、ク、移、動、ス、兒、背、左、側、ニ、ア、リ、下、肢、ニ、浮、腫、表、ハ、レ、膝、蓋、腱、反、射、微、弱、ナ、ル、モ、知、覺、ノ、異、常、ヲ、認、メ、ズ、食、慾、佳、良、便、通、秘、結、尿、中、蛋、白、イ、ン、ゲ、カ、ン、ヲ、證、明、ス
 入院後ノ経過
 二十三日 肺、動、脈、第、二、音、旺、盛、シ、下、肢、ノ、浮、腫、増、加、ス、膝、蓋、腱、反、射、全、ク、消、失、シ、腓、腸、部、ノ、握、痛、表、ハ、ル、疏、麻、(五〇瓦)ヲ、内、服、セ、シ、ム
 二十四日 下、肢、ノ、知、覺、鈍、麻、表、ハ、ル

二十八日 兒頭骨盤入口ニ固定ス
 三十一日 心悸亢進甚ダシク下腹部緊満ノ感ヲ訴フ
 二月四日 心、濁、音、界、ハ、僅、カ、ニ、右、方、ニ、振、張、チ、呈、ス
 入院後二十日目ニ分娩開始ス
 分〇ノ〇〇〇
 二月九日 午後ヨリ時々陣痛發作アリ九時二十分少量ノ羊水様ノ液ヲ漏ラス十時少量ノ出血アリ十時三十分産室ニ移ス胎兒心音百四十、十時五十分發作一分十五秒、間歇二分、十一時九分破水ス石鹼浣腸ヲ行フ
 二月十日 午前六時「グリセリン」浣腸ヲ行ヒテ少量ノ排便アリ「カテーテル」排尿ヲ行フ陣痛甚ダ微弱ニシテ分娩進行セズ腹部熱性濕布ヲ行フ六時二十分發作三十秒、間歇一分五十秒、陣痛益々微弱トナル心音百四十二、胎兒壓出法ヲ試ムルモ娩出セズ
 九時十五分「クロロフォルム」麻醉ヲ行ヒ會陰側切開術ヲ施シ鉗子ヲ應用シ同三十分前、頭位ニ於テ、輕度ノ假死狀ニテ、胎兒ヲ遂娩セシメタリ(使用セシ「クロロフォルム」量五〇瓦)胎兒分娩後多少後出血アリ九時四十分「クレテ」氏胎盤壓出法ヲ試ミ胎盤ハ胎兒面ヲ以テ娩出ス其後尙ホ少量ノ出血アリシヲ以テ「エルゴチン」注射ヲ行ヘリ子宮底ハ臍下三指横徑ニ在リ收縮佳、五分後體温三十七度六分、脈八十四
 産〇ノ〇〇
 經〇ノ〇〇
 過〇

十一日 朝三十六度四分、脈八十二、夕三十七度五分、脈九十、便通無シ
 十二日 朝三十六度五分、脈九十二、夕三十八度四分、脈百二十、便通無シ石鹼浣腸ヲ行ヒ麥角劑ヲ與ヘ更ラニ硫麻一五〇瓦ヲ投ズ
 十三日 朝三十七度五分、脈百二十、夕三十九度、脈百二、便通一回
 十四日 朝三十七度六分、脈九十九、夕三十七度八分、脈九十六、便通一回脈軟頻數、顔面蒼白、心悸亢進ス子宮收縮不真、惡露血性汚穢色且臭氣アリ
 十五日 朝三十七度、脈百六、夕三十七度三分、脈九十、便通一回、心臟貧血性雜音ヲ聽ク惡露、液、血、性、汚、穢、色、ヲ、呈、シ、臭、氣、アリ、而、シ、テ、子、宮、底、ハ、臍、高、ニ、アリ、硬、度、軟、壓、痛、アリ、
 十六日 朝三十六度三分、脈九十九、夕三十六度、脈九十四、便通無シ腹部膨滿シ子宮底ハ臍高二在リ、惡露、汚、穢、色、量、多、量、ニ、シ、テ、臭、氣、アリ、尿、閉、アリ、シ、テ、以、テ、導、尿、ス
 十七日 朝三十六度三分、脈八十二、夕三十六度五分、脈九十五、便通一回、子宮底、臍、高、硬、度、軟、壓、痛、アリ、外陰部浮腫シ陰唇繫帶部ニ於テ產褥、潰、瘍、ノ、發、生、ヲ、見、ル
 十八日 朝三十六度五分、脈百十二、夕三十六度八分、脈九十二、便通一回、尿中蛋白ヲ證明ス腹部膨滿、子宮底ハ臍下四指横徑ニ位シ僅カニ壓痛アリ、惡露減量臭氣少シク去レリ
 十九日 朝三十六度八分、脈百十二、夕三十六度二分、脈九十九、便通二回
 二十日 朝三十六度六分、脈九十九、夕三十七度三分、脈百十二、便通一回、顔、貌、浮、腫、狀、ヲ、呈、シ、蒼、白、貧、血、心、音、不、純、肺、動、脈、第、二、音、旺、盛、ス、兩、肺、背、面、下、部、呼、吸、音、微、弱、ナ、リ、子、宮、底、ハ、臍、下、四、指、横、徑、ニ

在リ硬度軟壓痛アリ惡露少量臭氣甚ダシカラズ下、肢、ニ、著、明、ノ、浮、腫、表、ハ、膝、蓋、腫、反、射、全、ク、消、失、ス、ル、モ、知、覺、鈍、麻、無、ク、下、肢、ニ、運、動、障、礙、ア、リ、ス、ト、ロ、フ、ア、ン、チ、ス、丁、幾、沃、度、加、里、硫、麻、等、チ、内、服、セ、シ、メ、傍、ヲ、千、倍、硝、酸、ス、ト、リ、イ、ニ、ン、溶、液、ノ、注、射、ヲ、試、ミ、タ、リ

二十一日 朝三十六度二分、脈九、十、夕三十七度、脈九、十四、便通一回、子宮底ハ耻骨縫際ノ上部ニ於テ僅カニ觸知スルヲ得可シ

二十二日 朝三十六度一分、脈七十二、夕三十八度、脈九、十、便通四回、子宮底再ビ上昇シ臍下三指横徑ニ在リ膀胱ハ尿ヲ以テ充滿セラレ且壓痛アリ

二十三日 午前六時三十八度三分、脈九、十四、九時三十六度、脈九、十、十二時三十六度三分、脈九、十三、午後三時三十七度九分、脈九、十、六時三十七度四分、脈九、十四、九時三十八度四分、脈百、八、子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニアリ便通二回

二十四日 午前六時三十八度、脈九、十六、九時三十八度七分、脈百、八、十二時三十八度六分、脈九、十八、午後三時三十九度五分、脈百、二十、六時三十七度四分、脈百、二十、九時三十九度、脈百、八、便通一回、惡露培養ヲ行ヒ大腸菌並ビニ葡萄狀菌ヲ證明セリ

二十五日 午前六時三十八度九分、脈百、十二、九時四十分一分、脈百、二十、正午三十九度三分、脈百、二十、午後三時三十七度九分、脈百、十六、六時三十八度九分、脈九、十六、九時三十八度、脈百、便通無ク尿閉ヲ起セシヲ以テ導尿セリ顔貌蒼白貧血ヲ呈シ舌ニ白苔アリ心機能微弱トナリ貧血性雜音ヲ聽ク腹部膨滿シ左右腎臟部及膀胱部ニ壓痛アリ子宮底ノ位置不明トナリ惡露

尚、ホ、存、シ、血、性、漿、液、性、多、少、臭、氣、ア、リ、膝、蓋、腫、反、射、微、弱、腓、腸、筋、握、痛、下、肢、ニ、浮、腫、ア、リ、尿、閉、ア、リ、シ、チ、以、テ、導、尿、シ、胸、部、ニ、濕、布、ヲ、心、臟、部、ニ、氷、囊、ヲ、貼、用、シ、傍、ヲ、チ、キ、タ、リ、ス、チ、内、服、セ、シ、ム

二十六日 午前六時三十九度八分、脈百、八、九時三十九度、脈九十八、十二時三十九度六分、脈八、十四、午後三時四十分三分、脈百、二十六、午後六時三十八度五分、脈百、九、九時三十九度五分、脈百、二十、便、秘、尿、閉、ア、リ

二十七日 午前六時三十八度五分、脈百、二、九時三十八度八分、脈百、八、正午三十九度、脈百、八、午後三時三十九度五分、脈百、十、六、時三十九度八分、脈百、十四、九時三十八度五分、脈百、二十、六、心、臟、ニ、貧、血、性、雜、音、ヲ、聽、キ、膀、胱、部、ニ、壓、痛、ア、リ、且、尿、閉、ス、自、家、ワ、ク、チ、ン、五、〇、瓦、注、射、ス

二十八日 午前六時三十七度九分、脈百、八、九時三十七度五分、脈九、十二、正午三十八度、脈百、六、午後三時八度一分、脈九、十二、午後六時三十八度八分、脈九、十二、午後九時三十八度七分、脈百、八、手、指、ノ、知、覺、鈍、麻、ヲ、訴、ヘ、腓、腸、筋、ノ、握、痛、甚、ダ、シ、ク、石、鹼、溶、腸、ヲ、行、フ、ワ、ク、チ、ン、五、〇、瓦、注、射、ス

三月一日 朝六時三十八度五分、脈百、二、正午三十八度六分、脈九、十八、夕三十八度三分、脈九、十、三、便、通、一、回、初、生、兒、驚、口、瘡、ヲ、患、フ、二、重、曹、水、ヲ、以、テ、口、腔、並、ビ、ニ、乳、嘴、洗、拭、ヲ、行、ハ、シ、ム

二日 朝三十七度七分、脈九十五、正午三十七度一分、脈九、十、夕三十七度七分、脈九、十四、便、通、一、回、ワ、ク、チ、ン、五、〇、チ、注、射、シ、硫、酸、ス、パ、ル、テ、イ、ン、(〇、三)、安、息、香、酸、曹、達、コ、ヘ、イ、ン、(一、〇)、チ、内、服、セ、シ、ム

三日 朝三十七度、脈九、十、晝三十六度九分、脈八、十二、夕三十八度三分、脈九、十八、心、臟、右、界、ハ、胸、骨、ノ、左、緣、ニ、在、リ、心、尖、搏、動、ハ、第、五、肋、間、ニ、於、テ、乳、線、上、ニ、在、リ、心、臟、機、能、ハ、微、弱、ニ、シ、テ、貧、血、性、雜

音ヲ聴キ肺、動脈、第二音ハ著シク旺盛、腹部膨滿ス肝臟ヲ觸知ス邊緣銳利ニシテ壓痛無シ膀胱底ハ臍ト耻骨縫際トノ中央ニアリ著明ノ波動ヲ呈ス下肢ニ浮腫並ビニ知覺鈍麻ナク腸筋ニ握痛アリ產褥潰瘍尙ホ治セズ沃度丁幾ヲ塗布シ、ワグチン「五〇」ヲ注射ス。

四日 體溫最低三十七度二分最高三十八度八分、ワグチン「五〇」ヲ注射ス

五日 體溫最低三十七度四分最高三十八度七分

六日 體溫最低三十七度六分最高三十八度五分、ワグチン「八〇」ヲ注射ス

七日 體溫最低三十七度五分最高三十九度五分、ワグチン「十〇」ヲ注射ス尿失禁シ上肢ニ知覺異常表ハレ手指ノ運動障礙起ル心臟ニ貧血性雜音著シク肺、動脈、第二音旺盛ス肺腸筋ニ緊滿ノ感アリ歩行困難ヲ感ズ膝蓋腱反射消失ス

八日 體溫最低三十八度一分最高三十九度一分、便通二回、尿中二分ノ一 $\frac{1}{10}$ ノ蛋白ヲ含有ス

十四日 最高體溫三十七度六分言語障礙アリ兩肺一面ニ管聲及ビ啞軋音ヲ聴キ氣管支炎ヲ發ス

十五日 最高體溫三十八度、左右手指及ビ手背ニ知覺異常アリ

十八日 以後平溫ニ復ス、腱反射凡テ微弱若シクハ消失ス

二十一日 下肢ノ運動障礙アリ歩行不能ナルヲ以テ、硝酸ストリヒニンノ注射、マツサイジ等ヲ行フ

二十二日 便中寄生蟲卵無ク尿中ノ蛋白消失ス

二十八日 顔貌蒼白浮腫狀ヲ呈シ心臟濁音界普通、心悸亢進シ一般ニ貧血性雜音ヲ聴キ肺動脈第二音旺盛ス兩肺前面ノ上部呼吸氣延長シ時々管聲ヲ聴ク其他一般ニ呼吸音微弱ナリ腹部膨滿シ肝臟ヲ觸知ス膀胱部抵抗且壓痛アリ膀胱障礙持續ス手指、手背、下肢ニ知覺鈍麻アリ膝蓋腱反射消失シ膝關節無力歩行障礙ヲ訴フ本日退院ス

本例ハ妊娠末期ニ於テ、輕症脚氣ニ罹リ前頭位ニテ分娩遲延胎兒危險ノ狀態ニアリシヲ以テ、鉗子分娩ヲ遂ケタリ產褥中脚氣症狀増悪シ傍ラ產褥傳染ニ罹リ一時危險ニ陥リシモ幸ニシテ產褥傳染ニ耐ヘ脚氣症狀モ大體ニ於テ輕快シ神經性脚氣ニ見ル症狀ヲ殘シテ退院セリ

第四十三例 守能某 二十五年 軍人ノ妻 初妊

既往症 十四年三月月經初潮爾來正調三日間持續シ少量障礙無シ二十一年二月月經閉止ニテ婚嫁シ二月中旬以來月經閉止ス目下妊娠十ヶ月

主訴 輕度ノ惡氣嘔吐 入院分娩

入院 三十九年十月二十二日

現症 體格榮養共ニ中等脈緊張充實八十ヲ算ス舌苔無シ乳房發育佳其初乳ヲ分泌ス心臟濁音界擴張セズ肺、動脈、第二音旺盛、右肺炎及右肺背面ノ上部呼吸氣延長シ右肺背面ノ下部呼吸音微弱ナリ腹部膨滿、子宮底ハ劍狀突起下三指橫徑ニ在リ兒頭ハ骨盤入口ニ在リテ多

少移動ス頤部左側、兒背右側ニアリ小部分ヲ觸知シ得ズ胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ聽取ス下、肢、ニ、高度、ノ、浮、腫、アリ知覺鈍麻、腓腸筋握痛等無シ膝、蓋、腱、反射、亢進、ス骨盤計測上異狀ヲ認メズ食慾佳、其便秘ス尿中蛋白ヲ證明セズ硫酸ニ〇〇五ヲ持長ス

二十五日 膝、蓋、腱、反射、微弱、トナル

二十七日 下、肢、ニ、輕、度、ノ、知、覺、異、常、表、ハ、ル、腓、腸、筋、ニ、握、痛、生、ズ、

八月四日 兒頭骨盤入口ニ固定ス

入院以來全ク無熱ニ經過ス脈搏ハ稍々頻數八十乃至九十ヲ算ス便通毎日二三回アリ浮腫減退ス入院第十五日分娩開始ス

分〇〇〇分〇〇〇

四日 初來輕度ノ陣痛發作アリ午前十時陣痛強盛トナリシヲ以テ産室ニ移ス直チニ外診ヲ行フニ子宮底ハ臍上四指横徑ニ在リ兒頭ハ深ク骨盤入口ニ固定ス腹壁及子宮壁強ク緊張セルヲ以テ胎兒小部分ヲ觸知スルコト能ハズ胎、兒、心、音、ハ、右、臍、棘、線、ニ、於、テ、著、明、ナ、リ、陣、痛、發、作、四、十、秒、間、歇、三、分、十、一、時、石、鹼、澹、腸、ヲ、行、フ、同、十、分、大、量、ノ、排、便、ア、リ、同、時、ニ、排、尿、ス、後、外、陰、部、消、毒、ヲ、行、ヒ、內、診、ス、子、宮、腔、部、ハ、既、ニ、消、失、シ、子、宮、口、ハ、約、七、仙、迷、開、大、卵、胞、既、ニ、破、レ、先、進、頭、部、ハ、骨、盤、入、口、ニ、在、リ、頭、毛、ヲ、觸、ル、小、顛、門、ハ、右、前、ニ、ア、リ、矢、狀、縫、合、ハ、第、二、斜、徑、線、ニ、一、致、シ、大、顛、門、ヲ、觸、レ、ズ、左、右、坐、骨、棘、ヲ、觸、ル

五日 午前三時六分兒頭排露、同十三分撥露、同十六分兒頭娩出、顔面ハ母體左大腿ノ内面ヲ向ク次テ直ニ軀幹娩出ス胎、兒、既、ニ、死、亡、シ、心、音、ヲ、聽、カ、ズ、皮、膚、蒼、白、四、肢、弛、緩、セ、リ、三、時、四、十二分胎盤娩出ス子宮底ハ臍下三指横徑ニ在リ後出血無シ體溫三十六度二分、脈九十

産褥ノ經過
五日 午後無熱、脈頻數百二十、心臟濁音界ノ擴張無ク肺動脈第一音不純、同第二音旺盛、兩肺呼吸音微弱、腹部膨滿、子宮底ハ臍高二指横徑ニアリ多少ノ壓痛ヲ伴ヒ收縮不長ナリ惡露血性、量多量、臭氣無シ

六日 無熱、脈九十、便通無シ

七日 熱最高三十七度五分、脈百二十、便通無シ子宮底ハ臍下一指横徑ニアリ收縮稍々不長、硬、度、軟、僅、カ、ニ、壓、痛、ア、リ、惡、露、血、性、量、多、量、臭、氣、無、シ、下、肢、ニ、浮、腫、ア、リ、腓、腸、筋、握、痛、著、ル、膝、蓋、腱、反、射、亢、進、ス、

八日 無熱、脈百八、以下、便通一回子宮底ハ臍下二指横徑ニアリ壓痛ヲ訴フ惡露血性臭氣無シ

九日 無熱、脈八十二以下、便通一回乳房緊滿シ疼痛アリ初乳ヲ分泌ス心、臟、右、界、ハ、一、指、横、徑、擴張、ヲ、呈、シ、肺、動、脈、第、一、音、不、純、第、二、音、旺、盛、ス、

十日 無熱、脈九十以下、便通一回子宮底ハ臍下三指横徑尙ホ多少壓痛アリ惡露漿液血性臭氣無シ下、肢、ニ、高、度、ノ、浮、腫、表、ハ、レ、腓、腸、筋、痛、ア、リ、膝、蓋、腱、反、射、全、ク、消、失、セ、リ、

十一日 無熱、脈百二、便通一回、全身ニ、高、度、ノ、浮、腫、起、リ、顔、貌、ハ、浮、腫、狀、ト、ナ、リ、口、唇、チ、ア、ハ、一、セ、リ、

ナ、呈、舌、苔、無、シ、心、臟、濁、音、界、ハ、二、指、横、徑、右、方、ニ、擴、張、シ、肺、動、脈、第、一、音、不、純、同、第、二、音、旺、盛、ス、子
宮、底、ハ、恥、骨、縫、際、上、三、指、横、徑、ニ、ア、リ、膝、蓋、腱、反、射、消、失、下、肢、ニ、輕、度、ノ、知、覺、異、常、ア、リ、口、圍、手、指、ニ
ハ、知、覺、ノ、異、常、無、シ、鹽、類、下、劑、ヲ、與、フ

十三日 體溫三十七度八分、脈九、十、以下、便通二回、子宮底ハ恥骨縫際上二指横徑ニアリ、惡露
白色漿液性、量中等、臭氣無シ

十四日 無熱、脈九十、浮腫及ビ心臟ノ變化前日ニ同シ

十五日 無熱、脈八十四以下、便通一回、尿量增加ス、尿中蛋白ナシ

十六日 無熱、脈七十六、浮腫減退ス、子宮底ハ恥骨縫際上三指横徑、惡露白色漿液性、量少、臭
氣無シ

十七日 無熱、脈八十以下、一般狀態漸次佳良トナルモ、腓腸筋疼痛益々増加セリ

十八日 歩行障礙ヲ來セリ

十九日 硝酸ストリヒニンノ注射ヲ當分持續セリ

二十日 腓、腸、筋、握、痛、甚、ダ、シ、知、覺、鈍、麻、尙、ホ、去、ラ、ズ、膝、蓋、腱、反、射、全、ク、消、失、ス、

二十一日 子宮底ヲ觸知スルコト能ハズ、下肢ノ浮腫消退ス、腓、腸、筋、ノ、握、痛、竝、ビ、ニ、自、發、痛、甚
ダ、シ、下、肢、筋、肉、ハ、一、般、ニ、弛、緩、シ、萎、縮、ス

二十二日 心臟右界ハ左胸骨緣ニアリ、先日ノ擴張ヲ認メザルニ至レリ、然レドモ、肺動脈第
一音不純、同第二音旺盛、子宮底ヲ觸レズ、惡露白色少量、臭氣無シ、腓、腸、筋、痛、尙、ホ、甚、ダ、シ

十二月一日 他、人、ノ、介、補、ニ、ヨ、リ、歩、行、シ、得、ル、ニ、至、レ、ル、モ、歩、行、ニ、際、シ、牽、引、痛、ヲ、訴、フ
五日 退院ス
守能初生兒剖檢記事(田中教諭執刀)

一女兒體格中等、榮養中等、死硬ハ融解ス、全身皮膚ハ一般赤色ヲ呈シ、死斑著明ナリ、皮下脂肪
及筋肉ノ發育先ツ佳良ナリ、腹腔内ニハ少量ノ赤褐色ノ液ヲ容ル、直腸部ヨリ下行結腸ノ下
部ニ至ルマテ著シク緊縮シテ綠色ヲ帶ビ、上部ハ捻轉ス、他ノ腸管ニハ異常ヲ認メズ
胸腔内ニハ左右共ニ少量ノ赤褐色ノ液ヲ容ル、左右肺ハ肋膜腔ノ後方ニ偏在シテ肋膜腔ヲ
充タサズ

心囊異常無シ、右上方ハ擴張ス、左、右、兩、心、内、ニ、ハ、殆、ン、ド、流、動、性、血、液、ノ、多、量、ヲ、容、ル、瓣、膜、置、異、常
ナク、左、右、兩、室、ノ、筋、壁、ハ、共、ニ、同、厚、ニ、シ、テ、肥、大、ヲ、認、メ、ズ
左肺上葉ノ表面及下葉ノ表面ニ於テ肋膜下ニ數箇ノ溢血症アリ、小ナルモノハ帽針頭大ニ
シテ大ナルモノハ豌豆大ニ達ス、肺ハ充實ス、一片ヲ水中ニ投ブレバ沈降ス、質硬クシテ血液
ニ富ム

右肺表面ノ諸所ニ帽針頭大ノ溢血症アリ、其他ノ所見左肺ニ同シ
脾ハ血量ニ富ム、其他著變無シ
左腎ハ血量ニ富ム、尿酸硬塞ヲ認メズ
右腎ハ左腎ニ同シ

胃内ニハ多量ノ帶綠色ノ粘液ヲ容ル粘膜ハ一般ニ血液ニ富ム
 肝ハ鬱血ノ他異常無シ
 膽囊内ニハ少量ノ膽汁ヲ入ル
 腸ノ擴張部ニハ只多量ノ胎糞ヲ充タスノミニシテ他ニ異常無シ
 膈ハ血液ニ富ム

診斷 諸臟器鬱血、肺肋膜下溢血、血液ノ凝固性消失(窒息死)

本例ハ妊娠末期ニ於テ輕症脚氣合併シ分、娩、經、過、輕、易、ナルニ、關、セ、ズ、死、胎、兒、ヲ、分、娩、セ、リ、胎、兒、
 ニ、ハ、病、理、解、剖、上、ニ、ハ、脚、氣、ニ、固、有、ナル、所、見、ヲ、認、メ、ザ、ル、モ、母、體、脚、氣、ト、ハ、或、ル、特、別、ノ、關、係、アル、
 モ、ノ、ナ、ラ、ン、カ、產、褥、ニ、於、テ、母、體、脚、氣、ハ、增、惡、シ、脈、搏、頻、數、浮、腫、ヲ、呈、シ、一、時、危、險、ノ、狀、態、ニ、ア、リ、シ、
 モ、處、置、效、ヲ、奏、シ、次、第、ニ、症、狀、輕、快、シ、之、レ、ヨ、リ、下、肢、ノ、筋、萎、縮、ヲ、來、シ、長、ク、下、肢、ニ、運、動、障、礙、ヲ、殘、
 セ、シ、モ、ノ、ナ、リ、

第四十四例 大平某 十九年 初妊 工女

既往症 生來健全著患ヲ知ラズ十七年五月月華來潮爾來正調三日間持續量中等障礙無
 シ十八年七月月婚嫁シ昨年十月五日以後月經閉止シ目下妊娠十ヶ月(豫定分娩期七月十二日)

主訴 入院分娩

入院 四十一年六月三十日

現症 體格榮養中等乳房ノ發育佳良ニシテ乳嘴乳暈ノ著色著シク初乳ヲ分泌ス心臓濁音

界、一、指、横、徑、右、方、ニ、擴、張、シ、脚、動、脈、第、一、音、不、純、第、二、音、著、シ、ク、旺、盛、ス、兩、肺、ハ、一、般、ニ、呼、吸、音、微、弱、
 ナリ腹部甚ダシク膨滿シ子宮底ハ劍狀突起下四指横徑ニアリ兒頭ハ骨盤入口上部ニ於テ
 容易ニ移動シ心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ著明ナリ下、肢、ニ、輕、度、ノ、浮、腫、ア、リ、知、覺、鈍、麻、並、ビ、
 ニ、腓、腸、筋、壓、痛、等、ナ、ク、膝、蓋、腱、反、射、ハ、亢、進、ス、骨、盤、計、測、上、異、狀、ヲ、認、メ、ズ、尿、意、頻、數、尿、中、蛋、白、イ、ン、
 ア、カ、ン、ヲ、證、明、セ、ズ、便、通、一、日、一、回、蛔、蟲、卵、多、數、ヲ、認、ム、磷、麻、一、〇、〇、瓦、ヲ、内、服、セ、シ、ム、

七月六日 浮腫減退ス膝、蓋、腱、反、射、微、弱、トナル
 入院以來全ク無熱ニ經過ス脈搏ハ八十ヲ算シ便通二三回尿量ハ減少シ約五百瓦特記スベ
 キ變化無ク入院後第二十二日ニ至リ分娩開始ス分娩經過ハ極メテ輕易ニシテ二十二日午
 後六時頃ヨリ時々陣痛アリ漸次強盛トナリ翌二十三日午前零時三分破水シ同四十五分女
 兒分娩ス五分後胎盤胎兒面ヲ以テ生ル子宮底ハ臍下三指横徑ニアリ收縮佳良後出血無シ
 體温三十七度、脈七十五
 産褥ノ經過

二十四日 朝體温三十七度五分、脈七十八、夕三十七度八分、脈九十二、便通一回、心、臟、濁、音、界、一、
 指、横、徑、右、方、ニ、擴、張、ス、肺、動、脈、第、一、音、ハ、不、純、同、第、二、音、ハ、旺、盛、シ、子、宮、底、ハ、臍、高、ニ、ア、リ、硬、度、稍、々、
 軟、壓、痛、ナ、シ、惡、露、血、性、多、量、

二十五日 朝三十七度三分、脈八十、夕三十八度五分、脈九十、子宮底ハ臍下二指横徑收縮佳良
 硬、度、固、シ、惡、露、血、性、量、中、等、臭、氣、ナ、シ、

二十六日 朝三十八度一分、脈九十、夕三十八度一分、脈九十六、便通無シ

二十七日 朝三十七度二分、脈八十、夕三十八度五分、脈九十、便通無シ

二十八日 朝三十七度五分、脈八十四、夕三十八度五分、脈九十、石鹼浣腸ヲ行フ

二十九日 朝三十七度八分、脈八十八、夕三十八度、脈七十二、心臓右界ハ一指横徑擴張シ、肺動脈第二音ハ旺盛ス、子宮底ハ臍及耻骨縫際ノ中央ニ在リ、惡露血性、漿液性臭氣無ク、下肢ニ浮腫無ク、知覺鈍麻、腓腸筋痛等アリ、三四日以前ヨリ下肢運動ノ障礙ヲ感セシガ漸次著明トナレリ

三十一日 脚氣ノ症狀益々著明トナリ、惡露汚穢色ヲ呈シ、臭氣アリ、量多ク、下肢ハ知覺ハ益々鈍麻シ、下腹部及手指亦侵サレ、加之下肢ニ弛緩性麻痺起リ、便通便秘シ、尿量減少シ、其量四百瓦ニ至ル、硫酸ナ三〇〇瓦ニ増量シ、傍ラ硝酸ストリヒニ注射ヲ行ヘリ

八月一日 心臓濁音界ハ僅カニ右方ニ擴張シ、心尖第一及第二音共ニ不純、肺動脈第二音ハ著シク旺盛ス、子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニ在リ、硬度軟、下肢ニハ浮腫無ク、膝蓋腱反射消失、失ス、便通二回、尿量四百瓦

三日 下肢運動障礙輕快シ、歩行稍々確實トナレリ

五日 子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑、惡露膿樣多量、腓腸筋痛ヲ訴フ

六日 心臓濁音界ノ擴張ハ之レヲ認メザルニ至レリ、肺動脈第二音ハ甚ダシク旺盛ス、初生兒黃疸ヲ發ス

十三日 顔貌蒼白、浮腫狀ヲ呈ス、心臓濁音界普通、肺動脈第一音不純、第二音旺盛ス、子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニアリ、硬度稍々軟、惡露膿樣多ク、臭氣アリ、下肢脈ニハ再ビ輕度ノ浮腫現ハレ、下肢下腹手指及ビ口圍ノ知覺鈍麻シ、腓腸筋痛無シ、膝蓋腱反射全ク消失ス、一時輕快メシガ再ビ歩行障礙加ハレリ

十五日 時ニ惡氣嘔吐ヲ催フシ、腹痛ヲ訴フ、耻骨縫際上部ニ當リ抵抗アリ、且多少ノ壓痛アリ、初生兒乳類々タルヲ以テ牛乳ニ代ユ

十七日 無熱、脈數百十四ヲ算ス、一般狀態俄カニ増惡シ、心悸亢進、呼吸困難ヲ訴フ、心臓濁音界普通、肺動脈第二音旺盛、子宮底ヲ觸知セズ、下肢ニハ尙ホ輕度ノ浮腫アリ、下肢下腹手指口圍ノ知覺鈍麻ス、膝蓋腱反射消失、惡氣嘔吐アリ、安息香酸曹達コヘイン注射ヲ行ヒ、水蛭二百條ヲ胸部ニ貼ス、尙ホ腸洗滌ヲ行ヒ、後食鹽水ヲ注腸ス、内服トシテ食前萘酸セリユム

○五ヲ三回ニ分服セシメ、硫酸(二〇〇)ホミカ丁幾一〇ヲ食後三回ニ分服セシム、便通一回、尿量三百瓦、糖蛋白ヲ證明セズ

十八日 無熱、脈百八、便通一回、尿量六百瓦、一般狀態昨日ニ比シ多少輕快セシモ時ニ嘔吐セリ

十九日 午後六時體溫三十七度八分ニ達シ、脈百十八、便通一回、尿量四百、嘔吐頻々、全ク攝食スル事能ハズ、安息香酸曹達コヘイン注射武酒注腸ヲ行フ

二十日 夕三十七度九分、脈百三十二、便通一回、尿量六百、心悸亢進著シク、呼吸促進ス、惡氣嘔

吐尚ホ止マズ處置同上

二十一日 無熱、脈百、十二、便通無ク尿量六百、處置同上

二十二日 無熱、脈九十、微、弱、便通一回、尿量二百、著シク發汗ス鼻、翼、呼、吸、チ、行、フ、呼吸音一般ニ微弱トナリ心、悸、亢、進、シ、肺、動、脈、第、二、音、ハ、旺、盛、ス、腹、部、ハ、舟、狀、ニ、陷、凹、シ、子、宮、底、ヲ、觸、レ、ズ、下、肢、ノ浮腫去リ知、覺、異、常、ハ、尙、存、ス、膝、蓋、腫、反、射、消、失、ス、

二十三日 無熱、脈頻數微弱百、二十、算、ス、便、通、一、回、尿、量、二、百、昨、夜、來、一、般、狀、態、多、少、輕、快、シ、患、者、少、シ、ク、安、靜、ト、ナル、食、慾、不、進、尙、惡、氣、嘔、吐、ア、リ、口、圍、ノ、知、覺、鈍、麻、消、退、シ、手、指、最、モ、著、シ、ク、知、覺、鈍、麻、シ、下、肢、反、ツ、テ、著、シ、カ、ラ、ズ、下、肢、筋、肉、眞、性、麻、痺、ニ、ヨ、リ、運、動、不、能、ヲ、訴、ヘ、腓、腸、筋、痛、殊、ニ、甚、ク、シ、ク、且、下、肢、筋、肉、ノ、削、瘦、萎、縮、ヲ、伴、フ、

二十四日 無熱、脈、頻、數、微、弱、百、二、十、六、便、通、無、ク、尿、量、二、百、五、

二十五日 無熱、脈、九、十、便、通、ナ、シ、尿、量、百、五、ニ、減、少、顔、貌、輕、度、ノ、浮、腫、狀、ヲ、呈、シ、舌、ニ、白、苔、ア、リ、心、臟、ノ、所、見、上、記、ニ、同、シ、ク、腹、部、ハ、著、シ、ク、陷、沒、シ、下、肢、趾、ニ、手、指、ノ、知、覺、鈍、麻、シ、著、明、ノ、腓、腸、筋、痛、ヲ、訴、フ、膝、蓋、腫、反、射、消、失、ス、下、肢、筋、肉、削、瘦、萎、縮、運、動、障、礙、ア、リ、嘔、吐、ナ、シ、

二十六日 無熱、脈、頻、數、百、十、二、石、鹼、灌、腸、ヲ、行、フ、尿、量、三、百、五、一、般、狀、態、ハ、多、少、佳、良、ニ、趣、ク、

二十七日 無熱、脈、九、十、六、便、通、ナ、ク、尿、量、二、百、五、嘔、吐、一、回、腓、腸、筋、痛、甚、シ、

二十八日 午後六時體溫三十七度五分、脈九十四至、便通ナク尿量八十五、食慾僅ニ亢進シ嘔吐ナシ下肢ノ運動稍々容易トナル

二十九日 無熱、脈、頻、數、百、十、二、至、石、鹼、灌、腸、ヲ、行、フ、尿、量、二、百、五、嘔、吐、ナ、シ、

三十日 夕體溫三十七度二分、脈九十二至、便通ナシ尿量二百五十五

三十一日 無熱、脈、頻、數、微、弱、百、十、四、至、患、者、一、般、狀、態、急、ニ、增、惡、シ、心、悸、亢、進、甚、ク、呼、吸、困、難、ヲ、訴、フ、食、鹽、水、千、二、百、瓦、ヲ、皮、下、ニ、注、射、シ、同、時、ニ、水、蛭、百、條、ヲ、胸、部、ニ、貼、ス、傍、ヲ、二、時、間、毎、ニ、カ、ン、

フル注射ヲ行フ

九月一日 體溫昇騰三十八度五分ニ達シ脈ハ百十四至一般狀態益々不頁トナリ百方治療

ニ努メシモ七時四十分遂ニ死亡セリ

大平病理解剖 田中教諭執刀

生前診斷 產褥脚氣

一女子體格長榮養中等死硬ハ強ク四肢ノ關節ニ存シ死斑ハ頗ル著明ナリ腹腔ヲ開クニ皮下脂肪織ハ發育佳良筋肉又タヨク發育ス腹腔内漿液ノ滯溜ヲ認メズ大網膜脂肪ノ發育佳良ナリ腸管ハ瓦斯ヲ以テ稍々強ク膨滿シ腸間膜腺及後腹膜腺ハ變化ヲ認メズ橫膈膜右ハ第四肋骨ノ下緣左、第四肋間胸腔ヲ開クニ右肺ハ全ク遊離シ肋膜腔ニモ滯溜液ヲ認メズ左肺表面ノ一部ハ鬆疎ノ結締織ニヨリ胸壁ト癒著ス心囊内ニハ透明且淡黄色ノ液ヲ容ル其量通常、心囊滑澤ニシテ心臟ノ大サ亦通常ナリ左室ノ前面ニ二個ノ血斑ヲ見ル一ハ豌豆大一ハ不正形ニシテ約三仙迷ノ長徑ヲ有ス心基底ノ後面ニ二三ノ帽針頭大ノ溢血點ヲ見ル冠狀靜脈ハ多少怒張ス右心室ニハ少量流動性ノ血液及ビ少量豚脂樣塊ヲ入ル左右心室ハ

共ニ通常ノ厚サヲ有シ肥厚ヲ呈セズ又瓣膜装置及内臓共ニ變比無シ心筋ノ硬度ハ少シク強靱ニシテ淡赤褐色ヲ呈ス大動脈ノ起根部ニハ數個ノ脂肪變化セル斑點生ズルノミ別ニ心臟ニ異常無シ左肺ハ稍々鬱血シ切割スル一面血量ニ富ミ壓スルニ多數ノ氣胞ヲ混セル漿液ヲ流出シ稍々高度ノ肺水腫ノ狀ヲ呈シ下葉ニハ殊ニ血液ニ富ム

右肺ハ左肺ニ比セバ質鬆疎ニシテ其ノ剖面ニテモ前者ニ比セバ比較的血液ニ乏シク從ツテ浮腫ノ狀モ著明ナラズ脾臟一・五 八・〇 三・五剖面血液ニ富ム硬度稍々軟左腎一・〇・五・五 四・五被膜剝離シ易シ剖面血液ニ富ム皮髓兩質ノ境界明カナリ硬度稍々固シ右腎九・七 五・五 四・五別ニ前ト變リナシ膀胱ハ緊張シソノ内ニハ大量ノ透明黃褐色ノ尿ヲ容ル粘膜蒼白變化無シ

胃中ニハ黃綠色ノ液少量ヲ容ル粘膜ハ概シテ蒼白ニシテ只胃底部ニ輕度ノ充血斑ヲ呈ルルノミ

肝臟(二四・〇)(三三・〇)(九・〇)剖面血液ニ富ム硬度軟胆囊ハ稍々粘液様ノ多量ノ胆汁ヲ容ル廻盲部ヲ開クニ普通ノ軟便ヲ見ル粘膜稍々充血ス

子宮ハ九・六〇壁ノ厚サ一・七ヲ算ス粘膜ハ一般ニ著明ナル充血ヲ見ル右卵巢ノ表面ノ一部ニ小ナル一個ノ囊腫アリ其他ニ異常無シ扁桃腺ハ左右共ニ腫脹ス喉頭粘膜充血スル他異常無シ

病理解剖的診斷

肺、鬱、血、性、水腫、脾、肝、腎、鬱、血、性、充、血、

本例ニ於テハ妊娠末期ニ當リ輕症脚氣ノ症候ヲ認メシモ分娩ニ何等ノ故障ナク爾後産褥中時ニ輕度ノ發熱ヲ見加フルニ脚氣症狀顯著トナリ神經性ノ定型ヲ示シ來リ又一時此等ノ症候減退セシモ日ナラズ再ビ症候現ハレ産褥第二十日に於テハ乳兒吐乳頻々遂ニ離乳スルニ至レリ爾後症候次第ニ増悪シ心臟機能益々衰弱シ肺水腫ノ症候ノ下ニ變レタリ

第四十五例 阪本某 二十三年 農 初妊

既往症 微スベキ無シ十七年十一月月經來潮爾來正順四日間持續障礙ナシ二十一年婚嫁シ十二月十五日以來月經閉止ス目下妊娠十ヶ月(豫定九月二十三日)

主訴 入院分娩ノ希望

入院 四十一年九月十五日

現症 體格榮養共ニ中等乳房ヨク發育シ乳嘴乳暈著シク著色シ初乳ヲ分泌ス心臟濁音界普通、肺動脈第一音不純、第二音旺盛、兩肺著變ヲ認メズ子宮底ハ臍ト劍狀突起トノ中央ニ在リ兒頭ハ骨盤入口上ニ於テ尙ホ移動ス胎兒小部分ハ右方ニ胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ明カナリ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ知覺異常ナシ膝蓋腱反射亢進ス骨盤計測上異常ヲ認メズ硫酸入〇チ内服セシム

二十日 膝蓋腱反射多少微弱トナル

十月一日 心臟濁音界擴張ナク心尖第一音不純、肺動脈第二音旺盛且不純トナレリ兒頭骨

盤入口ニ固定ス兒背右側ニ在リ
 八日 觸診ノ際子宮收縮スルヲ認ム膝、蓋、腿、反射、微弱トナル
 十一日 膝、蓋、腿、反射、消失ス知覺鈍麻腓腸筋握痛無シ
 十五日 浮腫増加ス便通二回尿量四百瓦硫酸一五〇ニ增量シ醋剝三〇ヲ加フ蛋白ノ少量ヲ證明ス
 十七日 腓、腸、筋、握、痛、表、ハ、ル
 二十日 下、肢、ノ、浮、腫、高、度、ト、ナ、リ、步、行、困、難、ヲ、訴、フ、便通二回尿量五百瓦硫酸二〇〇瓦ニ增量ス安息香酸曹達「コヘイン」一〇瓦ヲ與フ
 二十二日 下腹部ニ浮腫表ハル時ニ子宮收縮起レリ便通二回尿量七百瓦硫酸三〇〇瓦ニ增量ス
 二十六日 便通四回尿量千瓦浮腫少シク減退ス
 入院後第四十五日ニ至リ分娩開始ス本日迄無熱ニ經過シ脈搏ハ八十内外ヲ算ス
 分娩ノ經過
 第三十日 午後六時三十分何等分娩介補ヲ施コスニ暇無ク女兒ヲ安産ス分娩經過極メテ輕易ニシテ些ノ障害無シ同四十分胎盤娩出ス子宮底ハ臍下三指横徑ニ在リ收縮佳良後出血無シ體温三十七度三分脈八十
 産〇ノ〇經〇過

三十一日 朝體温三十七度二分脈七十八夕三十七度四分脈七十八便通二回尿量四百瓦腹部膨滿子宮底ハ臍高ニアリ硬度軟惡露血性臭氣無シ下肢ノ浮腫全ク消退シ膝蓋腿反射消失ス
 一日 朝三十七度八分脈七十八夕三十八度八分脈八十四便通一回尿量八百瓦腹部膨滿鼓音ヲ呈ス子宮底臍下三指横徑ニアリ
 二日 朝三十八度九分脈二十夕四十四度六分脈百五十便通一回尿量九百瓦惡寒戰慄ヲ以テ高度ノ發熱アリシモ一般狀態ハ比較的佳良ナリ腹部膨滿シ鼓音ヲ呈スルモ壓痛無シ子宮底ハ臍下耻骨縫際ノ中央ニアリ惡露汚穢色ヲ呈シ量多量臭氣アリ
 三日 午前六時三十九度脈百二十九時三十九度六分脈百二十正午三十九度脈百二十四午後三時三十九度五分脈百二十六時三十八度八分脈百二十六九時三十九度二分脈百二十八便通一回尿量千瓦
 四日 午前六時三十八度八分脈百十八九時四十四度六分脈百二十十二時四十四度二分脈百二十午後三時三十九度五分脈百二十六時三十九度五分脈百十二九時四十四度脈百三十二便通七回下腹部膨滿シ多少壓痛アリ下腹部ニハクレテ氏銀軟膏ヲ塗擦シ氷罨法ヲ行ヒ實多利斯葉浸(〇五)ヲ與ヘ武酒六〇〇瓦ヲ水四〇〇〇瓦ニ混シ一日數回注射腸ヲ行フ口渴ニ對シテハ鹽酸リモナーデヲ與フ
 五日 午後六時四十四度脈百三十二九時三十九度三分脈百二十六正午四十四度五分脈百四

十六、午後三時四、十度、脈百五十六、六時四、十度、三分、脈百五十五、九時四、十度、二分、脈百四十四、脈頻數正調、心悸、亢進、甚、シ、ク、肺動脈、第二音、著、シ、ク、旺盛、ス、腹部極度ニ膨滿シ子宮底ハ耻骨縫際上四指横徑ニ在リ硬度硬タシ惡露汚穢臭アリ 武酒一〇〇〇、安息香酸曹達「コヘイン」ストロファンツブ「丁」幾各一〇〇、單舎一〇〇、水一〇〇〇一日數回分服セシメ武酒六〇〇、水四〇〇〇ヲ混和シ一日三回注射ス其他麥角劑ヲ内服セシム

六日 朝六時三、十九度、六分、脈百五十四、九時三、十九度、四分、脈百四十二、正午三、十八度、八分、脈百三十二、午後三時三、十九度、九分、脈百五十四、六時三、十九度、脈百四十四、九時三、十七度、八分、脈二十、蛔蟲一條口腔ヨリ吐出ス嘔吐二回アリ心悸、亢進、甚、シ、ク、肺動脈、第二音旺盛、ス子宮底ハ臍下四指横徑ニアリ硬度軟、惡露多量臭アリ

七日 午前六時三十七度二分、脈百十二、脈細小不正時々缺滯ス心臓機能甚ダシク微弱トナル「カンフル」四瓦ヲ注射ス七時四十分子宮腔ヨリ凝血塊ヲ排出ス脈搏益々細小不其トナル更ラニ「カンフル」ヲ注射ス八時三十分武酒百瓦ヲ等分ノ水ニ和シ注射セシモ直ニ其ノ殆ンド全部ヲ排出セリ九時四十五分二%石炭酸水ヲ以テ陰洗滌ヲ行ヒ後「タンホンス」九時五十分生理的食鹽水ヲ注射セシモ直チニ排出セリ同時ニ「カンフル」注射ヲ行フ一時間後二〇%安息香酸曹達「コヘイン」水溶液二〇瓦ヲ注射ス食鹽水八〇〇〇瓦ヲ皮下注射セシモ少シモ吸收セラレズ脈搏、益々、微弱トナリ、遂ニ觸知スルコト能ハズ呼吸困難ヲ起コシテ死亡セリ

剖檢記事

一女子體格榮養中等下腹部ニ著明ノ妊娠線ヲ存ス下肢ニ輕度ノ浮腫アリ死斑ハ背部ニ就テ微ニ其發生ヲ見諸關節ニハ著明ノ死硬存在ス

腹腔ヲ開クニ皮下ノ脂肪多量ニシテ筋肉ノ色稍々淡、大網膜ノ脂肪亦多量ニシテ子宮底ハ臍高ト耻骨縫際トノ中間ニ位シ腹腔内滲出液ナシト雖モ腸管及ビ腹膜面滲潤シ胃ハ瓦斯ヲ以テ膨滿ス腸管相互ノ關係ハ異常ナシ

腸間膜腺ノ豌豆大ニ腫脹セルモノアリテ剖面著明ノ乾、酪、變、性、ニ、陥、ル、ヲ、認、ム、横膈膜ノ高サ左第四肋間右第四肋骨ニ適ス胸壁ヲ開クニ左肺ハ全ク遊離シ右上葉前面ノ一部胸壁ト纖維性癒著ヲナシ上葉下部兩肋膜腔滲出液ナシ心囊ヲ開クニ透明ノ液約五十五ヲ容ル心囊内面異常ナシ心臟殊ニ右心室ノ前面ニハ多量ノ脂肪附着シ心基底及其他ノ場所殊ニ右心室ノ後面ニ於テ多數ノ溢血點ヲ認ム右上房ハ流動性多量ノ血液ヲ容ル心臟ノ大サハ該死體ノ手掌大ヨリ甚ダ大ニシテ右室左上房左心室ニモ亦同様ノモノヲ容レ心筋質ハ硬ク其色通常瓣膜裝置異常無シ左室壁一七、右心室壁〇五、肥厚擴張ヲ認メズ

肺ハ普通ノモノヨリ甚ダ小ニシテ剖面血液ニ乏シク且ツ稍々氣泡ニ乏シ右肺亦稍々小ニシテ剖面血液ニ乏シ其ノ他ニ異常ナシ淋巴腺ノ腫脹セルモノナク炭色素ノ沈著アルノミ脾大サ一一・五、九〇、四五、横徑ニ甚ダシク増大シ質稍々軟、剖面甚ダシク血量ニ富ミ其他異常ナシ其色暗赤色ヲ呈ス

左腎大サ 十二・五 七・五 四・五、其形三角形質硬ク被膜剝離シ易カラズ一部實質缺損ヲ來
 タセル所アリ剖面少シク血量ニ富ミ皮質ノ幅ハ一部ハ廣ク一部ハ狭クナレル所アリ且ツ
 皮質ノ境界不明ナル所アリ皮質ノ潤濁ハ稍々著明ナリ
 右腎表面ハ多量ノ脂肪組織ニテ包圍セラレ之ヲ剝離シ檢スルニ長サ十三・五 幅八・五 厚
 六・〇仙迷アリ腎臟ハ非常ニ膨大シ質少シク軟、表面ハ暗赤色乃至淡褐色ヲ呈セル斑紋狀ヲ
 呈ス被膜一部ハ剝離シ易ク一部ハ剝離シ難キ部アリ難キ部ニハ即チ腎臟表面ニ帶黄色小
 顆粒發生ス剝離シ易キ所ハ表面滑澤ナリ小顆粒狀ヲ呈セル部ニ小顆粒密生シ其内ニ充血
 シ殊ニ上面即チ内面ニ於テハ殆ント全面ニ於テ小顆粒ノ密生セルヲ見ル剖面少シク血量
 ニ富ミ皮質ノ境界ハ甚ダシク髓質ノ充血セル爲比較的著明ニシテ皮質ニハ潤濁ノ爲生シ
 タル所々ニ帶黄色ノ小顆粒散生セルヲ見ル髓質ニ於テモ同様ノ顆粒物ヲ見ルノ外髓質ノ
 皮質ニ對シテ甚ダシク増大セルヲ認ム腎盂及ヒ腎盞ニ於テハ諸所溢血ノ外高度ノ充血ヲ
 呈ス
 輸尿管ハ腎ヲ去ル約五、仙迷ノ部ヨリ少シク膨大セリト雖モ其剖面ニ於テ肉眼上著明ニ認
 メ得ル部ニ於テ粘膜炎下溢血ヲ認ム十二指腸ハ黄色ノ粘液様物ヲ入レ粘膜炎若白ナリ胃内ニ
 ハ黄色ノ内容ヲ多量ニ入ル殊ニ胃底ニ近キ部ニ於テ粘膜炎下溢血ヲ認ム
 肝臟ハ甚ダシク肥大シ六二、一七、一二、仙迷、通常表面滑澤剖面ノ中央ニ於テ小葉ノ境界
 少シク不明ナル所アルモ著明ノ肉荳冠狀ヲ呈ス

肝囊内ニハ帶黄褐色ノ膽汁稍々多量ヲ入ル粘膜炎ニハ異常ナシ
 廻盲部ノ下端ニハ黄褐色ノ膽汁稍々多量ヲ入ル粘膜炎ニテヨク染マリ廻盲部ヲ去ル
 約十仙迷ノ部ニ於テ三、個ハ潰瘍アリ、其ノ大ナルモノハ一厘銅貨大ニシテ邊緣隆起充血シ
 底面粗糙ナリ漿液膜面ハ結核節ノ發生ヲ認メズ廻盲部ニ於テ潰瘍ヲ發生シ、其底面ニ結節
 ナ、散生ス、盲腸横行結腸部ノ粘膜炎腫狀ヲ呈ス粘膜炎潤濁ノ外著變無シ下方ニ行クニ從
 ヒ粘膜炎腫脹シ上行結腸ノ中央ヨリ少シク横行結腸ニ近キ部ニ於テ淺キ横徑ノ潰瘍アリ其
 ノ邊緣充血シ且ツ粘膜炎下溢血ヲ認ム潰瘍底面ニハ二、三ノ、結核節、發生セルヲ認ム、之レヨリ
 以下ニ於テハ漸次粘膜炎浮腫ノ度ヲ増シ粘膜炎潤濁ナル粘液様物ヲ附着シ下行結腸ニ至ルニ其周
 圍著シク充血シテ中央ニ壞疽物、チ、圍繞、セル、潰瘍部、アリ、淺キ潰瘍狀ヲ呈シ、漸次下方ニ至ル
 ニ從ヒ其度ヲ増シS狀部ハ一般充血度ヲ増シ粘膜炎ハ粘膜炎多量ニ附着シ前記潰瘍狀
 物其度ヲ増シ直腸ノ上部ニ於テハ粘膜炎下ニ及ベル横徑ノ潰瘍發生ヲ見ル
 膀胱ハ甚ダシク退縮シ内容物ナク粘膜炎諸所汚穢色暗褐色ヲ呈セル部アリテ粘膜炎ハ甚ダ
 シク皺襞ニ富ム尿道内口ノ部ニ於テ甚ダシク充血セルヲ見ル
 子宮大サ長サ一五・〇幅一・一〇仙迷、質甚ダ軟、剖面ハ一種ノ惡臭ヲ放ツ暗赤色ノ血塊及汚穢
 ナル液汁ヲ容ル内面ハ暗褐色ヲ呈シ殊ニ後面上部ニ於テ同色ノ脆弱ナル壞疽片ヲ附着
 シ甚ダ粗糙ナリ前面ニモ同様ノモノ少量ヲ附着シ殊ニ頸管ハ黑褐色ヲ呈ス腔部ハ壞疽片
 ナ附着シ腔壁ハ高度ノ充血ヲ認ムルノミ右卵巢剖面ニハ邊緣ニ近カク二個ノ硝子樣變性

十八日 無熱、脈八十四以下、便通四回、尿量五百五十瓦

十九日 無熱、脈九十以下、便通二回、尿量千瓦

二十日 無熱、脈八十八以下、便通三回、尿量九百瓦、朝來下肢疼痛ヲ感シ且運動ノ障礙アリ心臟濁音界普通、肺動脈第二音旺盛、下肢ニ輕度ノ浮腫、腓腸筋ニ握痛アリ、知覺異常ナシ、膝蓋腱反射消失ス

二十六日 無熱、脈九十以下、便通三回、尿量千二百瓦、蛋白ノ痕跡ヲ證明ス、下肢運動障礙多少佳良ニ趨ク、初生兒驚口瘡ヲ患フニ $\%$ 曹重水ヲ與ヘ口腔及ビ乳嘴ヲ清拭セシム

二十九日 運動障礙漸次減退ス

三日 心臟濁音界ノ擴張ヲ認メズ、肺動脈第二音旺盛、子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニアリ、惡露白色、膝蓋腱反射消失

五日 子宮底ハ耻骨縫際上二指横徑ニアリ、惡露少量、下肢ニ浮腫無ク、腓腸筋ニ壓痛無シ、初生兒異常無シ

十一日 運動障礙全治セズ、千倍硝酸ストリヒニンノ注射ヲ行フ

十五日 一般狀態漸次佳良ニ趨ク、本日退院ス

本例ニ於テハ妊娠末期ニ慢性脚氣ノ症狀ヲ現ハシ、分娩期少シク早カリシ外、異常ナク産褥ニ於テモ亦同様ノ狀態ヲ維持シ、初生兒ハ自己ノ乳汁ヲ與ヘテ何等ノ故障ナク産褥日數ノ經過ニ伴ヒ、脚氣症、狀次、第二、輕快セリ

第四十九例 藤井某 三十二年 經妊

既往症 十七年月經初潮セシガ常ニ不規則ニシテ時ニ三四日間持續ス、少量月經時障礙無シ、二十一年十一月婚嫁シ、既ニ一男ヲ分娩ス、最終月經ハ十二月十日ニシテ目下妊娠十ヶ月(豫定分娩期九月十七日)

入院 三十九年九月十一日

現症 體格榮養共ニ中等、乳房ヨク發育シ、初乳ヲ分泌ス

心臟右界ハ一指横徑、胸骨左緣ヨリ右方ニ擴張シ、肺動脈第二音ハ著シク旺盛、腹部膨滿シ、子宮底ハ肋骨弓ニ達ス、兒頭骨盤入口上ニ於テ尙ホ容易ニ移動シ、觸診ノ際子宮壁ノ收縮スルヲ認ム、心音ハ左臍棘線ニ於テ明カニシテ、下肢ニ浮腫アリ、腓腸筋壓痛ヲ訴フ、知覺ノ鈍麻無ク、膝蓋腱反射ハ甚ダシク微弱トナル、尿意頻數ニシテ、夜間四五回ノ裏急後重ヲ訴フ、尿中蛋白ヲ證明セズ

分娩經過

十一日 午前九時十五分産室ニ移シ直チニ外診ヲ行フ、兒頭尙ホ固定セズ、頤部左方、項部右方ニ觸ル胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ著明ナリ、觸診時子宮壁ノ收縮ヲ起ヨシ、緊張硬固トナル、九時五十七分體溫三十七度二分、脈八十六、石鹼澗腸、外陰部消毒、「カテーテル」排尿ヲ行フ

十二日 午前零時五分内診ヲ行フ、子宮腔部尙ホ存在シ、子宮口ハ二指横徑開大ス、卵胞尙存

シ先進部ハ觸知シ難ク只外診ニヨリ尙移動セル頭部ヲ觸ル一時五十五分胎兒心音百四十六、二時十分更ラニ内診ヲ行フ子宮口ハ六仙迷開大、兒頭ハ骨盤入口ニ固定シ卵胞尙存シ大
 小顛門ヲ觸知セズ二時二十五分「カテーテル」排尿ヲ行フ兒頭ハ尙ホ僅ニ移動セシメ得タリ
 胎兒心音ハ兩側ニ於テ聽取ス同二十六分子宮口ハ全ク開大ス兒頭骨盤入口ニ固定ス卵胞
 尙存在シ極度ニ緊張ス骨盤並ビニ軟部産道ニ異常無シ二時四十二分人工破水法ヲ行フ大
 顛門ハ右後方小顛門ハ左前ニ在リ矢狀縫合ハ第一斜徑線ニ一致ス四時十五分胎兒心音微
 弱ナルモ正調百三十八ヲ算ス四時三十七分母體脈正調充實緊張ス兒頭骨盤入口ニ固定ス
 胎兒心音微弱不正ナリ四時五十五分産瘤著明ニ發生シ小顛門ヲ左前ニ觸知シ大顛門ヲ觸
 知セズ兒頭骨盤入口ニ固定ス五時九分産内ニ「コルボイリン」ヲ挿入ス同二十分娩出ス
 二十五分胎兒心音不正、六時十分心音著明トナリ正調百三十三ヲ算ス六時四十三分兒頭排露、
 四十五分兒頭撥露、六時四十七分女、兒高度ノ假死ヲ以テ生ル四十八分「クレデ」氏壓出法ヲ行
 ヒ胎盤胎兒面ヲ以テ生ル子宮底ハ耻骨縫際上四指横徑ニ在リ收縮佳、引キ續キ高度ノ出
 血アリ直チニ腹部大動脈ヲ壓迫シ續テ子宮鏡ヲ挿入シ檢スルニ子宮頸部ノ裂傷ヲ發見シ
 直チニ「ダンボン」ヲ挿入シ止血セシム初生兒ハ分娩後直チニ人工呼吸法ヲ行ヒシモ七時三
 十分百分法其效ナク遂ニ死亡セリ體温三十六度四分脈八十ヲ算ス
 産褥ノ経過
 十三日 無熱、脈八十 便通一回 心臓濁音界右方ニ擴張シ肺動脈第二音旺盛ス下肢ニハ

浮腫、知覺鈍麻、腓腸筋痛無ク膝、蓋、腱、反射、全ク消失ス、子宮底ハ臍下三指横徑、硬度及ビ收縮狀
 態通常、多少壓痛アリ惡露、血性、多量、臭氣無シ
 十四日 無熱、脈八十、便通無シ子宮底臍下三指横徑ニ在リ惡露血性漿液性多量臭氣無シ時
 々輕度ノ後陣痛ヲ訴フ乳房緊滿ス
 十六日 子宮底臍下四指横徑壓痛ヲ訴フ惡露血性漿液性臭氣無シ
 十八日 子宮底耻骨縫際上四指横徑、壓痛無シ惡露、漿液性、多少、臭氣アリ、二%石炭酸水ヲ以
 テ腔洗滌ヲ行フ
 二十日 子宮底耻骨縫際三指横徑ニアリ惡露漿液性
 二十二日 子宮底ハ臍ト耻骨縫際トノ中間ニ在リ惡露血樣漿液性、膝、蓋、腱、反射、微弱ニ顯ハ
 ル、
 二十四日 脈正調八十六、心臓濁音界、尙ホ右方ニ擴張シ、肺動脈第二音ハ旺盛ス、子宮底ハ耻
 骨縫際上四指横徑ニアリ惡露汚穢漿液性多少臭氣アリ
 二十六日 子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニ在リ壓痛無シ惡露減少ス
 一般ニ分娩後ハ無熱ニ經過シ脈ハ略々八十、多少便秘ノ傾向アルモ尿量變化無ク諸症狀ハ
 漸次佳良ニ趣キ二週間後ニ退院セリ
 本例ニ於テハ妊娠末期ニ於テ輕症脚氣ノ症狀ヲ認メシガ娩出期遲延シ遂ニ高度ノ假死ヲ
 以テ生レ人工呼吸效ナク死亡セリ母體ハ産褥中諸症狀漸次輕快セリ

第五十例 香取某二十一年 公吏ノ妻 初妊

既往症 十五年月經初潮シ爾來正調三日間持續、量通常、障礙ヲ伴ハズ十九年三ヶ月婚嫁シ
三月中旬ヨリ月經閉止ス目下妊娠十ヶ月
主訴 妊娠下、肢、及、外、陰、部、ニ、於、ケ、ル、浮、腫、

入院 四十四年十月十二日

現症 體格榮養共ニ中等、乳房發育佳、乳嘴乳暈著色著シク初乳ヲ分泌ス、顔面潮紅舌苔無
ク脈充實正調稍々頻數、心臟濁音界普通、肺動脈第一音不純、同第二音旺、盛ス、一般呼吸音粗裂
ナルモ水泡音ヲ聽カズ腹部膨滿腹圍八十九仙迷ヲ算ス子宮底ハ臍及劍狀突起ノ中央ニ在
リ兒頭ハ骨盤入口ニ固定ス兒背右側ニアリ茲ニ著明ノ心音ヲ聽ク下肢ニ高度ノ浮腫アリ
膝蓋腱反射甚ダ微弱、下腿ノ周圍四十四仙迷ヲ算ス食慾通常、尿頻數、多少潤濁ヲ呈スルモ尿
中蛋白ナク、インヂカシ、亦存在セズ便秘結シ骨盤計測上異常ヲ認メズ硫酸一五〇醋劑三、
〇瓦チ水劑トシテ與ヘ「ヂウレチン」、安息香酸曹達、コヘイン」ヲ散トシテ與ヘ主トシテ牛乳ヲ
取ラシム

十三日 心悸亢進ス心尖部ニ於テ收縮期雜音ヲ聽キ肺動脈第二音旺盛ス時々陣痛發作ア
リ便通一回

十四日 朝體溫三十七度五分、脈頻數百二十ヲ算ス心悸亢進著シク陣痛漸次強盛トナリ兒
頭骨盤入口ニ固定ス胎兒心音不明、午後產室ニ移ス同七時石鹼浣腸、「カテーテル」排尿ヲ行ヒ

後更ニ外陰部ヲ消毒ス八時破水、九時一二回嘔吐アリ膽汁ヲ吐ス心悸亢進益々甚ダシク陣
痛ハ漸次微弱トナリ心音明ラカナラズ九時三十分熱性濕布ヲ行ヒ胎兒壓出法ヲ行ヒ既ニ
死亡セル女兒ヲ娩出セシム後出血ノ爲メ三分後クレデ、氏壓出法ヲ行ヒ胎盤ヲ壓出セシム
三分後體溫三十七度四分、脈百二十、麥角及ヒ硫酸ヲ與フ
産褥ノ經過

十五日 朝三十七度二分、脈百二十、正午三十七度、脈百十一、夕三十七度、脈百十、便通五回、大腸
内側ニ、ス、ト、刺、入、シ、二、千、七、百、五、ノ、液、ヲ、漏、出、セ、シ、ム

十六日 無熱、脈、頻、數、百、十、乃、至、百、二、十、ヲ、算、ス、顔、貌、浮、腫、狀、ヲ、呈、ス、心、悸、亢、進、甚、ダ、シ、ク、心、臟、右、界
ノ、擴、張、ヲ、認、ム、肺、動、脈、第、一、音、不、純、同、第、二、音、旺、盛、ス、子、宮、底、ハ、臍、下、三、指、橫、徑、ニ、在、リ、惡、露、血、性、臭
氣、無、シ、便、通、九、回、午、前、五、十、七、仙、迷、ヲ、算、セ、シ、大、腿、周、圍、ハ、五、十、仙、迷、ニ、又、夕、四、十、三、仙、迷、ヲ、算、セ、シ
下、腿、周、圍、ハ、三、十、六、仙、迷、ニ、減、退、セ、リ

十七日 朝體溫三十六度五分、脈百四、正午三十七度三分、脈百二十四、夕三十七度三分、脈百十、
便通七回

十八日 朝三十六度八分、脈百八、正午三十七度三分、脈百四、夕三十七度四分、脈百十六、便通九
回、子宮底ハ臍ト耻骨縫際ノ中央ニ在リ惡露少量血性汚穢色ヲ呈シ多少臭氣アリ下肢ノ浮
腫著シク減退セシモ膝、蓋、腱、反、射、殆、ン、ド、全、ク、消、失、セ、リ

十九日 朝三十七度一分、脈百二、正午三十七度六分、脈百六、夕三十七度六分、脈百、便通四回、乳房

察滿ス心悸亢進尙ホ甚ダシ子宮底ハ臍ト耻骨縫際トノ中央ニアリ「硫酸スバルテイン」〇〇
三爲丸與フ

二十日 朝三十七度四分、脈九十、正午三十七度二分、脈九十、夕三十七度三分、脈百、便通三回、
心悸亢進少シク減退シ子宮底ハ臍ト耻骨縫際トノ中央ニ在リ僅カニ壓痛アリ惡露、血、性、汚
穢、色、ヲ、呈、シ、多、少、臭、氣、アリ、下、肢、ノ、浮、腫、殆、ン、ド、減、退、セ、リ

二十一日 朝三十六度八分、脈百、夕三十七度四分、脈九十八、便通二回、心音不純、肺動脈第二音
旺盛、子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニ在リ

二十二日 朝三十七度二分、脈九十、夕三十七度六分、脈九十、便通一回、尿中極少量ノ蛋白ヲ證
明ス

二十三日 無熱、脈最多九十八、便通四回、下肢ノ浮腫著シク消退セシモ知覺ハ鈍麻シ膝蓋腱
反射ハ消失シ歩行困難ヲ感ズ

二十四日 無熱、脈九十以下、便通三回

二十五日 無熱、脈九十以下、歩行確實トナル入浴ス

二十六日 無熱、脈九十以下、歩行確實トナル入浴ス

三十日 無熱、脈九十以下、心臓右界ハ尙一指横徑右方ニ擴張シ心尖第一音不純、肺動脈第一
音不純、同第二音旺盛、腹部ニ異常無ク子宮底ヲ觸レズ下肢浮腫無ク膝蓋腱反射消失ス

三十一日 退院

本例ハ妊娠末期ニ水腫性脚氣症狀ヲ表ハセシモノニシテ分娩前日迄明ラカニ胎兒心音ヲ
聽取セシモ當日陣痛開始前ヨリ胎兒心音不明トナリ遂ニ死胎ヲ分娩セシガ產褥ノ經過ハ
極メテ佳良ニシテ產前高度ノ浮腫モ産後一週日ニシテ殆ンド全ク消退シ十日後自他覺的
障礙共ニ著シク減退シ心臓ニ於ケル肺動脈第二音ノ旺盛ト膝蓋腱反射消失竝ビニ歩行困
難等ノ症候ヲ殘シテ退院セリ

第五十二例 野口某 二十四年 初妊 農

既往症 生來健康十五年十月ニシテ月經初潮シ爾來正調三四日間持續シ少量、月經時
下腹痛ヲ訴フ最終月經ハ昨年六月上旬ニシテ現時妊娠十ヶ月ナリ

主訴 妊娠二三ヶ月ノ頃頑固ノ嘔吐ニ悩ミシガ現時モ尙ホ食欲不振ニシテ違和倦怠心悸
亢進等ヲ訴フ

現症 身長百四十六仙、體重六十三基瓦、骨盤計測上骨盤ノ異常ヲ認メズ乳房ノ發育佳良
ニシテ乳嘴乳暈ノ著色著明、初乳ヲ壓出ス心臓濁音界ハ右方ニ二仙、迷擴張ス心尖第二音旺
盛シ肺動脈第一音不純、同第二音旺盛、肺臟ニハ著變ヲ認メズ腹部膨滿シ腹圍ハ九十仙、迷
ヲ算ス子宮底ハ劍狀突起下一指横徑ニ在リ胎兒臀部ヲ觸知ス兒頭下方ニアリ尙ホヨク移
動ス小部分左方ニシテ兒背ハ右方ニアリ胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ明カニ聽取ス
下肢ニ著シキ浮腫アリ腓腸筋握痛存ス知覺異常無シ膝蓋腱反射亢進ス尿中蛋白ノ痕跡ヲ
有ス「インヂカン」著明ナリ便秘ノ傾向アリ體溫三十七度二分、脈八十五

第五十三例 谷口某 二十五年 下女 初妊

既往症 月經初潮ハ十四年三ヶ月爾來正調一週間持續障礙無シ最終月經ハ十一月十六日

ニシテ現時妊娠九ヶ月(豫定分娩期八月二十三日)

主訴 外陰部發疹、前庭部ニ於ケル疼痛性潰瘍、下肢ニ於ケル高度ノ浮腫等

入院 四十四年七月二十九日

現症 體格榮養共ニ中等、乳房ノ發育佳、乳嘴乳暈ノ著色著シク初乳ヲ壓出ス、心、臍、右、界、ハ、僅、カ、ニ、擴、張、ヲ、呈、セル、モ、ハ、ハ、如、シ、肺、動、脈、第、二、音、ハ、著、シ、ク、旺、盛、ス、兩、肺、ハ、一、般、ニ、呼、吸、音、粗、裂、腹、部、膨、滿、シ、腹、圍、八、十、七、仙、迷、ヲ、算、ス、子、宮、底、ハ、劍、狀、突、起、下、四、指、橫、徑、ニ、在、リ、兒、頭、僅、カ、ニ、固、定、ス、胎、兒、心、音、ハ、右、臍、棘、線、ノ、中、央、ニ、於、テ、聽、取、ス、下、肢、ニ、高、度、ノ、浮、腫、ア、リ、腓、腸、筋、握、痛、無、ク、膝、蓋、腱、反、射、消、失、ス、骨、盤、ニ、異、常、無、ク、便、通、秘、結、ス、尿、中、少、量、ノ、蛋、白、ヲ、證、明、ス

入院後ノ經過

特記スベキ事ナシ三十一日分娩開始

八月二十日 午前四時五十分産室ニ移ス陣痛發作一分、間歇一分、胎兒心音百三十、五時三十分、グリスリン浣腸ヲ行フテ大量ノ排便アリ後外陰部消毒ヲ行フ七時三十分發作四十秒、間歇四十秒、胎兒心音百四十、同時ニ破水ス八時兒頭撥露ス八時十五分第二後頭位ニテ高度ノ

假死狀態ヲ以テ分娩ス人工蘇生法ヲ行ヒ十五分後蘇生ス而シテ後産ハ八時二十分胎兒面ヲ以テ生ル子宮底ハ臍下三指橫徑ニ在リ收縮稍々不充分後出血無シ

二十一日 朝體溫三十六度三分、脈八十四、夕三十六度、脈九十、便通無シ顔面貧血蒼白舌苔著シ心臍濁音界普通ニシテ貧血性雜音ヲ呈シ肺動脈第二音旺盛、子宮底ハ臍高二在リ硬度稍々軟、惡露血性、下肢ノ浮腫ハ全ク去リタルモ膝蓋腱反射未ダ現ハレズ

二十二日 朝三十六度八分、脈百十八、夕三十六度七分、脈八十、便通一同音ヲ聽キ子宮底ハ臍下三指橫徑惡露血性少量臭氣無シ

二十三日 朝三十六度八分、脈九十六、夕三十七度二分、脈九十、便通無シ

二十四日 朝三十七度三分、脈九十六、夕三十七度二分、脈九十、便通無シ

二十五日 朝三十七度八分、脈九十、夕三十七度二分、脈九十四、便通一同

二十六日 朝三十七度、脈九十、夕三十七度二分、脈九十、便通一同

二十七日 朝三十六度五分、脈七十四、夕三十七度、脈九十、便通一同

二十八日 朝三十六度九分、脈九十六、夕三十六度六分、脈九十四、便通二回

二十九日 朝三十六度五分、脈八十八、子宮底ヲ觸知セズ惡露白色少量臭氣無シ退院ス

行、途、ニ、蘇、生、シ、タ、リ、初、メ、二、日、間、ハ、四、%、煉、乳、ヲ、以、テ、榮、養、セ、シ、ガ、其、後、ハ、母、乳、榮、養、ヲ、行、ヘ、リ、第、十、日、退、院、ニ、至、ル、迄、ハ、變、化、ヲ、認、メ、ザ、リ、キ、

第五十四例 箕田某 三十五年 付添婦 經妊

既往症 生來健全著患ヲ知ラズ十七年月經初潮爾來正順七日間持續、量多量、月經時障礙無シ十七年十一月婚嫁シ既ニ二男五女ヲ分娩ス最終月經ハ六月十日ニシテ現時妊娠十ヶ月(豫定分娩期三月十七日)

主訴 腹部過度ノ膨滿呼吸促進

入院 四十五年三月十三日、

現症 體格良榮養中等乳房ヨク發育シ乳嘴乳暈ノ著色著明、初乳ヲ分泌ス心、臟、濁、音、界、ハ、僅、カ、ニ、右、方、ニ、擴、張、シ、心、尖、第、一、音、及、脚、動、脈、第、一、音、不、純、同、第、二、音、旺、盛、右、肺、尖、及、右、肺、背、面、ノ、上、部、呼、氣、延、長、ス、腹、部、著、シ、ク、膨、滿、シ、臍、圍、百、三、仙、迷、ヲ、算、シ、子、宮、底、ハ、肋、骨、弓、ニ、達、シ、波、動、ヲ、呈、シ、胎、兒、部、分、ヲ、觸、知、ス、ル、コ、ト、難、ク、心、音、ハ、臍、ノ、左、上、部、ニ、於、テ、著、明、ナ、リ、下、肢、ニ、輕、度、ノ、浮、腫、ア、リ、知、覺、ハ、鈍、麻、シ、膝、蓋、腱、反、射、多、少、亢、進、ス、尿、中、蛋、白、無、ク、便、通、稍、々、秘、結、ス、

二十五日 腹部膨滿臍圍百三仙迷ヲ算ス仰臥位ニ於テ劍狀突起ヨリ臍迄二十二仙迷、臍ヨリ耻骨縫際上緣迄十九仙迷ヲ算ス兒頭ハ子宮底部ニアリ臀部ハ骨盤上口上部ニ於テヨク移動ス臍ノ右上部ニ於テ胎兒ノ心音ヲ聽ク百四十六ヲ算ス左側ニ於テモ亦聽取シ得ルモ微弱ナリ(羊膜水腫腎位)

入院以來全ク無熱ニ經過ス脈ハ多少頻數八十乃至九十ヲ算シ便通二三回著變無ク經過セシガ十六日目ニ分娩開始セリ

三月二十九日午前九時十分産室ニ移ス之ノ際血液粘性多量ノ分泌物アリ九時十五分破水ス陣痛發作五十秒、間歇四十秒稍々多量ノ胎糞ヲ混セル羊水ヲ漏ラス九時二十分石鹼澀腸ヲ行フ同四十分先進足部陰裂間ニ表ハル辛フツテ胎兒心音ヲ聽取シ得可ク尙心音甚ダ緩慢ナルヲ以テ直チニ腹壁上ヨリ胎兒壓出法ヲ行フ十時三十分臀部陰裂間ニ來タルヲ以テ用手娩出術ヲ行フ十一時二十二分高度ノ假死ニ陥リ第一腎位ヲ以テ生ル直チニ人工呼吸法ヲ三十分間施行セシモ遂ニ心音消失セシヲ以テ中止セリ胎盤ハ十一時二十五分胎盤面ヲ以テ生ル子宮底ハ臍高ニアリ後出血無シ體溫三十七度、脈八十四、

產褥ノ經過

三十日 無熱、脈九十、便通一回、顔貌蒼白貧血ヲ呈ス心臟濁音界ハ右方ニ擴張シ聽診上貧血性雜音ヲ聽キ肺動脈第二音旺盛ス子宮底ハ臍上二指橫徑ニアリ硬度軟、壓痛ナシ惡露血性、量多シ、膝蓋腱、反射亢進、下肢ニ輕度ノ浮腫ヲ存ス

三十一日 無熱、脈八十四、便通一回、
四月一日 夕三十七度六分ニ昇騰シ脈百ヲ算ス便通一回、子宮底ハ臍上一指橫徑ニ在リ惡露血性、多量、臭氣無シ

二日 朝三十七度五分、脈九十、夕無熱、便通二回、
 子宮底ハ臍高ニアリ惡露量多カラザルモ多少臭氣アリ下肢ニハ尙ホ輕度ノ浮腫アリ
 三日 無熱、脈九十、便通二回
 四日 無熱、脈八十、便通一回、尿中蛋白ノ痕跡ヲ認ム子宮底尙ホ臍高ニ存ス
 五日 子宮底ハ臍下二指横徑ニアリ惡露多量汚穢色ヲ呈ス臭氣アリ下肢ニ輕度ノ浮腫アリ
 膝蓋腱反射亢進ス
 七日 子宮底ハ臍下三指横徑ニ在リ惡露尙ホ多量
 八日 子宮底ハ臍下四指横徑
 八日 子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニ在リ
 十一日 子宮底ハ耻骨縫際上三指横徑ニアリ惡露尙ホ多量汚穢色ヲ呈シ臭氣アリ
 十三日 顔面尙ホ貧血蒼白、脈正調充實九十ヲ算ス乳房ヨク緊滿シ乳汁ヲ分泌ス心臟右界
 ハ尙ホ僅カニ擴張シ心尖第一音及肺動脈第一音不純同、第二音旺盛、子宮底ハ耻骨縫際上二
 指横徑ニアリ觸知スルコト困難ナリ惡露稀薄汚穢血色ヲ帶ビ多少臭氣アリ尙ホ下肢ニ輕
 度ノ浮腫ヲ存シ膝蓋腱反射通常、本日退院ス
 本例ハ妊娠末期ニ於テ輕症ノ脚氣症ヲ認ムルト同時ニ羊膜水腫ニシテ分娩時間比較的
 短ナルニ心音急ニ不齊トナリ娩出術ヲ施セシモ胎兒ハ死亡スルニ至レリ本例ノ如キハ
 羊膜水腫ハ合併アリシヲ以テ胎兒ノ死因ヲ一ニ脚氣ニ歸シ難キモ胎兒ハ畸形兒ナラズ且

ツ、胎兒ノ壓迫ヲ受クベキ理由ノ存セル短時ニテ窒息ニ陥入りタルハ又以テ一考ヲ要
 スベキモノナリトス分娩後母體ハ同シ輕症脚氣ノ症狀ヲ以テ産褥ヲ經過セリ

第六十例 菊民某 二十五年 初妊

既往症 十六年五月月華來潮シ爾來正調五日間持續量中量、障礙無シ二十三年婚嫁シ四
 月二十五日以來月經閉止ス目下妊娠十ヶ月(豫定分娩期二月一日)

主訴 心悸、亢進、胸内苦悶、入院分娩ノ希望

入院 四十二年一月十二日

現症 體格榮養共ニ中等乳房發育佳、其初乳ヲ分泌ス心臟濁音界ノ擴張無ク心尖第一音ハ
 雜音ヲ呈シ肺動脈第二音旺盛、腹部膨滿腹圍八十二仙迷ヲ算ス子宮底ハ臍ト劍狀突起トノ
 中央ニアリ兒頭ハ骨盤入口ニ固定シ胎兒心音ハ右臍棘線ニ於テ明カニ聽取シ下肢ニ輕度
 ノ浮腫アリ知覺鈍麻シ膝蓋腱反射微弱

十三日 午後三時産室ニ移ス時々少量ノ出血アリ漸時陣痛強盛トナル直チニ石鹼腸腸ヲ
 行ヒカテーテルヲ以テ導尿ス三時二十分多量ノ排便アリ外診ヲ行フニ子宮底ハ劍狀突起
 下四指横徑ニアリ茲ニ胎兒臀部ヲ觸レ兒頭ハ骨盤入口ニ固定ス胎兒心音ハ左側ニ於テ明
 カニノ百四十ヲ算シ出血ナシ四時陣痛發作五十秒、間歇一分、陣痛漸次強盛トナリ五時陣痛
 發作一分、間歇一分、胎兒心音ハ百三十正調、六時四十分發作一分、間歇五十秒、心音百五十正調、

母體脈搏百〇八、體溫三十七度五分、同時破水ス七時三十分兒頭排臨ス八時發作五十秒、間歇二分、八時十五分發作五十秒、間歇一分、胎兒心音百五十五正調、八時三十五分陣痛微弱トナリ胎兒心音ハ緩徐百以下ニ減ズ直チニ胎兒壓出法ヲ行ヒ同三十七分女兒ヲ娩出セシム輕度ノ假死ニ陥リシモ直チニ蘇生セリ子宮底ハ臍高ニアリ輕度ノ出血ヲ來ス同四十五分胎兒面ヲ以テ分娩ス子宮底ハ臍下三指橫徑ニアリ收縮長、後出血無シ體溫三十八度、脈搏百二十六產褥ノ經過

十四日 朝體溫三十六度九分、脈八十五至夕三十七度五分、脈百十、便通無シ尿中少量ノ蛋白ヲ證明ス子宮底ハ臍高ニアリ子宮收縮不充分惡露血性多量ナルモ臭氣無ク下、肢、ニ浮腫アリ十五日 朝體溫三十六度五分、脈八十四至夕體溫三十七度五分、脈百二十二至、便通一回、時々咳嗽アリ心尖ニ收縮期雜音ヲ聽キ肺、動脈、第一音不純、同第二音旺盛、子宮底ハ尙ホ臍高ニアリ尙ホ收縮不其、壓痛アリ、麥角浸ヲ與フ

十六日 朝體溫三十六度五分、脈九十二至夕三十七度八分、脈百四十四至、便通ナシ右肺前面ハ一般ニ呼吸音微弱ニシテ其下部ニ於テハ時々小水泡音ヲ聽ク左肺前面ハ呼吸音粗裂右肺背面ノ下部ハ濁音ヲ呈シ呼吸音微弱水泡音ヲ聽ク聲音震頭亢進ス心臟濁音界普通、心尖第一音ハ雜音ニシテ第二音亢進シ子宮底ハ臍高、收縮不充分、惡露血性多量、胸部ニ濕布ヲ行フ

十七日 朝體溫三十七度、脈百十二、夕三十八度、脈八十八、便通無シ呼吸音一般ニ粗裂ニシテ右肺前面ノ下部ニ於テ水泡音ヲ聽ク打診音變化ナシ咳嗽アリ呼吸稍々困難心悸亢進ス子

宮底ハ臍下三指橫徑ニアリ硬度硬ク惡露血性少シク汚穢色ヲ帶ビタルモ臭氣無シ

十八日 朝體溫三十六度四分、脈八十四、夕三十七度三分、脈九十、便通一回、下、肢、ニ、輕度、ノ、浮腫、表、ハ、レ、腓、腸、筋、握、痛、趾、ビニ下、肢、ニ牽引痛アリ

十九日 朝三十七度八分、夕三十八度三分、脈百二十、便通一回、心臟濁音界ノ擴張ナク心尖部ニ於テ收縮前雜音ヲ聽キ肺、動脈、第一音不純、同第二音旺盛、右肺面ノ下部ニ於テ尙ホ水泡音ヲ聽ク子宮底ハ恥骨縫際上部ニ於テ僅カニ觸知シ得、惡露少量暗赤色

二十日 朝三十六度五分、脈九十四、夕三十八度七分、脈百三十、便通一回、子宮底ハ恥骨縫際上二指橫徑ニ在リ惡露漿液性、多量、臭氣アリ

二十一日 無熱、脈百以下、便通無シ下、肢、及、ビ、手、指、ニ、知覺、異常、起、ル、

二十二日 朝三十六度三分、脈七十四、夕三十八度、脈百十四、便通一回、尙ホ子宮底ヲ觸知シ得、惡露多量、多少臭氣アリ下、肢、ニ輕度ノ浮腫アリ膝蓋腱反射多少亢進セリ

二十三日 朝三十七度三分、脈百八、夕三十六度八分、脈八十、便通無シ

二十四日 無熱、脈八十以下、便通一回

二十五日 朝三十六度二分、脈九十四、夕三十七度二分、脈百八、便通二回、浮腫減退、惡露減量セシモ尙ホ多少臭氣ヲ帶ベリ

二十六日 體溫三十七度二分以下、脈百二以下

二十七日 無熱、脈九十六以下

二十八日 無熱、脈九十六以下、心、臍、右界、ハ、約、一、指、横、徑、右、方、ニ、擴、張、シ、心、尖、搏、動、ハ、第、五、肋、間、ニ、於、テ、乳、線、上、ニ、在、リ、茲、ニ、收、縮、期、前、ノ、雜、音、ヲ、聽、キ、肺、動、脈、第、一、音、不、純、同、第、二、音、旺、盛、ス、右、肺、尖、ニ、抗、抵、ア、リ、呼、氣、延、長、シ、左、肺、背、面、ノ、下、部、ニ、水、泡、音、ヲ、聽、ク、子、宮、底、ヲ、觸、レ、ズ、下、肢、ニ、浮、腫、ナ、ク、膝、蓋、腱、反、射、通、常、尿、中、蛋、白、ナ、ク、初、生、兒、健、全、母、乳、榮、養

二十九日 無熱、脈九十四以下

三十日 無熱、脈八十八以下 退院ス

本例ハ、妊、娠、末、期、ニ、於、テ、慢、性、脚、氣、ハ、症、狀、ヲ、現、ハ、シ、假、死、ノ、狀、態、ニ、テ、胎、兒、ヲ、分、娩、シ、爾、後、肺、ノ、症、狀、ヲ、起、シ、脈、搏、常、ニ、頻、數、ト、ナ、リ、產、褥、經、過、ト、共、ニ、肺、ノ、症、狀、次、第、ニ、輕、快、シ、心、臟、ニ、於、ケ、ル、心、音、ハ、變、化、ヲ、殘、シ、テ、退、院、ス、ル、ニ、至、レ、リ

第六十一例 大竹某 三十二年八月 勞働者

目下妊娠中ニシテ血族遺傳ノ徵スベキ無ク頗ル壯健ニシテ今日迄著患ニ罹リシコトナク二回分娩セリ分娩ノ經過及ビ産褥ニ異常無シ最終月華ハ三十九年一月十五日ナリ(豫定分娩期十月二十二日)

主訴 十日程以前ヨリ心、悸、亢、進、呼、吸、促、迫、胸、内、苦、悶、全、身、ニ、浮、腫、顯、ハ、レ、食、慾、減、退、尿、量、減、少、便、秘、アリト

現症 明治三十九年十月二十二日

體格榮養共ニ佳良、顔、貌、浮、腫、狀、ヲ、呈、シ、貧、血、蒼、白、僅、カ、ニ、舌、苔、アリ、口、唇、チ、ア、ノ、ハ、セ、全、身、ノ、水、腫

ヲ呈シ下腹部ニハ殊ニ高度ナリトス肺臟ハ打診上著變ナク聽診上全胸部到ル所多數ノ乾性水泡音ヲ聽ク心臟濁音界不明、心、悸、亢、進、著、シ、ク、肺、動、脈、第、一、音、不、純、第、二、音、旺、盛、ス、腹、部、ハ、著、シ、ク、膨、滿、セ、ル、モ、胎、兒、部、分、ヲ、觸、知、シ、得、タ、リ、頭、部、ハ、下、方、ニ、シ、テ、容、易、ニ、移、動、シ、腎、部、上、方、小、部、分、ヲ、觸、知、シ、得、ズ、胎、兒、ノ、心、音、明、カ、ナ、ラ、ズ、膝、蓋、腱、反、射、消、失、シ、尿、量、減、少、蛋、白、ヲ、證、明、セ、ズ、イ、ン、ザ、カ、ン、著、明

處置

- 一、胸部ノ濕性溫包
- 二、二十%安息酸曹達「コフエイン」液ヲ四時間毎ニ一筒ヅツ注射ス
- 三、處方

一、硫酸 二〇〇 稀鹽酸 一〇〇 單舎 一〇〇 水 一〇〇〇
 右一日三回食後一時間内服
 二、セネガ浸(四〇) 一〇〇〇 鹽酸ヘロイン 〇〇三
 右一日三回食間内服

- 四、水蛭一五〇條ヲ胸前壁ニ貼ス
 - 五、心臟部ニ水囊ヲ貼ス
 - 六、〇.六%食鹽水皮下注入
- 夜ノ體温三十八度六分、脈八十四至

病 歴

二十三日 瞳孔中等ニ散大ス、光線ニ對スル反應存シ、輕度ノ頭痛ヲ訴フ
 二十四日 一般狀態稍々佳良、全身ニ高度ノ浮腫アリ、貧血蒼白、舌ハ乾燥シ、褐色ノ苔ヲ被ル、脈大、緊張充實、正調、心臟濁音界ハ右胸骨中央迄擴張シ、心尖第一音不純、肺動脈第一音不純、第二音亢進、腹部著シク膨滿シ、腹壁浮腫著シク、胎兒頭部ハ下方ニ、腎部ハ上方ニ之レヲ觸知シ、心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ明ナリ、肺臟ニハ笛聲、呻吟音ヲ聽取シ、膝蓋、反射消失、指尖ニ知覺異常アリ

朝體溫三十六度七分、脈九十至、夕體溫三十六度一分、脈八十二至、便通四回

二十五日 全身ニ高度ノ浮腫アリ、顔貌浮腫狀ニシテ、口唇チアハ、一セテ呈ス、舌ハ乾燥シ、下腹部ニハ殊ニ高度ノ浮腫アリ、呼吸ハ普通、脈ハ正調、頻數、細小ナリ、肺臟、兩肺ノ前面ニハ無數ノ乾性水泡音ヲ聽キ、心臟濁音界ハ一指橫徑右方ニ擴張、心尖第一音不純、肺動脈第二音旺盛、腹部著シク膨滿シ、腹壁皮膚亦高度ニ浮腫シ、腹部ニハ著シキ波動アリ、胎兒部分ヲ觸知スルコト困難ナリ、胎兒心音明カナラズ、下肢モ亦浮腫甚ダシク、指壓痕ヲ留メ且知覺ハ鈍麻シ、膀胱筋ノ壓痛無ク、膝蓋、反射消失シ、瞳孔左右同大、光線ニ反應アリ

朝體溫三十六度、脈八十、夕體溫三十五度七分、脈七六至、便通二回

二十六日 著變無シ、便通三回

二十七日 一般狀態頗ル佳良、脈正調、緊張、肺臟ニ笛聲及呻吟音著明、心臟右界一指橫徑擴張、膝蓋、反射僅カニ存ス

朝體溫三十六度八分、脈七十二至、夕體溫三十六度五分、脈七十二至、便通三回

二十八日 異常ナシ、便通三回

二十九日 一般狀態頗ル佳良、舌ハ僅カニ苔ヲ被ル、脈大、緊張、下肢ニハ尙ホ高度ノ浮腫アリ、肺臟ハ一般ニ呼吸音微弱、乾性水泡音ヲ聽ク、心臟濁音界ハ一指橫徑右方ニ擴張、心尖第一音及ビ肺動脈第一音不純、第二音亢進、腹部ハ著シク膨滿シ、腹壁ハ浮腫ヲ呈ス、頭部下方、腎部上方、頭部ハ尙ホ骨盤上口ノ上ニ在リテ能ク移動ス、小部分ハ左方ニ觸知ス、胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ在リテ明ナリ、下肢ノ知覺鈍麻シ、膝蓋、反射消失ス

朝體溫三十六度一分、脈八十至、夕體溫三十六度一分、脈七十七至、便通四回

三十日 尙ホ高度ノ浮腫アリ、兩肺一般ニ呼吸音微弱、左肺背面ノ上部乾性水泡音ヲ聽ク、心臟濁音一指橫徑右方ニ擴張、心尖第一音ハ不純、肺動脈第一音不純、第二音ハ亢進、右膝蓋、反射ハ僅カニ存シ、左側ハ消失ス

朝體溫三十六度、脈七十二至、夕體溫三十五度九分、脈六十八至、便通四回

三十一日 腹壁ニ於テ浮腫尙ホ存シ、下肢ニ高度ノ浮腫アリ、呼吸困難ナシ、脈ハ正調、心臟濁音、右界ハ胸骨ノ中央ニ及ビ、肺動脈第一音ハ不純、第二音ハ亢進、膝蓋、反射消失、朝體溫三十六度八分、脈七十二至、夕體溫三十六度八分、脈八十四至、便通二回

十一月一日 著變ナシ、便通二回、顔面蒼白、眼瞼結膜蒼白ナリ、舌ニハ苔ナク、脈ハ正調、充實、心臟濁音ハ一指橫徑右方ニ擴張ス、肺動脈ノ第一音ハ不純、第二音ハ亢進、肺臟ハ一般ニ呼吸音微弱

弱、腹部ハ膨滿シ腹壁ハ浮腫ヲ呈ス子宮底ハ臍上四指横徑ニ在リ頭部ハ下方尙ホ能ク移動ス腎部ハ上方小部分ハ左胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ明カニシテ下肢ニ高度ノ浮腫アリ僅カニ腓腸筋ノ握痛アリ膝蓋腱反射消失ス

二日 前日ニ同シ便通二回

四日 全身ニ浮腫再ビ現ハル朝體温三十六度、脈六十四至、夕體温三十七度四分、脈七十五至、便通ナシ

五日 惡心嘔吐起ル一般狀態ハ昨日ニ同シ兒頭ハ下方尙ホ能ク移動ス朝體温三十五度七分、脈七十二至、夕體温三十六度、脈七十七至、便通一回

六日 瞳孔散大シ光線ニ對スル反應微弱トナリ顔貌ハ浮腫狀ヲ呈ス心臓濁音ハ右方ニ擴張シ心尖第一音ハ雜音、肺動脈第二音ハ亢進、胎兒心音ハ正調

朝體温三十六度、脈七十五至、夕體温三十六度五分、脈八十四至、便通一回、尿ニハ僅カニ蛋白質、稍々多量ニ、インザカンヲ證明セリ

七日 脈ハ正調充實、顔貌浮腫狀ヲ呈シ全身ノ浮腫尙ホ未ダ甚ダシク瞳孔稍々散大シ光線ニ對スル反應存在シ心臓ハ僅カニ右方ニ擴張シ肺動脈第一音不純、第二音ハ亢進ス肺臟ハ呼吸音一般ニ微弱、腹部ハ膨滿シ腎部上方、頭部下方尙ホ能ク移動ス胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ明カニシテ下肢ニハ尙ホ高度ノ浮腫アリ

朝體温三十六度八分、脈八十五至、夕體温三十六度六分、脈八十四至、便通少量
八日 惡心嘔吐尙ホ持續ス胎兒體尙ホ第二頭蓋位

朝體温三十六度八分、脈八十五至、夕體温三十七度二分、脈九十至、便通ナシ

九日 腹痛惡心及嘔吐ヲ訴フ全身ノ浮腫尙ホ存ス舌苔ナシ脈正調稍々小心臓濁音ハ二指横徑右方ニ擴張、肺動脈ノ第一音ハ不純、第二音ハ亢進ス肺臟ハ一般ニ呼吸音微弱ニシテ腹部ハ著シク膨滿ス子宮底ハ劍狀突起下四指横徑ニ在リ腎部上方頭部ハ下方ニアリ尙ホ能ク移動ス、頤部右、項部ハ左、胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ明カナリ

朝體温三十六度二分、脈八十至、夕體温三十六度三分、脈八十二至、便通ナシ

十二日 全身高度ノ浮腫、顔面蒼白ニシテ浮腫狀ヲ呈シ口唇チアノーゼヲ呈ス呼吸困難著シ脈ハ正調軟、舌蒼白苔ナシ肺臟右肺尖呼吸音微弱、兩肺背面ノ下方打診上變化ナキモ只右側ニ於テハ呼吸音稍々微弱、心臓濁音ハ二指横徑右方ニ擴張シ肺動脈第一音不純、第二音亢進シ腹壁ニハ浮腫アリテ胎兒部分ヲ觸知スルコト難シ下肢ニハ尙ホ高度ノ浮腫アリ知覺ハ鈍麻シ膝蓋腱反射消失アヒリス腱反射存シ口圍ニ知覺異常アリ朝體温三十六度五分、脈八十至、夕體温三十六度五分、脈九十至、便通一回(右鹼澀腸ヲ行フ)

十三日 瞳孔ハ散大スレドモ光線ニ反應ス尿量減少且嘔吐アリ子宮底ハ臍上四指横徑ニ在リ腎部上方、頭部下方僅カニ骨盤入口ニ固定ス、頤部ハ右、項部ハ左、胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニテ明カニ聽取ス其他他覺的所見ハ前日ニ同シ

朝體温三十六度、脈八十八至、夕體温三十七度、脈八十八至、便通一回

十四日 全身ノ浮腫尙ホ甚ダシク脈ハ正調、可ナリ充實ス肺臟一般ニ呼吸音微弱ナリ心臓

濁音ハ二指横徑右方ニ擴張シ心尖第一音ハ不純第二音ハ亢進子宮底ハ臍上三指横徑腎部上方頭部下方向ホ能ク移動ス頤部項部不明胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ僅カニ之ヲ聴取シ得

朝體溫三十六度一分脈八十至夕體溫三十六度三分脈八十至便通ナシ

十五日 全身ノ浮腫稍々減退ス脈ハ細小正調呼吸音甚ダ微弱上肢ノ反射甚ダ弱膝蓋腱反射消失尿量ハ著シク減少ス呼吸困難ナシ午後六時コルポイリントレヲ挿入ス

朝體溫三十七度八分脈八十至夕體溫三十七度九分脈八十至便通ナシ

十六日 前夜來時々輕度ノ陣痛發作アリ子宮底ハ臍上三指横徑腎部上方頭部下方骨盤入口ニ固ク固定ス頤部左項部ハ右心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ明ナリ(午前八時)

午前九時四十五分第二後頭位ニテ生ル(初生兒身長四八仙迷體重一八一五五)十五分ノ後胎盤娩出ス分娩後子宮收縮尋常後出血ナシ

處方

一、巴豆油 一滴 乳糖 一〇〇

右散藥トシ一日三回分服セシム

同夜數回下痢アリ

十七日 全身ノ浮腫尙ホ甚シク脈ハ正調軟心臓濁音ハ右方ニ擴張シ心尖部ニ於テ縮期前ノ雜音ヲ聽キ肺動脈第一音ハ雜音トナリ第二音ハ亢進セリ兩肺呼吸音ハ幽微腹壁ニハ尙

ホ高度ノ浮腫アリ子宮底ハ臍下二指横徑收縮不全壓痛ナシ下肢ニハ浮腫尙甚ダシク惡露血性臭氣ナシ膝蓋腱反射ハ消失シ下肢ニ輕度ノ知覺鈍麻アリ惡心嘔吐輕快シ數回ノ下痢アリ尿量ハ稍々増加ス

朝體溫三十六度六分脈八十四至夕體溫三十七度脈九十四至

二〇%安息香酸曹達コヘイン

每四時間一五ヅツ注射ス

十八日 一般狀態ハ少シク輕快ス全身ノ浮腫モ稍々減退セリ朝體溫三十六度八分脈九十至夕體溫三十七度七分脈百二十至尿量九百五ヲ排泄ス數回ノ下痢アリ

初生兒 體重ハ一六四〇瓦

十九日 一般狀態佳良浮腫減退心臓濁音ハ胸骨ノ中央マテ擴張シ心音ハ凡テ不純ニシテ肺動脈第二音ハ著シク旺盛ス子宮底ハ臍部收縮尋常惡露ハ白色漿液性臭氣ナシ

朝體溫三十六度七分脈九十至夕體溫三十八度五分脈百十四至石鹼浣腸ヲ行フ尿量六百瓦

蛋白ヲ證明セズ

二十日 一般狀態前日ニ同シ子宮底ハ臍下二指横徑收縮尋常惡露異常ナシ朝體溫三十八度脈九十六至夕體溫三十七度五分脈百〇四至數回下痢アリ

二十一日 全身ノ浮腫尙高度ニシテ脈ハ正調稍々充實ス心臓右界ハ胸骨ノ中央ニ在リ肺動脈第一音ハ不純第二音ハ旺盛ス子宮底ハ臍下三指横徑收縮尋常惡露漿液性少量汚穢色

ナ呈シ少シク臭氣アリ兩肺ニ乾性水泡音ヲ聽キ左肺ハ一般ニ呼吸微弱ニシテ下、肢、ニ、高、度、ハ、浮腫アリ膝蓋、腱、反射消失ス

朝體溫三十六度三分、脈八十四至、夕體溫三十七度六分、脈八十四至、下痢アリ

二十二日 前日ニ同シ

朝體溫三十七度一分、脈八十至、夕體溫三十七度三分、脈百〇二至、數回下痢アリ

初生兒 體重一五九〇瓦

二十三日

朝體溫三十六度、脈百至、夕體溫三十八度、脈百〇九至、數回下痢アリ

二十四日 無熱

朝脈九十六至、夕脈九十二至

二十五日 全身ハ浮腫再ビ著明トナリ尿量ハ再ビ減少ス數回下痢アリ

朝體溫三十六度八分、脈八十三至、夕體溫三十七度、脈九十至、尿量ハ九百瓦

處置

一、純牛乳療法

二、下劑

三、安息香酸曹達「コヘイン」

二十六日 顔、貌、浮腫狀ヲ呈シ殊ニ上、眼、瞼、緣、ニ著ルシ脈ハ細小ナルモ正調、心、濁音ハ一指、横、

徑、右、方、ニ、擴、張、シ、肺、動、脈、第、一、音、不、純、第、二、音、旺、盛、ス、腹、部、ハ著シク膨滿シ子宮底ハ不明ナリ惡露ハ多量汚穢ニシテ惡臭アリ腓腸筋壓痛ナク下、肢、ノ、知、覺、鈍、麻、シ、膝、蓋、腱、反、射、消、失、シ、便、秘、セリ、尿量四一〇〇瓦蛋白、インデカンチ證明セズ

午前四時初生兒ハ一般虛弱ニ陥リ遂ニ死亡セリ(主トシテ人工榮養ヲ行ヒシモ時々母乳ヲ飲マシメタリ)

朝體溫三十七度、脈八十五至、夕三十七度、脈九十至、

二十七日 朝體溫三十六度八分、脈八十五至、夕三十六度九分、脈九十至、便通三回、尿量七〇〇瓦

瓦

二十八日 顔面ノ浮腫ハ稍減退シ一般狀態亦少シク輕快セリ心、濁音ハ二指、横、徑、右、方、ニ、擴、張、肺、動、脈、第、二、音、旺、盛、第、一、音、不、純、子、宮、底、不、明、陰、脣、ハ著シク浮腫シ下、肢、ニ、亦、高、度、ノ、浮、腫、アリ足背ノ浮腫ハ少シク減退シ膝、蓋、腱、反、射、消、失、惡、露、無、シ

處置 小豆、純牛乳療法

朝體溫三十六度五分、脈八十四至、夕體溫三十六度三分、脈九十至、便通無シ、尿量千二百瓦

二十九日 無熱、便通二回、尿量六〇〇〇瓦

三十日 浮腫著シク減退ス、心濁音ハ僅カニ右方ニ擴張シ肺動脈第二音ハ旺盛ス腹部尙ホ膨滿シ子宮底ハ恥骨縫際上三指横徑ノ所ニアリ惡露ナク腓腸筋壓痛無シ知覺鈍麻ナク膝、蓋、腱、反、射、消、失、ス

朝體温三十六度四分、脈七十六至、夕體温三十七度二分、脈九十二至、便通一回、尿量六〇〇瓦、
 一日 脈ハ正調充實僅ニ舌苔アリ右肺炎及右背面上方呼吸延長アリ兩側背面前下方呼吸
 音微弱ニシテ心臟濁音界僅カニ右カニ擴張シ肺動脈第一音不純、第二音旺盛、腹部膨滿、腹
 壁浮腫狀ヲ呈シ下肢ニ浮腫ナク膝蓋腱反射尙消失シ知覺鈍麻ナシ腓腸筋壓痛無ク發熱無
 シ便通一回尿量六〇〇瓦
 二日 前日ニ同シ便通一回尿量一五〇〇瓦
 四日 脈軟稍々頻數、舌蒼白、右肺炎右背面上方抵抗アリ呼吸延長、兩肺共ニ呼吸音微弱ナル
 モ水泡音ヲ聽カズ心臟右界ハ二指、橫徑擴張シ心尖第一音ハ不純、第二音ハ旺盛、腹部ハ尙
 ホ膨滿シ子宮底ハ恥骨縫際上三指橫徑ノ所ニアリ惡露白色少量、下肢ニ浮腫ナク輕度ノ知
 覺異常アリ膝蓋腱反射消失、筋肉ノ瘦削無シ、退院ス
 本例ニ於テハ妊娠末期ニ當リ水腫性脚氣ノ症狀ヲ現ハシ入院後全身ハ浮腫減退シ症狀稍
 稍輕快シタリシニ浮腫再ビ現ハレ加フルニ惡心嘔吐一般症狀増惡殊ニ心臟機能衰弱セン
 トスルノ微候アリシヲ以テコレハリテ挿入シ分娩ヲ促セリ分娩容易ニシテ異常無
 ク生兒ヲ分娩シ爾後惡心嘔吐ハ起ラザリシモ全身ノ浮腫尙ホ去ラズ一進一退ノ有様ニシ
 テ初生兒ハ體重次第ニ減少、產褥第十日ニ至リ死亡セリ之レヨリ母體浮腫ハ漸次減退シ來
 リシモ長ク下肢ニハ浮腫ヲ遺シ產褥第十六日ニ至リ下肢ハ浮腫全ク去リ所謂神經性脚氣
 ノ症狀ヲ殘シテ退院セリ

第六十二例 高橋某 二十二歲 經妊 工女

既往症 生來健康著患ヲ知ラズ最終月經三十九年一月一日

主訴 十日以前ヨリ漸次下肢ノ浮腫、顔ハル

九月十九日 當院ニ來ル

現症 體格榮養中等、顔貌異常ナク下肢ニ高度ノ浮腫アリ發疹ナシ乳腺ハ適度ニ發育シ乳
 嘴乳暈強ク色素ノ沈著アリ初乳ヲ分泌ス脈正調頻數、兩肺炎呼吸延長、水泡音ヲ聽カズ右肺
 背面前下方抵抗アリ呼吸音微弱、心臟濁音界變化ナシ肺動脈第一音不純、第二音旺盛、腹部膨滿、
 臍高尙ホ存ス胎兒ノ臀部ハ上方ニ頭部ハ下方ニ骨盤入口ニ固定シ頤部右、項部左、胎兒心音
 左臍棘線ノ中央ニ明カナリ
 骨盤計測上異常ナシ
 尿蛋白ナシ、インナガン著明、便中寄生蟲卵ナシ
 處置

一、硫麻 一〇〇〇 稀鹽酸 一〇〇 單舍利別 一〇〇〇 水 一〇〇〇

二十五日 患者心悸亢進ヲ訴フ舌ニ白苔アリ食慾不進、心臟濁音界變化ナシ僧帽瓣縮期ノ
 雜音ヲ聽ク肺動脈第一音不純、第二音少シク旺盛、胎兒臀部上方、頭部下方、骨盤上口ニ固定
 ス頤部右、項部左、胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ之レヲ聽取シ下肢ニハ浮腫並セニ輕度
 ノ知覺鈍麻アリ膝蓋腱反射消失ス脈八十四、無熱、便一回

三十日 一般状態佳其浮腫及知覺鈍麻大ニ輕快ス舌ハ尙ホ僅カニ白苔アリ右肺炎抵抗呼吸氣延長粗裂、右肺背面下方ニ抵抗アリ呼吸音微弱心臟濁音界ニ變化ナシ肺動脈第一音不純、第二音旺、盛、腹部膨滿、腎部上方、頭部下方ニアリ尙ホヨク移動シ頤部右、項部左、小部分ヲ右側ニ觸知ス胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニテ聽取ス
無熱、脈九十至、便通三回

十月六日 下肢ニ浮腫及知覺ノ鈍麻等無ク食慾少シク増加セリ、心尖第一音不純、肺動脈第二音旺、盛、胎兒腎部ハ上方ニ、頭部ハ下方、骨盤入口ニ固定ス頤部右、項部左、小部分右ニアリ、便通ナシ

八日 心臟濁音界ノ變化ナク心尖第一音不純、肺動脈第一音雜、音、第二音旺、盛、兒頭ハ骨盤入口ニ固定シ頤部右、項部左方、胎兒心音左、臍棘線ノ中央ニ著ルシ膝、蓋、腱、反射消失、便通二回食慾佳良

十日 午前十一時陣痛始マル
午後四時卵胞陰裂開ニ顯ハル直チニ人工破水ヲ行フ同二十分兒頭撥露シ同二十三分娩出ス三十分胎兒面ヲ以テ胎盤娩出ス
子宮底臍下三指横徑、收縮佳良、後出血ナシ
分娩持續五時三十分時
初生兒ニハ母乳ヲ與フ

十一日 脈正調頻數百二十五、軟
心臟濁音界ハ一指横徑右方ニ擴張シ心尖第一音及肺動脈第一音不純、第二音旺、盛、子宮底ハ臍下一指横徑ニアリ僅カニ壓痛アリ惡露血性漿液性、量中等、臭氣ナシ下肢ニ浮腫知覺ノ異常ナシ臍、腸、筋、痛著、シク膝、蓋、腱、反射消失セリ

朝體溫三十五度七分、脈九十至、夕體溫三十七度四分、脈百二十至、浣腸ス
十二日 著變ナク舌苔白苔ナシ食慾佳良、脈、軟、頻、數、百、〇、五、至、子宮底ハ臍下三指横徑、收縮佳良、壓痛アリ惡露汚穢多量、少シク臭氣アリ

朝體溫三十六度一分、脈八十至、夕體溫三十七度一分、脈八十八至、便通二回
十四日 朝體溫三十六度五分、脈八十四至、夕體溫三十八度二分、脈百十至、便通二回

十五日 著變ナク食慾佳良、顔面蒼白、舌苔白ニシテ苔ナシ、心臟濁音界、一指横徑、右方ニ擴張、心尖第一音及肺動脈第一音不純、第二音著シク亢進ス、肺臟ニ著變ナシ腹部膨滿、子宮底ハ觸知シ難ク壓痛ナク惡露血色多量、汚穢多少、臭氣ヲ帶ビ、下肢ニ輕度ノ浮腫アリ知覺ノ異常ナシ膝、蓋、腱、反射消失、シ臍、腸、筋、痛甚、シク運動障礙ナシ

朝體溫三十七度、脈八十二至、夕體溫三十八度二分、脈百〇四至、便通二回
十六日 前日ニ同シ
朝體溫三十七度、脈九十二至、夕體溫三十八度一分、脈百十八至、便通一回
十七日 著變ナシ心臟濁音界僅ニ右方ニ擴張ス、心尖第一音及肺動脈第一音不純、第二音著

シ、ハ、旺、盛、シ、子宮底ヲ觸レズ、惡露少量、漿液性少シク、臭氣アリ、下肢ニ浮腫並ビニ知覺ノ異常ナシ、膀胱、腸、筋、痛、甚、ダ、シ、ク、膝、蓋、腫、反、射、消、失、運、動、障、礙、ナシ、
體温三十七度三分、脈百二十至、退院ス、
本例ニアリテハ、妊娠末期ニ當リ、慢性脚氣ノ症狀ヲ現ハシ、豫定分娩期日ニ至リ、初メ、分、娩、シ、爾、後、一、進、一、退、ノ、狀、態、ヲ、以、テ、慢、性、神、經、性、脚、氣、ノ、症、狀、ヲ、持、續、セ、リ、初、生、兒、ハ、母、乳、ニ、テ、榮、養、シ、タ、ル、モ、何、等、ノ、故、障、ナ、ク、體、重、漸、次、増、加、セ、リ、

第六十三例 木村某 四十一年 經妊

既往症 生來健全著患ヲ知ラズ、一昨年輕症脚氣ニ罹リ、二週間ニテ治セリト云フ、十五年、月、華來潮シ、爾來正調三日間持續、量中等、月經時除癢無シ、十五年五ヶ月婚嫁シ、既ニ二男三女ヲ舉ゲ、最終月經ハ、昨年十一月十五日ニシテ、目下妊娠十ヶ月(九月二十三日豫定分娩期)、
主訴 全身高度ノ浮腫、心悸、亢進、呼吸、促進、食慾不進、惡、心、時、々、嘔、吐、ア、リ、尿、量、減、少、シ、便、通、一、日、一、回、

入院 三十九年九月二十五日

現症 體格中等、榮養不、良、貧、血、シ、皮、膚、蒼、白、色、ヲ、呈、ス、全、身、ニ、ハ、高、度、ノ、浮、腫、ア、リ、口、唇、チ、ア、ノ、イ、セ、テ、呈、シ、鼻、翼、呼、吸、ヲ、營、ム、皮、膚、ニ、發、疹、ナ、シ、右、眼、内、背、部、腫、張、シ、指、壓、ニ、ヨ、リ、淚、管、ヨ、リ、淡、黃、色、ノ、膿、ヲ、漏、ラ、シ、且、ツ、疼、痛、ヲ、訴、フ、脈、細、小、頻、數、ナル、モ、正、調、百、十、ヲ、算、ス、舌、ハ、蒼、白、苦、無、シ、乳、腺、ヨ、ク、發、育、シ、初、乳、ヲ、分、泌、ス、患、者、ハ、常、ニ、右、側、臥、位、ヲ、取、レ、ル、ヲ、以、テ、頭、及、胸、部、ノ、右、側、ハ、殊、ニ、高、度、ノ、浮、腫

ヲ呈セリ

胸部打診、上右肺尖及右肺背面ハ一般ニ濁音ヲ呈シ、呼吸音微弱ナリ、反之左肺ハ一般ニ呼吸音粗裂、水泡音其他異常音ヲ聽カズ、心、臟、濁、音、界、ハ、只、右、方、ハ、ミ、約、一、指、半、橫、徑、擴、張、シ、心、悸、亢、進、シ、肺、動、脈、第、二、音、旺、盛、腹、部、膨、滿、シ、肝、脾、ヲ、僅、カ、ニ、觸、知、シ、得、腹、水、ハ、證、明、シ、難、タ、シ、子、宮、底、ハ、劍、狀、突起下四指橫徑ニアリ、兒頭ハ骨盤上口上ニ於テ尙ホ移動シ、胎兒小部分ハ左方ニテ觸知ス、胎兒心音ハ臍ノ下部中線ニ於テ僅カニ聽取シ得、臍腸筋握痛知覺異常等ナク、膝、蓋、腫、反、射、ハ、消、失、ス、體、温、三、十、七、度、三、分、尿、ハ、淡、褐、色、透、明、ニ、シ、テ、稍、々、著、明、ノ、蛋、白、ヲ、證、明、ス、ル、モ、各、種、圓、壻、ヲ、發、見、セ、ズ、

以上ハ二十五日午後六時入院當時ノ所見ナルモ一般狀態増惡ノ傾向アリシヲ以テ同夜水、經、二、百、條、ヲ、胸、部、ニ、貼、シ、後、生、理、的、食、鹽、水、千、二、百、瓦、ノ、皮、下、注、射、ヲ、行、フ、心、臟、機、能、不、良、ナル、ヲ、以、テ、安、息、香、酸、曹、達、コ、ヘ、イ、ン、及、ビ、カ、ン、フ、ル、ヲ、交、互、ニ、注、射、シ、主、ト、シ、テ、牛、乳、ヲ、攝、取、セ、シ、メ、内、服、ニ、ハ、ス、ト、ロ、フ、ツ、ア、ス、丁、幾、硫、麻、(三〇〇)ヲ、與、フ、

二十六日 午前零時十分俄カニ陣痛起リ一時十分女兒輕度ノ假死ヲ以テ生ル、一時二十五分胎盤娩出ス、子宮收縮狀態佳、著シキ後出血無シ、
午前九時脈、細、小、頻、數、呼、吸、一、般、ニ、粗、糙、ニ、シ、テ、呼、吸、困、難、ア、リ、心、悸、亢、進、ア、ル、ノ、外、一、般、狀、態、昨、日、ノ、如、シ、腹、部、ニ、高、度、ノ、浮、腫、ア、リ、子、宮、底、ハ、臍、下、二、指、橫、徑、收、縮、佳、其、僅、カ、ニ、壓、痛、ア、リ、惡、露、血、性、體、温、三、十、四、度、一、分、ニ、下、降、セ、シ、カ、バ、直、チ、ニ、湯、婆、四、個、ヲ、用、ヒ、體、温、保、存、ニ、努、メ、タ、リ、

正午十二時體溫三十五度、脈六十六、午後三時三十五度五分、脈七十四、微弱、辛、フ、シ、テ、觸、知、シ、得、ル、ニ、至、レ、リ、左、肺、前、下、部、右、肺、前、面、ニ、於、テ、乾、性、水、泡、音、ヲ、聽、ク、腹、部、膨、滿、シ、尙、ホ、高、度、ノ、浮、腫、アリ、子宮底ハ耻骨縫際上四指横徑、惡露血性漿液性、臭氣無シ、膝、蓋、腕、反、射、消、失、六、時、體、溫、三、十、五、度、五分、脈八十四

二十七日 前夜來一般狀態漸次不頁ニ陥リ午前七時四十分遂ニ死亡ス

診斷 妊娠腎臟炎兼脚氣

病理解剖

體格榮養中等全身高度ノ浮腫ヲ呈シ死後ノ強直ハ既ニ消失ス屍斑ハ微弱ナリ皮下脂肪層ハ發育シ筋肉薄ク網膜ニ脂肪多シ
腹腔内ニハ薄キ透明ノ液二〇〇瓦ヲ容ル腸ハ瓦斯ニテ膨滿シ子宮底部ハ耻骨縫際上六指横徑上部ニ在リ横膈膜ノ高サ左第四肋骨ノ上緣右第三肋骨ノ上緣ニアリ胸腔ヲ開クニ右ハ鬆疎ニ癒著ス左右共ニ胸腔内ニ約二〇〇〇瓦ノ漏出液ヲ容ル心囊ニハ認ム可キ變化無シ心臟ノ外表ハ脂肪多クシテ脂肪心ノ狀ヲ呈ス心臟内ニハ少許ノ豚脂樣凝血ヲ有シ内膜及瓣膜裝置ニハ異常無シ筋ハ灰白色ヲ呈シ質ハ少シク硬ク左室ハ僅カニ擴張ス壁ノ厚サハ一・二仙迷右室モ亦少シク擴張スルノ外著變ヲ認メズ
右肺ハ腫大シ之レヲ切割スルニ高度ノ鬱血ノ外異常ヲ認メズ右肋膜ニハ纖維素ノ多量沈著ス右肺ノ狀態左肺ニ同シ

脾臟 一・二〇 七・〇 三・五仙迷剖面頗ル血液ニ富ム

左腎 一〇〇 六〇 四〇仙迷被膜剝離シ易シ剖面平滑ニシテ灰白黄色ヲ呈ス被質ハ潤

濁シ其色黄白色、髓質トノ境界ハ明カナリ髓圓柱モ亦黄白色ニシテ潤濁ス腎盂異常ナシ

右腎 一〇〇 五〇 三・五仙迷被膜ハ剝離シ易シ表面中央ニ於テ小指頭大ノ陷凹ヲ見ル

其形ハ不正形ヲナシ被質ノ中央ニ迄基底達ス剖面血液ニ富ム被質少シク潤濁ス髓質ノ境

界明カナリ兩腎質共ニ軟ナリ

肝 二・三〇 一・三〇 八〇迷仙表面滑澤ニシテ剖面ハ血液ニ富ミ脂肪浸潤高度ニシテ各

小葉ノ境界ハ明ラカナリ膽囊内ニハ稀薄ナル多量ノ膽汁ヲ容ル

胃 胃中ニハ乳白色流動性少量ノ内容ヲ入レ粘膜炎ハ胃底ノ後壁ニ於テ充血ヲ呈セル他異

常ナシ

廻盲部ヲ開クニ粘膜炎ノ血管ハ少シク擴張シ乳白色流動體ノモノヲ入ルルノミ

膀胱粘膜炎ハ別ニ變化ナク潤濁セル中等量ノ尿ヲ入ル

子宮 縱徑一・二〇横徑一〇〇底部ノ厚サ一・八腔部ハ腫脹シ多少充血セル粘膜炎ヲ以テ蔽ハ

ル子宮ノ内面殊ニ基底部分ニ多量ノ凝血塊ノ附著セルヲ見ル左右ノ卵巢表面粗糙ニシテ左

側ニ於テ著明ナル黄體ヲ見ル

病理解剖的診斷

實質性腎臟炎 產褥性子宮、肺鬱血、腹水、胸水、右腎ノ「インハルクト」ノ癥痕、脂肪肝、脂肪心。

本例ハ妊娠中脚氣並ニ腎臟炎ニ罹リシ者ニテ其ノ症狀増悪途ニ自然分娩ヲ遂ゲシモ其
症狀輕快セズ産褥第二日ニ於テ鬼箱ニ入レリ

第六十五例 田中某 三十二年 經妊

既往症 患者ノ訴ニヨレバ七年前敵毒ニ罹リシト云フ二十年月經初潮シ爾來正順四五日
間持續障礙ナシ二十四年婚嫁シ既ニ二男ヲ分娩ス三月二十日以來月經閉止ス目下妊娠十
ヶ月(十二月二十七日豫定分娩期)

主訴 一ヶ月半以前ヨリ浮腫表ハレ昨今著シク増加シ食慾不進尿量減少身體違和倦怠ヲ
覺ユ

入院 四十一年十一月十七日

現症 體格中等榮養佳良脈軟頻數ナルモ正調ナリ舌苔ナシ乳房ヨリ發育シ著色著明ニシ
テ初乳ヲ分泌ス心臟濁音界普通肺動脈第一音不純同第二音旺盛兩肺ニ著變ヲ認メズ腹部
膨滿著シク腹圍九十六仙迷ヲ算ス子宮底ハ臍ト劍狀突起ノ中間ニアリ兒頭ハ骨盤入口ニ
於テ尙ホ少シク移動シ兒背ハ右側ニアリ心音ハ右臍棘線ニ於テ明カニシテ下肢ニ高度ノ
浮腫アリ知覺異常膀胱痛無シ膝蓋腱反射全ク消失シ尿中〇二〇ノ蛋白ヲ證明ス確麻二〇
〇ヲ内服セシム
入院後ノ經過
二十二日 浮腫少シク減退セシモ顔貌ハ尙浮腫ヲ呈セリ膀胱部緊滿セルモ壓痛ナシ便通

數回

二十六日 尿量増加シ尿中蛋白量減少シ殆ンド痕跡トナル

二十日 浮腫漸次減少シ腹圍九十二仙迷ニ縮小ス

十一月一日 子宮底ハ劍狀突起下四指横徑ニアリ茲ニ兒頭ヲ觸ル胎兒臀部ハ骨盤入口上
部ニ於テ移動ス心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ之レヲ聽キ下肢ノ浮腫消退ス

五日 下肢ニ知覺異常表ハレ兒頭下方ニアリ骨盤入口ニ固定ス膀胱筋ニ壓痛アリ心音ハ
右側ニ於テ之レヲ聽取ス

二十二日 心音ヲ聽カズ胎動ヲ觸知セズ妊婦自身モ亦胎動ヲ感セズト云フ下肢ニ輕度ノ
浮腫起リ知覺異常ヲ伴ヘリ

二十三日 昨日來惡寒アリ時々陣痛起リ乳房ニ緊滿ノ感ヲ訴フ子宮底ハ劍狀突起下四指
横徑ニアリ

二十四日 子宮底ハ昨日ヨリ上昇セルヲ覺ユ呼吸少シク促進シ三十回トナル

三十日 子宮底ハ劍狀突起下二指横徑ニアリ胎兒ノ部分ヲ觸知スルコト困難トナリ白帶
下ノ排泄多量トナル

分娩ノ經過
十二月三十日 午後十時四十五分俄カニ陣痛強激トナリシ旨報知アリシヲ以テ直チニ診
スルニ發作一分間歇五分陣痛甚ダ強盛ナリ外診ヲ行フニ臀部ハ子宮底ニアリ兒頭ハ骨盤

上ニ固定セシガ如ク又固定セザルガ如ク耻骨縫際上部ヲ觸知スルモ兒頭ハ固有ノ硬度及ビ形狀ヲ有セズ兒背ハ左側ニアルモノノ如キモ小部分ヲ觸知スルコト能ハズ胎兒心音亦不明ナリ、十一時、産室ニ移シ、排便、排尿、外陰部消毒等ヲ行ヒツツアリシ間ニ破水シ、黒褐色汚穢惡臭ヲ有スル稍々大量ノ液ヲ漏ラセリ、十一時五分、兒頭排臨シ、續テ撥露、十一時七分兒頭遂ニ娩出シ、同十五分、軀幹全ク娩出ス、此ノ際同時ニ黒褐色惡臭アル羊水ノ大量ヲ漏セリ、子宮底ハ臍下二指横徑ニアリ出血無シ、十一時二十五分胎盤胎兒面ヲ以テ生ル而シテ胎兒ハ甚ダシク軟化シ、全身皮膚剥脱シ頭蓋縫合離解シ瓢箪形ヲ呈セリ手掌足趾口圍等ニ特異ノ變化アルヲ認メズ

産褥ノ經過

三十日午後 心臟濁音界ノ擴張ヲ認メズ心尖第一音及肺動脈第一音不純、同第二音旺盛、子宮底ハ臍上一指横徑ニアリ收縮不充分、硬度軟少、僅カニ壓痛アリ惡露血性多量臭氣無シ麥角劑ヲ與フ無熱、脈、數、百、ヲ算ス

一月一日 無熱、脈八十四以下、便通ナシ尿量千三百瓦

二日 子宮底ハ臍下耻骨縫際ノ中央ニアリ收縮適度壓痛ナシ惡露多量汚穢色ヲ帶ビ且ツ臭氣アリ無熱、脈九、十以下、便通一回、尿量千二百瓦

三日 無熱、脈八、十以下、石鹼浣腸ヲ行フ尿量千瓦

四日 無熱、脈八十六以下、便通一回、尿量千三百瓦

五日 無熱、脈八十四以下、便通一回、尿量千二百瓦、子宮底ハ耻骨縫際上二指横徑ニアリ收縮佳、其、惡露血性漿液性臭氣無シ

六日 心臟ノ變化前ニ同シ子宮底ハ耻骨縫際上部ニ於テ僅カニ觸知ス惡露白色、量僅カニ減少シ下肢ニ浮腫ナク知覺異常、腸筋痛アリ、膝蓋腱反射消失、本日退院ス

本例ニアリテハ病症複雜ニシテ如何ニ説明スベキカ其病症ヲ説明スルニ苦ムモノナリ妊娠末期ニ當リ水腫性脚氣ノ症狀現ハレシモ尿中蛋白ヲ證明セシヲ以テ浮腫ハ腎臟炎ニ歸スベキカ單ニ脚氣ノミナルヤ又兩者ノ合併セシモノナルヤ其判定困難ナルモ尿中蛋白量僅少ナルヲ見レバ腎臟障礙ハ大ナル意味アルベキモノニアラザルベシ而シテ腐敗胎兒ハ何ニ歸因スルヤ是レ亦困難ナル問題ニシテ患者ノ言ノ如ク黴毒ニ罹リシモノトセバ其原因明カナルモ今ヨリ七年前ニ黴毒ニ罹リシモノトセバ二十五歳ニテ黴毒ヲ患ヒタルモノトセザルベカラズ然ルニ患者ハ其後二人ノ健康兒ヲ分娩セリト云フ然ラバ今度腐敗胎兒ヲ分娩セリトハ其説明困難ナリトス胎兒ノ死亡ヲ脚氣ニ求メンモ胎兒ノ死亡前既ニ脚氣ノ症狀次第ニ輕快セシヲ以テ見レバ亦以テ母體ノ脚氣ニ起因スル胎兒ノ死亡ナリトハ言ヒ難カルベシ

第六十六例 中谷某 三十二年 商人ノ妻

血族 父ハ尙健存シ母ハ先天性心臟疾患ノ爲ニ斃ル十五歳ノトキ胸膜炎ヲ患フ是迄二回分娩ス分娩及産褥ノ經過異常ナシ十五年月經初潮、爾來正調、最終月經ハ三十八年二月三日

(分娩豫定期十一月十日)
 主訴 十日以前ヨリ全身浮腫起リ大便秘結尿量減少スルニ至レリト
 現症 三十八年十月九日

體格榮養共ニ中等顔貌僅カニ浮腫狀ヲ呈シ全身ニ高度ノ浮腫アリ發疹ナシ肺臟ニ著變ナク脈ハ頻數ニシテ時々重複脈ノ性ヲ示セリ心臟濁音界ハ二指橫徑右方ニ擴張シ肺動脈第一音不純肺動脈第二音旺盛膝蓋腱反射消失シ下肢ニ知覺ノ鈍麻アリ長廻後筋及膀胱筋壓痛アリ腹部ハ高度ニ膨滿シ腹壁ニ浮腫アリ波動著明胎兒ノ部分ヲ觸知シ雖キモ胎兒心音ハ明カニ之レヲ聽取シ得タリ

朝體溫三十六度二分脈九十至夕體溫三十六度五分脈九十四至下痢三回尿量減少濁濁蛋白

「インゲカン」ヲ證明セズ

十月十日

處 方

一、硫麻 二〇〇 稀鹽酸 一〇〇 單舍利別 一〇〇 水 一〇〇〇
 右一日三回食後一時間内服

二、純牛乳療法

赤血球三三六〇〇〇、白血球三一二五兩者ノ比例 一〇七四・一 血色素六五%
 無熱下痢三回朝脈百十八至夕百十至

十二日 無熱、下痢六回

十三日 無熱、脈ニ變化ナシ心臟濁音界普通、心尖部第一音雜音、肺動脈第一音不純、同第二音旺盛、膝蓋腱反射消失、腓腸筋壓痛著明、全身ノ浮腫僅ニ輕減ス下痢三回

十四日 朝來尿意頻數、心臟濁音界二指橫徑右方ニ擴張シ肺動脈第一音不純、同第二音旺盛、心尖音不純、下肢ニ知覺鈍麻アリ膝蓋腱反射消失

朝體溫三十六度、脈八十六至夕體溫三十六度三分、脈八十四至、便通三回

十五日 著變ナシ尿量七〇〇瓦、蛋白無シ、インゲカン少量、下痢四回

十六日 著變ナシ便通三回

十七日 著變ナシ便通三回、浮腫稍々減退、胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ於テ明カナリ

十八日 心臟濁音界前日ニ同シ肺動脈第一音雜音、第二音旺盛、下肢ニ知覺鈍麻アリ全身ノ浮腫少シク輕減ス無熱、下痢四回

十九日 無熱、下痢四回尿量六八〇瓦

二十日 一般狀況稍々佳良トナリ全身ノ浮腫亦少シク去リ殊ニ下肢ノ浮腫著シク減退ス心臟濁音界通常、心尖第一音雜音、肺動脈第二音不純ニシテ且亢進ス、無熱下痢三回、尿量七〇〇瓦、蛋白、インゲカン少量

二十一日 前日ニ同シ便通二回、尿量七五〇瓦、尿透明稀薄淡黃色、比重一〇一〇、弱酸性、蛋白、インゲカン、糖ナシ

二十二日 著變ナシ
 二十三日 全身浮腫著シク減退シ心臟ノ擴張ヲ認メズ心尖第一音雜音、肺動脈第一音不純、同、第二音旺、盛、ス、無熱、下痢、三回、尿量一〇〇〇瓦
 二十四日 朝體溫三十五度五分、脈六十六至、夕體溫三十五度四分、脈九十六至、下痢二回、尿量一二〇〇瓦
 二十五日 全身浮腫著シク減退ス心臟濁音界變化ナシ心尖部ニ於テ縮期ノ雜音ヲ聽キ肺動脈第一音、不純、同、第二音、旺、盛、ス、腎部上方、頸部下方ニアリ尚ホ容易ニ移動シ頤部左、頂部右、胎兒心音明ナラズ、知覺障礙並ビニ腓腸筋ノ壓痛ナク膝、蓋、腱、反射、ハ、尚、消、失、セリ、無熱、下痢二回、尿量八〇〇瓦
 二十六日 便通二回、尿量七〇〇瓦
 二十七日 便通二回、尿量七〇〇瓦
 二十八日 便通二回、尿量一三〇〇瓦
 二十九日 便通二回、尿量六〇〇瓦
 三十日 便通二回、尿量一二〇〇瓦
 三十一日 便通二回、尿量一〇〇〇瓦
 十一月一日 便通二回、尿量九〇〇瓦
 二日 同上
 三日 便通一回、尿量九〇〇瓦

四日 再ビ下、肢、ニ、輕度、ハ、浮腫、表、ハ、ル、心臟濁音變化ナシ心尖第一音、不純、肺動脈第一音、不純、同、第二音、旺、盛、ス、子宮底ハ臍ト劍狀突起ノ中央ニ在リ腎部上方、頭部下方、骨盤入口ニ固定シ胎兒心音ハ右臍棘線ノ中央ニ明カニシテ膝、蓋、腱、反射、ハ、全、ク、消、失、ス、便通二回、尿量七〇〇瓦
 五日 便通一回、尿量九〇〇瓦
 六日 便通二回、尿量九〇〇瓦
 七日 無熱、脈數一〇〇至、便通二回、尿量九〇〇瓦
 八日 下肢ニハ尚ホ輕度ノ浮腫アリ、心臟濁音界變化ナク心尖第一音、不純、肺動脈第二音、ハ、旺、盛、セズ、腓腸筋壓痛ナシ膝、蓋、腱、反射、尚、消、失、脈百〇六至、便通二回、尿量九五〇瓦
 九日 便通二回、尿量九〇〇瓦、脈正調八十至
 十日 時々子宮攣縮ヲ起コス
 十四日 頭部尚ホ移動ス、頤部右、頂部左、胎兒心音左臍棘線ノ中央ニ明カナリ
 二十一日 頭部骨盤入口ニ固定ス
 二十八日 頭部亦移動性トナリ子宮底ハ劍狀突起下二指橫徑ニアリ腎部上方、頭部左、頂部右、頂部左、胎兒心音ハ左臍棘線ノ中央ニ於テ明カナリ
 十二月二日 既ニ三日間胎動ヲ感セスト雖モ胎兒心音ハ他覺的ニ明カニ聽察シ難ク、午後九時陣痛開始、同十時十分胎兒心音百三十八、同三十五分內診ス、子宮頸口ハ開大シ、陰部尚存在シ、先進部ハ骨盤潤部ニアリ、卵胞存在ス、大頸門ハ左後方ニ在リ

斜徑線ニ一致シ小顛門ハ之ヲ觸知シ難シ同五十七分陣痛發作一分間歇五十秒

四日 午前一時四十七分内診ヲ行フ子宮口ハ全開大シ卵胞ハ尙存在シ先進部固定シ小顛門ハ右前大顛門ハ左後矢狀縫合ハ第二斜徑線ニ一致ス人工破水ヲ行フ同一時五十分胎兒心音百二十六陣痛發作五十秒間歇一分三十秒同二時十五分少量ノ出血アリ三時二十分胎兒心音不規則トナル三時三十五分排臨同四十分撥露同四十五分娩出スクレテ氏法ニヨリテ胎盤ヲ娩出セシム胎盤娩出後著シキ出血ナシ子宮底ハ臍下三指橫徑收縮不全母體溫三十七度一分脈八十二至呼吸四十二

初生兒 成熟兒

陣痛開始ヨリ以來分娩マテ十八時四十五分間

分娩後出血中等量

胎盤娩出後子宮ノ收縮不全

四日 脈正調充實心臟濁音界變化ヲ認メズ心音ハ一般ニ不純ナルモ著變ナシ子宮底ハ臍上一指橫徑收縮甚惡露ハ血性漿液性臭氣ナシ

朝體溫三十六度八分脈八十至夕體溫三十六度五分脈八十六至便通一回

五日 脈正調充實子宮底ハ臍下三指橫徑收縮不全硬度軟惡露ハ血性漿液性臭氣ナシ量通常膝蓋腱反射尙消失ス

六日ヨリ十日迄體溫普通脈搏八十以下ヲ算ス

十一日 自覺障礙輕減シ浮腫ハ全ク消失ス心臟濁音界ハ變化ナシ心音尙不純ナルモ肺動脈ノ第二音ハ亢進セズ其他肺臟ニ變化ナク患者ヨク歩行シ得脾腸筋及下肢ノ神經ニ壓痛アリ膝蓋腱反射現ハレ食慾佳便通一日一回アリ子宮底ハ恥骨縫際上三指橫徑ニアリ收縮佳甚惡露ハ少量臭氣ナシ退院

本例ニ於テハ妊娠末期ニ當リ水腫性脚氣ハ症狀ヲ現ハシ入院後症狀次第ニ輕快シ分娩前ニ於テハ下肢ニ輕度ノ浮腫心臟ニ於ケル變化臍反射消失等ノ症候ヲ遺スノミニシテ分娩正規ニシテ産褥ニ入り益々佳良ナリ産褥第十一日歩行シ得ルニ至リ臍反射亦現出セリ

第六十七例 大神某 二十五年 機業 經妊

既往症 五歳ニシテ肋膜炎ニ罹リタリト云フノ外著患ヲ知ラズ十四年二ヶ月月經初潮シ爾來順調ナルモ量少ナク持續短カシ二十年三ヶ月婚嫁シ既ニ一女ヲ分娩ス昨年十二月末日以來月經閉止ス目下妊娠第十ヶ月

主訴 十日以前ヨリ浮腫起リ全身ニ及ビ遠和倦怠甚ダシク食慾不進尿量著シク減少シ便通ハ五日目ニ一回

入院 三十八年九月十八日

現症 體格榮養中等顔貌浮腫狀ヲ呈シ全身ニ高度ノ浮腫アリ心臟濁音界明ラカナラズ心尖第一音及肺動脈第一音不純同第二音旺盛脈細小頻數ナルモ正調百六ヲ算ス腹部膨滿シ腹壁殊ニ下腹部ニ著明ノ浮腫アリ子宮底ハ劍狀突起下四指橫徑兒頭ハ骨盤入口ニ固定シ

時々陣痛發作アリ胎兒ノ部分ヲ觸知シ得ザルモ胎兒ノ心音ハ著明ニ左臍棘線ニ於テ聽取シ下肢ニハ浮腫甚ダシク膝蓋腱反射消失シ知覺鈍麻ス尿中少量ノ蛋白ヲ證明ス

分〇〇〇 昨朝來陣痛發來セシモ陣痛微弱ノ爲メ分娩遲延シ困難ヲ極メシモ十八日午後十時半男兒高度ノ假死ヲ以テ生レタリ直チニ人工呼吸ヲ施コセシモ蘇生セズ胎盤ハ十分後娩出ス幸ニシテ著シキ後出血ナク子宮收縮狀態通常ニシテ子宮底ハ臍下二指橫徑ニアリ硬度軟ナラズ分娩後發熱ナク脈ハ八十七ヲ算セリ

產褥ノ經過

十九日 朝體溫三十六度八分、脈百八、夕三十六度、脈八十五、便通五回、子宮底ハ臍下三指橫徑、收縮佳良、惡露血性、量多量臭氣無シ水蛭百五十條ヲ胸部ニ貼用シ硫酸一〇〇、稀鹽酸一〇〇、單舍五〇、水一〇〇〇ヲ一日三回食後一時間ニ服用セシメ、硫酸スバルテイン(〇・三)ヲ爲丸、食間内服セシム血液検査(赤血球六四〇〇〇〇白血球一五三六)

二十日 朝三十六度、脈八十五、夕三十六度、脈八十四、便通五回、下痢、脈細小ナルモ正調、呼吸困難心悸亢進ナク心濁音界ノ擴張肥大ヲ認メズ肺動脈第二音旺盛シ浮腫ハ多少減退ス子宮底ハ恥骨縫際上二指橫徑ニ在リ脾、腸、筋、壓痛アリ、膝蓋腱反射全ク消失ス惡露血性漿液性臭氣アリ汚穢色ヲ呈ス尿ハ濃綠色濁濁、酸性反應ヲ呈ス蛋白ノ反應ハ陰性ナルモ著明ノ「インザカン」ヲ證明ス赤血球六一〇〇〇〇白血球一四六四

二十一日 無熱、脈百以下、正調充實ス下痢八回浮腫著シク減退シ一般狀態佳良トナレリ心

藏、濁音、右方ニ擴張シ胸骨右緣ニ達ス心尖搏動ハ第五肋間ニ於テ乳線ノ内方ニ在リ心尖第一音不純、肺動脈第一音不純、全第二音旺盛、子宮底ハ臍下三指橫徑ニ在リ惡露少量血性漿液性臭氣無シ

二十二日 無熱、脈八十八以下、便通十回、浮腫ハ益々減退シ一般狀態佳良トナル腹壁弛緩シ子宮底ハ臍ト恥骨縫際ノ中央ニアリ硬度軟、惡露漿液性少量、下肢ニ知覺鈍麻、脾、腸、筋ニ壓痛アリ、膝蓋腱反射消失ス

二十三日 無熱、脈九十以下、便通七回

二十四日 無熱、脈八十八以下、便通一回

二十五日 無熱、脈八十七以下、脈細小ナルモ正調ナリ浮腫著シク減退ス

二十六日 無熱、脈九十、下痢四回、肩胛部ニ尙ホ浮腫アリ心藏濁音界普通、心尖部ニ於テ收縮時雜音ヲ聽ク肺動脈第一音不純、全第二音少シク旺盛、夜間胸内苦悶ヲ訴フ「カンフル」二〇〇ヲ注射ス

二十七日 朝三十六度、脈七十五、夕三十八度六分、脈百三十三、胸内苦悶ヲ訴フ「カンフル」二〇〇ヲ注射シ水蛭百五十條ヲ胸部ニ貼用シ後食鹽水千瓦ヲ皮下ニ注射ス後三時間毎ニ「カンフル」二〇〇ヲ注射ヲ行ヒ傍ヲ硫酸チニ二〇〇瓦ニ増量シ且ツ實多利斯葉末〇・三、ザウレチン二〇〇ヲ散トシテ與フ

二十八日 無熱、脈百二十以下、便通四回、一般狀態多少輕快セルモ尙ホ呼吸困難、下腹部ニ壓

十九日 一般状態前日ノ如シ
子宮底ハ臍下三指横徑、收縮佳
悪露血性、量普通、臭氣無シ

血液検査 赤血球六四〇〇〇〇
赤血球及ビ白血球ノ比五一二ニ對シ一
處置 一、水蛭一五〇條ヲ胸前壁ニ貼ス

二、處 方

一、硫酸 一〇〇 稀鹽酸 一〇 單舎 五〇 水 一〇〇〇
右一日三回食後一時間内服

二、硫酸スバルテイン 〇・三

右丸薬トシテ一日三回食間内服

朝體温 三十八度、脈、百〇八至、夕體温 三十六度、脈八十四至

二十日 脈細小緊張弱キモ正調ニシテ呼吸、困、難、心、悸、亢、進、ナク、心、臟、濁、音、界、ノ、變、化、無、ク、肺、動、脈、第、二、音、ハ、旺、盛、ス、浮、腫、稍、々、減、退、シ、膝、蓋、腔、反、射、ハ、消、失、シ、腓、腸、筋、壓、痛、ア、リ、長、廻、後、筋、ニ、モ、亦、壓、痛、ア、リ、惡、露、血、性、漿、液、性、ニ、シ、テ、多、少、臭、氣、ア、リ
子宮底ハ恥骨縫際上二指横徑ニアリ
尿量減少、溼濁シ、酸性蛋白ナク、「インザカン」著明

便通五回、朝體温 三十六度、脈八十四至、夕體温 三十六度、脈八十至

二十一日 脈正調可ナリ緊張シ九十至ヲ算ス、類同ノ下痢アリ一般状態益々佳良トナリ知
覺ノ異常ナシ
肺臟ハ皮膚ニ高度ノ浮腫アリテ打診上ノ變化ハ不明ナリ心臓右界ハ胸骨左緣、心尖搏動ハ

第五肋間ニシテ乳線ノ内方ニアリ心尖第一音ハ不純、肺動脈第二音ハ旺盛ス
子宮底ハ臍下三指横徑、收縮佳良、惡露血性漿液性臭氣無シ

朝體温 三十六度、脈八十八至、夕體温 三十六度四分、脈九十八至、便通八回

處方 前方

二十二日 朝體温 三十六度、脈八十六至、夕三十六度二分、脈八十六至、便通十回、一般状態佳良
ニシテ浮腫著シク減退ス心臟濁音界ハ一指横徑右方ニ擴張シ肺動脈第一音ハ不純ニシテ
第二音ハ旺盛ス腹壁ハ弛緩シ陷凹ス子宮底ハ臍下恥骨縫際ノ中間ニアリ收縮通常硬度稍
々軟、惡露ハ漿液性量少ナク臭氣無ク下、肢、ハ、知、覺、異、常、ア、リ、膝、蓋、腔、反、射、ハ、消、失、シ、脈、細、小、微、弱

正調

二十六日 肩胛部ニ尙ホ浮腫ヲ殘シ心臟濁音界ニハ變化ナク心尖第一音ハ不純、肺動脈第
一音不純ニシテ第二音ハ旺盛ス脈細小微弱、頻數、患者自ラ著シク病苦ノ輕減セルヲ告グ腓
腸筋壓痛甚シ

朝體温 三十六度八分、脈七十八至、夕體温 三十六度二分、脈八十六至、便通十回